

令和4年度版

水道事業概要

R4.4.1~R5.3.31

大東市上下水道局

事業の沿革
と推移

職
制
機構及び

給
水
状
況

料
金
調
定

給水装置工事
及び修繕工事
状況

財
務
状
況

施
設

広
報

目 次

I 事業の沿革と推移

1 事業の沿革	1
(1) 第5回拡張事業	2
(2) 管路更新事業	3
(3) 老朽管更新事業	4
(4) IT(情報技術)の活用	4
2 事業の推移	6
3 業務量の概要	25
(1) 業務の推移	25
(2) 市内水道管口径別延長	26
① 導水管口径別延長	26
② 送水管口径別延長	26
③ 配水管口径別延長	27

II 機構及び職制

1 機構図	29
2 事務分掌	29
3 職員配置表	31
4 年齢別職員構成	31
5 勤続年数別職員構成	32
6 年度別・職種別職員数	32
7 所属別・職種別職員構成	33
8 職員給与費	33
9 電算業務概要	34
(1) 電算処理に伴う業務内容	34
(2) 電算機器構成・明細	35

Ⅲ 給 水 状 況

1 配 水 区 域 図	37
2 受・配水系統図	39
3 配 水 量	41
(1) 月間配水量の推移	41
(2) 系統別毎月配水量	42
(3) 系統別一日平均配水量	42
(4) 月別一日最大配水量の系統別配水量	44
4 月別電力使用量比較表	44
5 用途別年間使用水量	46
(1) 用途別年間使用水量比較表	46
(2) 用途別・段階別給水量比較表	48
6 大口需要者一覧表	50
7 水 質 検 査 表	51
8 配 水 量 分 析 表	53

Ⅳ 料 金 調 定

1 料 金 表	55
(1) 水道料金表	55
(2) メーター使用料金、予納金及び加入金表	55
2 水道料金調定収入	56
3 メーター使用料金調定収入	57
4 年度別調定及び料金収納状況表（水道料金+メーター使用料金）	58
5 水道料金調定等件数一覧表	60
6 水道料金等収納種別件数一覧表（納付書等）	62
7 月 別 検 針 状 況 表	64
8 府内各市町村水道料金比較表	65
9 料 金 変 遷 表	67
(1) 水道料金変遷表	67

(2) 加入金変遷表	69
10 手数料一覧表	70

V 給水装置工事及び修繕工事状況

1 給水装置工事实績表	71
2 量水器関係工事实績表	71
(1) 開栓・閉栓等	71
(2) 量水器取替	71
3 修繕工事实績表	72
(1) 屋内・外修繕	72
(2) 道路上漏水修繕	73
4 指定給水装置工事事業者	74

VI 財務状況

1 収益的・資本的収支構成図	75
2 収益的収支	76
3 資本的収支	78
4 貸借対照表	80
(1) 借方	80
(2) 貸方	82
5 企業債償還明細書	84
6 企業債利率別未償還残高	85
7 有形固定資産明細書	86
(1) 有形固定資産明細書	86
(2) 投資	86
8 経営分析	88
(1) 収益分析	88
(2) 費用分析	88

(3) 経 営 分 析 表	90
(4) 業 務 分 析 表	92
9 費 用 構 成 表	94
10 水 道 料 金 原 価 表	96
11 東 部 大 阪 各 市 決 算 比 較 表	98

VII 施 設

1 施 設 位 置 図	103
2 施 設 概 要	105
(1) 中 央 管 理 セ ン タ ー	105
(2) 灰 塚 配 水 場	106
(3) 東 部 配 水 場	107
(4) 東 部 第 二 配 水 場	108
(5) 東 部 第 二 高 区 配 水 場	109
(6) 東 部 第 三 配 水 場	110
(7) 東 部 第 四 配 水 場	111
(8) 東 部 第 五 配 水 場	112
(9) 北 条 ポ ン プ 場	113
(10) 水 質 監 視 モ ニ タ ー	114
3 水 源 別 計 画 水 量 表	116
4 管 路 用 地 等	116

VIII 広 報

1 広 報 だ い と う 掲 載 記 事	117
-----------------------------	-----

I 事業の沿革と推移

- 1 事業の沿革
- 2 事業の推移
- 3 業務量の概要

I 事業の沿革と推移

1 事業の沿革

拡張事業名 工 期	事業費	給水区域	基 本 計 画			
			給水人口	1 日 最大配水量	1 人 1 日 最大配水量	水 源
創 設 (住道上水株式会社) 昭和6年7月6日 ┆ 昭和7年5月6日	千円 78	住道村一円 (東六郷村の 一部を含む)	人 6,000	m ³ 1,350	ℓ 225	浅 井 戸
第1回拡張事業 昭和27年7月1日 ┆ 昭和29年3月31日	22,800	住道町一円 (旧盾津町の 一部を含む)	9,800	3,446	352	深 井 戸 大阪府営水道 (昭和26年7月1日 受水開始)
第2回拡張事業 (第2拡変更) 昭和30年10月1日 ┆ 昭和40年3月31日	318,711	大東市一円と 旧河内市の一部	50,000	14,000	280	深 井 戸 大阪府営水道 大阪市営水道
第3回拡張事業 昭和40年4月1日 ┆ 昭和53年3月31日	1,548,800	大東市内一円 (龍間地区の一部 を除く)と 東大阪市の一部	96,000	43,200	450	深 井 戸 大阪府営水道 大阪市営水道
第4回拡張事業 昭和50年4月1日 ┆ 平成3年3月31日	4,073,700	大東市内一円 (龍間地区の一部 を除く)と 東大阪市の一部	130,000	61,000	469	大阪府営水道 大阪市営水道
第5回拡張事業 平成3年4月1日 ┆	7,000,000 (認可値 4,500,000)	大東市内一円 (龍間地区の一部 を除く)	133,000 (認可値 141,000)	64,000 (認可値 70,000)	481 (認可値 496)	平成23年度より 大阪広域水道企業団 (認可時) 大阪府営水道 大阪市営水道

(1) 第5回拡張事業

本事業は、近年における給水人口及び水需要の停滞から、事業の見直しを実施し、計画給水人口133,000人、計画1日最大給水量64,000m³で執行しています。

主な事業概要

①配水方式の変更

東部配水場からのポンプ加圧方式を、大阪広域水道企業団の受水圧力を利用して揚水（ブースターポンプを設置）し、東部第二配水場からの自然流下方式に改める。

②「安定・安全な水」の供給のための施設

配水池貯留時間を現行の8時間から12時間に改める。

耐震対策・赤水対策として、耐震施設の築造、老朽管の布設替えを図る。

給水条件の均等化・水源の相互運用を図るため、配水管の管網整備を図る。

事業執行にあたっては、ランニングコストの削減、災害に強い、環境にやさしい施設造りを目指すものです。

・事業概要

第 5 回 拡 張 事 業		
拡 張 事 業 内 容	送水ポンプ場 3ヶ所	配水管 34,591m
	送水管 1,110m	φ800mm× 415m
	φ600mm×400m	φ600mm× 5,450m
	φ400mm×640m	φ500mm× 2,960m
	φ200mm× 70m	φ400mm× 1,430m
		φ300mm× 2,105m
		φ200mm× 881m
	配水池	φ150mm×10,996m
	8,000m ³ ×1池	φ100mm×10,354m
	6,000m ³ ×1池	
	用地買収 2,282m ²	
	用地造成 4,782m ²	
	耐震性緊急貯水槽 (100m ³) 1基	
年 月 日	申請年月日	平成3年1月18日 (大東水第2633号)
	認可年月日	平成3年3月30日 (厚生省生衛第325号)
	工事着手年月日	平成3年4月1日 事業継続中
事業費	7,000,000,000円	
基 本 計 画	給水人口	133,000人 (※認可値 141,000人)
	1日最大給水量	64,000m ³ (※認可値 70,000m ³)
	一人1日最大給水量	481ℓ (※認可値 496ℓ)

・本年度拡張工事内容

<主たる事業>

- ・大阪生駒線配水管布設工事 (R 4-1)
(GX形耐震管) φ150mm×91m
- ・諸福三丁目地内配水管布設工事 (R 4-1)
(HPPE耐震管) φ100mm×137m
- ・灰塚四丁目地内配水管布設工事 (R 4-1)
(HPPE耐震管) φ75mm×224m

(2) 管路更新事業

厚生労働省では、「水道施設の耐震化の計画的実施について（平成20年4月8日健水発第0408002号）」において、既存の水道施設の耐震化に関し、「災害時に重要な拠点となる病院、診療所、介護や援助が必要な災害時要援護者の避難拠点など、人命の安全確保を図るために給水優先度が特に高いものとして地域防災計画等へ位置づけられている施設へ給水する管路については、優先的に耐震化を進める。」としています。また、新水道ビジョン（平成25年3月厚生労働省策定）においては、重要給水施設配水管路の耐震化を優先して推進することを掲げています。

本市においても、平成30年度から10年計画で大東市地域防災計画で避難所に指定されている8中学校や災害医療協力病院、市役所、消防署などの重要施設へ、災害時においても生活用水を確保するため、配水池から各重要施設への配管ルートを優先的に耐震化しています。

・本年度工事内容

令和4年度は、各配水場から野崎徳洲会病院・大東市役所までの配水管を耐震管に布設替えしました。

<事業一覧>

- ・ 緑が丘二丁目地内配水管布設替工事（R4-1）
GX形耐震管 φ300mm×219m
- ・ 深野3号線配水管布設替工事（R4-1）
GX形耐震管 φ300mm×147m
- ・ 深野3号線配水管布設替工事（R4-2）
GX形耐震管 φ300mm×205m
- ・ 四条南小学校北側線導水管布設替工事（R4-1）
NS形耐震管 φ600mm×153m



四条南小学校北側線導水管布設替工事
(R4-1)

野崎四丁目地内
NS形耐震管 φ600mm

緑が丘二丁目地内配水管布設替工事
(R4-1)

緑が丘二丁目地内
GX形耐震管 φ300mm



(3) 老朽管更新事業

平成21年度から、ライフライン強化のため老朽管更新事業に本格的に着手しました。本事業につきましては、老朽化している配水支管（給水分岐されている配水管）を優先して布設替えを行っています。

・本年度工事内容

令和4年度は、津の辺町地内(昭和42年)、三箇五丁目地内(昭和41年)、寺川一丁目地内(昭和44年)、野崎一丁目地内(昭和46年)の配水管を耐震管に布設替えしました。

<事業一覧>

- ・ 辻南野崎駅前線配水管更生工事（R4-1）
管更正工事 φ150mm×50m
- ・ 深野南寺方大阪線配水管布設替工事（R4-1）
GX形耐震管 φ150mm×11m
- ・ 国道170号線配水管布設替工事（R4-1）
GX形耐震管 φ200mm×140m
- ・ 野崎東西1号線配水管布設替工事（R4-1）
HPPEN耐震管 φ100mm×230m

(4) IT（情報技術）の活用

① 水道施設情報システム

平成9年度から水道管管理情報システムの構築を始め、基図・戸番図の作成、各種台帳・図面のファイリングを行い、平成12年10月より運用しています。

また、継続した各種台帳・図面のファイリングおよびデータ修正と共に、検針データを定期的に取り組むことにより、変更の多い水道メータ情報も常に最新の状態で管理しています。

これにより、窓口業務での施設情報の表示、検索などに迅速に対応しています。



② 設計・積算支援システム

平成13年4月から設計積算支援システムを導入し、設計図面作成、数量計算、設計書作成の効率化を図っています。

③ 給水装置工事受付システム

平成22年度の電算処理システム変更に伴い、給水装置工事受付システムを平成22年3月末から導入しています。

機 器 構 成	台 数
1. マッピングシステム及びファイリングシステム	
(1) サーバ及びサーバ周辺機器	
①サーバ (Express5800/R120h-1E)	1台
②サーバ (Express5800/R120h-2E)	1台
③バックアップデータカートリッジ	1台
④無停電電源装置	2台
⑤17型ディスプレイ	1台
(2) クライアント及びクライアント周辺機器	
①パソコン	5台
②21.5型ワイドフルHD液晶ディスプレイ	4台
③23.0型フルHD液晶ディスプレイ	1台
2. 設計積算CADシステム	
(1) パソコン	4台
(2) 21.5型ワイドフルHD液晶ディスプレイ	4台
3. 給水装置工事受付システム	
(1) サーバ及び周辺機器	
①サーバ (Express5800/R120h-1E)	1台
②無停電電源装置	1台
4. その他周辺機器及び入出力装置	
(1) A1サイズ複合プリンタ	1台
(2) A1サイズカラープロッタ	1台

2 事業の推移

年月日	拡張事項	主な事項
(昭和4年度) S4.10.6		・住道上水株式会社設立の件申請
(昭和5年度) S5.9.3 S6.3.2 S6.3.6		・住道上水株式会社設立の件許可(大阪府指令土道第1128号) ・住道上水株式会社設立期限伸張の件申請 ・住道上水株式会社設立期限伸張の件認可(大阪府指令土道第1128号)
(昭和6年度) S6.5.24 S6.7.6 S6.7.20 S6.10.19		・住道上水株式会社設立 ・住道上水株式会社工事着手 ・水道使用規則に関する件申請 ・水道使用規則に関する件認可(大阪府指令土道第1128号)
(昭和7年度) S7.5.5 S7.5.6 S7.5.23 S7.5.24		・通水開始の件申請 ・住道上水株式会社工事完成 ・水道工事出来高の件申請 ・通水開始の件認可(大阪府指令土道第472号) ・水道工事出来高の件認可(大阪府指令土道第474号) ・通水開始
(昭和11年度) S12.1.1		・住道町制の施行
(昭和24年度) S24.5.10 S24.6.13 S24.7.1		・町営移管の件申請 ・町営移管の件認可(大阪府指令土道第591号) ・料金改定実施
(昭和25年度) S25.12.13 S26.1.17	・第1回拡張事業の件申請(住水第123号) ・第1回拡張事業の件認可(大阪府指令土道第1763号)	
(昭和26年度) S26.7.1		・大阪府営水道受水開始
(昭和27年度) S27.7.1	・第1回拡張事業着手	
(昭和28年度) S28.4.1 S29.3.31	・第1回拡張事業完成	・料金改定実施

年 月 日	拡 張 事 項	主 な 事 項
(昭和29年度) S29.7.1 S30.1.1	・第2回拡張事業の件申請(住水第401号)	・料金改定実施
(昭和30年度) S30.4.1 S30.5.27 S30.10.1	・第2回拡張事業の件認可(厚生省阪衛第270号) ・第2回拡張事業着手	・大阪府営水道料金改定(12.50円/m ³)
(昭和31年度) S31.4.1		・大東市制の施行
(昭和33年度) S33.7.1 S34.3.19 S34.3.30	・第2回拡張変更事業の件申請 ・第2回拡張変更事業の件認可(厚生省阪衛第628号)	・城東水道組合が解散し本市と河内市に分轄統合
(昭和34年度) S34.4.1 S34.9.1	・第2回拡張変更事業着手	・料金改定実施
(昭和36年度) S36.4.1		・地方公営企業法の財務規定一部適用
(昭和37年度) S37.9.1		・料金改定実施・予納金制度実施
(昭和39年度) S39.11.27 S39.12.21 S40.2.18 S40.3.31	・第3回拡張事業の件申請 ・第3回拡張事業の件認可(厚生省収環第519号) ・第2回拡張事業完成	・委託集金制度採用(私人委託)
(昭和40年度) S40.4.1	・第3回拡張事業着手	・地方公営企業法の全部適用(水道局発足) ・大阪府営水道料金改定(16.00円/m ³)
(昭和41年度) S41.4.1 S42.3.31	・東部第二配水場及び加圧ポンプ場竣工(旧. 寺川配水場)	・料金改定実施
(昭和42年度) S42.6.1		・郵便局口座振替制度採用 ・ダクタイル鋳鉄管採用
(昭和43年度) S43.4.1 S43.8.1		・自主納付制度採用 ・大阪市営水道分水料金改定(16.00円/m ³)

年月日	拡張事項	主な事項
(昭和45年度) S45.4.1 S45.10.1		<ul style="list-style-type: none"> 銀行口座振替制度採用 委託検針制度採用(法人委託)
(昭和47年度) S47.7.13 S47.9.17 S48.1.5 S48.3.1		<ul style="list-style-type: none"> 昭和47年7月豪雨による浸水(被災者に対する減免措置) 台風20号による浸水(被災者に対する減免措置) 地下水涵養実験開始 大阪市営水道分水料金改定(25.00円/m³)
(昭和48年度) S48.7.31 S48.8.15 S48.8.16 S48.9.4 S48.9.5 S48.11.5.		<ul style="list-style-type: none"> 琵琶湖異常渇水により淀川の第1次取水制限始まる(上水道10%、工業用水道15%) 琵琶湖異常渇水により淀川の第2次取水制限始まる(上水道15%、20日から20%、工業用水道25%) 第2次取水制限から第1次取水制限に一時緩和 第2次取水制限(大阪府営水道・大阪市営水道)始まる 第2次取水制限から第1次取水制限に緩和 第1次取水制限解除
(昭和49年度) S49.6 S49.10 S49.10.15 S49.11.1 S49.12.1 S50.2.28 S50.3.31	<ul style="list-style-type: none"> 地下水代替導水管布設工事着手 第4回拡張事業の件申請(大東水第115号) 第4回拡張事業の件認可(厚生省環第338号) 	<ul style="list-style-type: none"> 地下水涵養実験終了 大阪府営水道料金改定(19.70円/m³) 加入金制度実施 全井停止 料金改定実施・電算機導入 下水道使用料徴収事務受託
(昭和50年度) S50.4.1 S50.8.26 S50.9.1 S50.10.1	<ul style="list-style-type: none"> 第4回拡張事業着手 地下水揚水休止 	<ul style="list-style-type: none"> 台風6号、8月6～7日豪雨による浸水(被災者に対する減免措置) 大阪市営水道分水料金改定(50.00円/m³)
(昭和51年度) S51.4.30 S51.7.1 S51.7.2	<ul style="list-style-type: none"> 府水深野分岐取水開始 中垣内分岐廃止 五軒堀分岐廃止 東部配水場通水開始 	

年月日	拡張事項	主な事項
S51.10.1 S51.11.1 S52.3.31		<ul style="list-style-type: none"> 郵便物の料金後納制度利用開始 大阪府営水道料金改定(29.70円/m³) 料金改定実施 集金制度廃止
(昭和52年度) S52.4.1 S52.8.26 S52.10.1 S52.11.10 S52.12.1 S53.1.1 S53.1.7 S53.2.14 S53.3.1 S53.3.31	<ul style="list-style-type: none"> 東部配水池増設工事着手 第3回拡張事業完成 地下水代替導水管布設工事竣工 	<ul style="list-style-type: none"> 全市内納付制度実施 伝票会計方式を採用 琵琶湖異常渇水(-41cm)により府営水道の給水制限始まる(上水道10%、工業用水道15%) 大阪府営水道料金改定(43.70円/m³) 機構改革実施 テープ交換による銀行口座振替制度実施 料金改定実施(平均改定率20.4%) 第1次取水制限解除 検針カードによる口座振替済通知を実施
(昭和53年度) S53.8.31 S53.9.1 S53.10.1 S53.10.23 S54.2.9	<ul style="list-style-type: none"> 東部配水池増設工事竣工 	<ul style="list-style-type: none"> 琵琶湖異常渇水(-50cm)により府営水道の給水制限始まる(上水道10%、工業用水道15%) 大阪府営水道料金改定(48.70円/m³) 料金改定実施(平均改定率4.7%) 琵琶湖水位(-61cm) 取水制限解除
(昭和54年度) S54.4.1 S54.11.1		<ul style="list-style-type: none"> 市外給水区域(寝屋川市河北)を寝屋川市へ返還 地域別集中検針実施
(昭和55年度) S55.6.2 S55.10.1 S56.2.26	<ul style="list-style-type: none"> 龍間地区給水のための送水管布設工事着手 	<ul style="list-style-type: none"> RJE稼働開始(OCR) オンラインシステム開始(市情報管理課と水道局) 異常低温による凍結対策(応急措置件数) 2月26日 直営 887件 } 2,906件 3月6日 業者 2,019件
(昭和56年度) S56.9.1		<ul style="list-style-type: none"> 異形管粉体塗装採用

年 月 日	拡 張 事 項	主 な 事 項
S57.2.9	・ 東部第三配水場築造工事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水道事業用無線局開局 ・ 地下水揚水用5、6、7、9、10号井廃止
S57.3.18	・ 東部第四配水場築造工事	
S57.3.30	・ 灰塚配水場管理棟工事	
S57.3.31	・ 南谷配水池築造工事	
(昭和57年度)		
S57.5.24	・ 東部第四配水場通水開始	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大東市水道通水50周年並びに龍間地区通水記念式典 ・ テープ交換による郵便局口座振替開始 ・ 沈殿池、濾過池、気曝槽など除去
S57.6.1		
S57.8.10		
S58.3.31	・ 灰塚配水池4,500m ³ 増設工事 ・ 東部第五配水場築造工事	
(昭和58年度)		
S58.4.19	・ 東部第三配水場直送開始	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東部第五配水場完成並びに野外活動センター通水記念式典 ・ ガスクロマトグラフECD表示付導入(トリハロメタンの測定開始) ・ オフコン(システム100/85)導入 ・ オフコン稼働開始(下水オンライン)(会計・設計業務) ・ 異常低温対策本部設置(凍結による応急措置件数) 2月7日 直営 500件 } 972件 ～9日 業者 472件 }
S58.6.7		
S58.10.1		
S58.11.1		
S58.12.26	・ 灰塚配水場増設工事着手	
S59.2.8		
(昭和59年度)		
S59.5.30	・ 灰塚配水場増設工事竣工	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機構改革実施 ・ 大阪府営水道料金改定(57.20円/m³) ・ 大阪市営水道分水料金改定(55.00円/m³) ・ 琵琶湖異常渇水(-55cm)により淀川の第1次取水制限始まる(上水道10%,工業用水道12%) ・ 「大東市渇水対策本部」の設置 ・ 琵琶湖異常渇水(-75cm)により淀川の第2次取水制限始まる(上水道20%,工業用水道22%) ・ 琵琶湖水位-90cm史上第2位 ・ 琵琶湖水位-95cm(今期渇水最低水位) ・ 「渇水対策本部」から「水道対策部」に縮小 ・ 第2次取水制限から第1次取水制限に緩和 ・ 渇水対策の「水道対策部」を解散 ・ 取水制限56日ぶりに全面解除
S59.7.10		
S59.10.1		
S59.10.8		
S59.11.1		
S59.11.6		
S59.12.2		
S60.1.26		
S60.2.1		
S60.3.1		
S60.3.12		

年月日	拡張事項	主な事項
S60.3.31		・節水活動が本格化した昭和59年11月～昭和60年3月までの5ヶ月間の配水量と前年同期の配水量と対比した場合、7.5%減となった。
(昭和60年度) S60.4.1 S61.1.1 S61.3.4	・東部第三配水池600m ³ 増設工事	・管理者制度発足 ・料金改定実施(平均改定率10.2%)
(昭和61年度) S61.10.17 S61.11.28 S61.12.28 S62.1.27 S62.2.10		・琵琶湖異常渇水(-59cm)により淀川の第1次取水制限始まる(上水道10%、工業用水道12%) ・琵琶湖異常渇水(-81cm)により淀川の第2次取水制限始まる(上水道20%、工業用水道22%) ・12月28日から4日間取水制限緩和(上水道20%から15%) ・第2次取水制限から第1次取水制限に緩和 ・取水制限116日ぶりに全面解除
(昭和62年度) S62.4.1 S62.10.1 S62.11.1		・給水引き込み管の管種を鉛管からHIVPに変更 ・オフコンの機種変更(システム3100モデル60) ・料金調定収納業務稼働
(昭和63年度) S63.9.24 S63.10.1	・管末圧力監視装置設置	・水道管漏水調査実施
(平成元年度) H元.4.1 H2.1.1		・消費税法適用(但し本市は未転嫁) ・大阪府営水道料金消費税(外税)導入 ・大阪市営水道分水料金消費税(外税)導入 ・市納金(給水工事費)の予納に関する事務手続変更
(平成2年度) H2.4.1 H3.1.1 H3.1.18 H3.3.30 H3.3.31	・第5回拡張事業の件申請(大東水第2633号) ・第5回拡張事業の件許可(厚生省生衛第325号) ・第4回拡張事業完成 ・南谷配水池廃止	・ハンディターミナルによる計量業務開始 ・給水装置工事許可申請受付業務のOA化
(平成3年度) H3.4.1		・給水装置工事許可申請等の様式全面変更

年 月 日	拡 張 事 項	主 な 事 項
H3.6.1 H3.7.16 H3.8.26 H4.3	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回拡張事業着手 ・府営水道新灰塚分岐開栓 ・東部第二高区配水場建設用地買収 	<ul style="list-style-type: none"> ・4週6休制施行 ・琵琶湖総合開発特別措置法による琵琶湖治水及び水資源開発事業が概成(琵琶湖水位-150cmまで利用可能となる)
(平成4年度) H4.4.1 H4.7.10 H4.8.1 H4.12.28 H5.1.5	<ul style="list-style-type: none"> ・東部第二高区配水場築造工事着手 ・府道・高槻橋本線配水管布設工事その1・2竣工 ・市道・野崎7号線他配水管布設替工事竣工 	<ul style="list-style-type: none"> ・検針業務全面委託 ・オフコンの機種変更(システム3100モデルA95)
(平成5年度) H5.4.1 H5.6.1 H5.7.1 H5.10.15 H5.12.1 H6.3.31	<ul style="list-style-type: none"> ・東部第二高区配水幹線布設工事(第1・2工区)竣工 ・東部第二高区配水場築造工事竣工 	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府営水道料金改定(74.50円/m³・外税) ・大阪市営水道分水料金改定(74.00円/m³・外税) ・料金改定実施(平均改定率24.7%) ・水質基準改定・大阪府市町村水道水質共同検査委託実施
(平成6年度) H6.4.1 H6.7.2 H6.8.22 H6.9.3 H6.9.5 H6.9.10 H6.10.4 H6.11.14 H7.1.1 H7.1.17 H7.1.18~3.10 H7.3.15	<ul style="list-style-type: none"> ・東部第二高区配水場運用開始 ・都市計画道路・諸福中垣内線配水管布設工事竣工 ・府道・八尾枚方線配水管布設工事竣工 	<ul style="list-style-type: none"> ・市外給水区域(東大阪市加納)を東大阪市へ返還 ・琵琶湖異常渇水(-94cm)により府営水道第1次取水制限(10%) ・琵琶湖異常渇水(-103cm)により府営水道第2次取水制限(15%) ・大東市渇水対策本部設置 ・琵琶湖異常渇水(-116cm)により府営水道第3次取水制限(20%) ・取水制限全面解除 ・水道料金納入通知書などにプライバシー保護のため三つ折はがき採用 ・阪神淡路大震災 ・阪神淡路大震災被災地(兵庫県西宮市)へ応急給水班・施設復旧班を派遣
(平成7年度) H8.2.1		<ul style="list-style-type: none"> ・南廻りループ配水幹線布設工事着手

年月日	拡張事項	主な事項
H8.3.13	<ul style="list-style-type: none"> 御領土地区画整理事業に伴う配水管布設工事竣工 ループ配水幹線布設工事(第1工区)φ600mm×91m 	<ul style="list-style-type: none"> SⅡ形・S形耐震管採用 東部第三配水場送水ポンプ容量増設(18.5KW/h→45KW/h)
H8.3.15		
H8.3.29		
(平成8年度)	<ul style="list-style-type: none"> 東部配水場内送配水管施設改良工事(管工事) 南廻りループ配水幹線配水管布設工事(第2・4～7工区)φ600mm×520m 	<ul style="list-style-type: none"> 安全対策事業工事着手 規制緩和を内容とする水道法の一部改正 灰塚配水場内応急給水栓設置(災害対策用) 大東市病原性大腸菌O-157対策本部設置 異常低温凍結事故対策本部設置 1月22日 直営 323件 } 540件 ～23日 業者 217件 } 大阪府水道震災対策相互応援協定締結
H8.5.21		
H8.6.26		
H8.7.1		
H8.7.24		
H9.1.22		
H9.3.24		
H9.3.24		
H9.3.31	<ul style="list-style-type: none"> 水道管管理情報システム導入着手 南廻りループ配水幹線推進工事(第B工区)他配水管布設工事φ600mm×277m 	<ul style="list-style-type: none"> 三階直圧給水試験的導入取扱要綱を制定、実施 三階直圧給水試験的導入指導基準を制定、実施 給水引き込み管の管種をHIVPからPPに変更 公共工事などに係る入札結果を広報誌に掲載
(平成9年度)		
H9.4.1		
H9.7.9		
H9.10.1	<ul style="list-style-type: none"> 消費税率改定(3%→5%) 料金改定実施(消費税転嫁(外税)による改定平均改定率1.8%) 加入金について消費税外税化 水道法の一部改正に伴う指定工事業者制度実施 大阪府営水道高度浄水処理水供給開始 オフコン機種変更(Express5800モデル670AD) 	<ul style="list-style-type: none"> 安全対策事業工事完了
H10.3.25		
(平成10年度)		
H10.4.1		
H10.7.22	<ul style="list-style-type: none"> 南廻りループ配水幹線布設工事(第8～10工区)φ600mm×408m 	<ul style="list-style-type: none"> 安全対策事業工事完了
H11.3.8		
H11.3.10		
H11.3.31	<ul style="list-style-type: none"> 恩智川水管橋架設工事φ600mm×37m 南廻りループ配水幹線(第13工区)布設工事φ600mm×162m 府水との災害対策管設置(産大前) 	<ul style="list-style-type: none"> コンビニエンスストア(ローソン・ファミリーマート)、郵便局での料金収納取扱実施
(平成11年度)		
H11.4.1		
H11.5.10		
H11.6.30	<ul style="list-style-type: none"> 南廻りループ配水幹線(第13工区)布設工事φ600mm×162m 府水との災害対策管設置(産大前) 	<ul style="list-style-type: none"> コンビニエンスストア(ローソン・ファミリーマート)、郵便局での料金収納取扱実施
H11.8.5		

年 月 日	拡 張 事 項	主 な 事 項
H12.2.15 H12.2.20 H12.2.29 H12.3.15～ 3.17 H12.3.30	<ul style="list-style-type: none"> ・南廻りループ配水幹線推進工事(第A工区)φ600mm×77m ・鍋田川水管橋架設工事φ600mm×37m ・太子田橋架設工事他φ400mm×90m 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東部第四・五配水場潜水工法による配水池清掃 ・ 大阪市営水道高度浄水処理水の全給水区域通水
(平成12年度) H12.7.10 H12.9.9 H12.9.18 H12.10.1 H12.12.1 H13.2.4 H13.2.11 H13.2.23 H13.3.30	<ul style="list-style-type: none"> ・水道管管理情報システム運用開始 ・南廻りループ配水幹線推進工事(第C～D工区)φ600mm×143m ・太子田橋梁添架管接合工事他φ400mm×154m ・南廻りループ配水幹線(第11～12工区及び第14工区)布設工事φ600mm×412m ・設計積算システム構築業務竣工 	<ul style="list-style-type: none"> ・機構改革(係制の廃止) ・琵琶湖異常渇水(-95cm)により府営水道第1次取水制限(10%) ・取水制限解除(琵琶湖水位-50cm) ・大阪府営水道料金改定(88.10円/m³・外税) ・ホームページの開設〔ようこそ大東の水道へ〕
(平成13年度) H13.4.1 H13.4.2 H13.7.1 H13.9.7 H14.3.8 H14.3.18 H14.3.31	<ul style="list-style-type: none"> ・設計積算システム運用開始 ・南廻りループ配水幹線(第15～16工区)布設工事φ600mm×280m ・耐震性緊急貯水槽100m³×1基設置 ・老朽管更新事業(市道・三住扇町線他)竣工φ150mm×1,520m 	<ul style="list-style-type: none"> ・料金改定実施(平均改定率11.6%) ・水道予納金制度廃止 ・加入金改定実施 ・灰塚配水場における宿日直業務を全面委託 ・公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の施行による発注の見直し及び入札・契約に係る情報の公表などの実施 ・四條畷市水道局と相互応援給水協定締結 ・企業手当廃止
(平成14年度) H14.4.1 H14.6.28	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回拡張事業の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪市営水道分水料金改定(H14.4.1～84.00円/m³・外税) ・漏水減免規定の細目の改正 ・門真市水道局と相互応援給水協定締結

年月日	拡張事項	主な事項
H14.7.15 H14.10.30 H14.11.1 H14.12.2 H14.12.12 H15.2.25 H15.3.20	<ul style="list-style-type: none"> 隣接市との相互連絡管工事(門真市) 隣接市との相互連絡管工事(寝屋川市) 老朽管更新事業(府道・大東四條畷線他)竣工φ150mm×586m φ200mm×196m 御領4丁目地内区域外給水解消工事φ150mm×786m 	<ul style="list-style-type: none"> 建設工事に係る資材の再資源化などに関する法律の施行による契約事務手続などの変更 納入通知書などの形式変更(封書タイプからはがき) 寝屋川市水道局と相互応援給水協定締結
(平成15年度) H15.4.1 H15.6.25 H15.8.1 H15.10.1 H15.11.1	<ul style="list-style-type: none"> 南廻りループ配水幹線(第17～18工区)布設工事φ600mm×288m 	<ul style="list-style-type: none"> 配水場運転管理業務の一部委託化 市内転居者の口座振替継続受付開始 コンビニエンスストア・収納窓口の拡大(2社から18社に) 検針用ハンディ及びシステム更新 「水道ご使用量のお知らせ」様式変更
(平成16年度) H16.11～ H17.1 H17.2.7 H17.3.1 H17.3.31	<ul style="list-style-type: none"> 諸福中垣内線配水管布設工事NS形耐震管φ150mm×558m 老朽管更新事業(旧国道170号線)SⅡ形耐震管φ200mm×409m 	<ul style="list-style-type: none"> 市内全域漏水調査の実施 東大阪市水道局と相互応援給水協定締結 水質検査計画の策定、公表 NS形耐震管採用
(平成17年度) H17.4.1 H17.9.1 H17.11.1 H18.2.27 H18.3.20 H18.3.21	<ul style="list-style-type: none"> 南廻りループ配水幹線(第19-1工区)布設工事φ600mm×73m 	<ul style="list-style-type: none"> 全戸検針実施(閉栓中メーターを検針) 設計積算、管路管理情報システムのハードウェア更新 配水場運転管理業務の全面委託 納付書等のバーコードをEANコードに変更 緊急給水拠点確保事業実施(灰塚配水場内緊急遮断弁設置)
(平成18年度) H18.4.1 H18.7.5	<ul style="list-style-type: none"> 東部第二配水場建設等工事着手 	<ul style="list-style-type: none"> 直結増圧式給水試行要綱の制定施行 口座振替データのオンライン伝送開始

年 月 日	拡 張 事 項	主 な 事 項
H18.10.5		・ 門真市水道局と相互応援給水協定締結(三箇4丁目)
H18.10.10		・ 郵便入札制度開始
H18.11.14		・ 東部第五配水場緊急遮断弁設置
H18.11.22		・ 東部第二配水区域(自然流下)を東部第二高区配水区域(自然流下)に変更
H18.12.22		・ 東部第二配水区域(自然流下)を廃止
H18.12.27	・ 隣接市との相互連絡管工事(門真市)	
H19.3.19	・ 南廻りループ配水幹線(第19-2～第22工区・第27工区)布設工事 φ600mm×585m	
(平成19年度)		
H19.4.3		・ 東部第二配水場新管理棟運用開始(旧管理棟及び配水池(1,800m ³)運用停止)
H19.7.26		・ AED(自動体外式除細動器)灰塚配水場に設置
H19.9.1		・ 東部配水場ポンプ室内アスベスト除去工事
H19.10.29		・ 東部第四配水場 緊急遮断弁設置
H20.2.19	・ 旧170号線配水管改設工事 N S 形耐震管 φ200mm×91.5m	
H20.3.18	・ 諸福中垣内線配水管布設工事 N S 形耐震管 φ150mm×484m	
H20.3.21	・ 市道・氷野東西線配水管布設工事 N S 形耐震管 φ300mm×239m	
H20.3.24	・ 南廻りループ配水幹線(第25工区・第26工区)布設工事 φ600mm×235m	
(平成20年度)		
H20.5.1		・ 給与振込データのオンライン伝送開始
H20.6.11		・ 東部第二配水池の運用配水調整弁(φ800mm)運用
H20.8.1		・ 東部第二配水場内緊急遮断弁設置
H20.10.1		・ 大東市役所玄関ドライ型ミスト装置設置
H20.10.1		・ 灰塚配水場中央管理センター運用開始(東部第二配水場の新配水池からの運用開始)
H20.11.10	・ 灰塚2丁目地内配水管布設工事 N S 形耐震管 φ300mm×52m	
H20.11.17		・ 第1回指定給水装置工事事業者研修会(於東大阪市)の実施
H20.11.28	・ 大野2丁目配水管布設工事 N S 形耐震管 φ150mm×108m	
H20.12.8	・ 氷野1丁目地内配水管布設工事 N S 形耐震管 φ300mm×128m	
H20.12.8	・ 扇町地内配水管布設工事 N S 形耐震管 φ400mm×96m	
H20.12.19	・ 南廻りループ配水幹線布設工事(第23・24工区) φ600mm×136m	・ 南廻りループ配水幹線布設完了(総延長3,760m)
H20.12.24	・ 諸福中垣内線配水管布設工事(第9工区・第10工区) N S 形耐震管 φ150mm×229m	

年月日	拡張事項	主な事項
H21.2.19		・第2回指定給水装置工事事業者研修会(於守口市)の実施
H21.3.18	・東部第二配水場建設等工事完了	
H21.3.20		・東部配水場内に大東市消防署東分署を併設
H21.3.23	・市道片町線附属街路南側2号線配水管布設工事 N S形耐震管φ150mm×75m	
H21.3.25		・灰塚配水場管理棟耐震補強工事
年月日	主要工事	主な事項
(平成21年度)		
H21.4.1		・建物内喫煙禁止 ・老朽管更新事業本格的着手 ・機構改革(料金課をお客さまセンターに改称し、工務課の給水グループを吸収。配水場を工務課と統合し、施設課に改称。3課1配水場→2課1センター) ・通勤用車両の敷地内駐車を有料化
H21.5.11	・府道八尾枚方線配水管布設工事(その7)	
H21.9.1		・休憩時間(12:45～13:00)を廃止
H21.10.1		・大阪市営水道分水料金改定(70円/m ³ ・税抜)
H21.12.1		・滞納整理業務全面委託
H21.12.15	【老朽管更新事業】 ・府道大阪生駒線配水管布設替工事 N S形耐震管φ150mm～φ300mm×39m	
H22.1.21		・東部大阪水道協議会水道災害時相互応援協定締結(東水協会員9市)
H22.3.20		・給水工事受付システム構築
H22.3.25	【老朽管更新事業】 ・市道灰塚大野南北線配水管布設替工事 N S形耐震管φ100mm～φ600mm×285m	
H22.3.31	【老朽管更新事業】 ・市道灰塚大野東西線配水管布設替工事 N S形耐震管φ100mm～φ300mm×347m	・全石綿管布設替完了
(平成22年度)		
H22.4.1		・新公営企業会計システム稼働 ・大阪府営水道分水料金改定(78円/m ³ ・税抜) ・新料金システム稼働 ・給水工事受付システム稼働 ・料金改定実施(平均改定率-4.7%)
H22.10.1		
H22.10.4	【老朽管更新事業】 ・市道太子田萱島線配水管布設替工事 N S形耐震管φ300mm×698m 【老朽管更新事業】 ・府道大阪生駒線配水管布設替工事 N S形耐震管φ300mm×222m	

年月日	主要工事	主な事項
H22.11.2 H23.1.20 H23.3 H23.3.11		<ul style="list-style-type: none"> ・大阪広域水道企業団の設立許可(構成団体：37市町村) ・大阪広域水道企業団の構成団体の追加及び規約の変更許可(構成団体：37→42市町村) ・アセットマネジメントの導入 ・東日本大震災発生、岩手県陸前高田市に給水応援を派遣
(平成23年度) H23.4.1 H23.9.5 H23.10.4 H23.12.1 H23.12.19 H24.2.17	<p>【老朽管更新事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道太子田萱島線配水管布設替工事 NS形耐震管φ300mm×239m <p>【老朽管更新事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道新田中央線配水管布設替工事 NS形耐震管φ200mm×207m <p>【老朽管更新事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道北条寺川線配水管布設替工事 NS形耐震管φ200mm×367m <p>【老朽管更新事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道大野灰塚線配水管布設替工事 NS形耐震管φ150mm×240m 	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪広域水道企業団事業開始 ・大東市水道局直結増圧式給水実施要綱制定施行 ・直結増圧式給水設計施工指針制定 ・大阪広域水道震災対策相互応援協定締結(大阪市を除く府域42市町村の水道事業者及び泉北水道企業団、大阪広域水道企業団、大阪府) ・灰塚配水場管理棟別館築造 ・口座振替日の変更(14日→16日) ・残高不足による振替不能の全件を対象に再振替を実施 ・指定給水装置工事事業者研修会(府統一型ブロック別開催、於守口市の実施)
(平成24年度) H24.4.1		<ul style="list-style-type: none"> ・水道部の創設 ○水道局 <ul style="list-style-type: none"> ・水道部(局の内部組織) <ul style="list-style-type: none"> ・総務課 ・お客さまセンター ・施設課 ○市長部局 <ul style="list-style-type: none"> ・水道部(水道局との重複組織) <ul style="list-style-type: none"> ・下水道課(街づくり部から移管水道局敷地内に移転)

年月日	主要工事	主な事項
H24.8.1	【老朽管更新事業】 ・北条寺川線配水管布設替工事(H24-1) NS形耐震管φ200mm×91m	<ul style="list-style-type: none"> ・加圧式小型給水車(容量1.8t)1台配備 ・水質監視モニター設備設置(東部第二配水系中間)
H25.1.21	【老朽管更新事業】 ・氷野太子田線配水管布設替工事(H24-1～2) NS形耐震管φ300mm×445m	
H25.1.23	【老朽管更新事業】 ・大阪生駒線配水管布設替工事(H24-1) NS形耐震管φ300mm×146m	
H25.3.21		
H25.3.31		
(平成25年度)		<ul style="list-style-type: none"> ・大東市水道料金等徴収業務委託(H25.4.1～H28.3.31) 検針・開閉栓・滞納整理に窓口を加えた包括委託 ・大阪広域水道企業団給水料金改定(75円/m³・税抜き) ・灰塚配水場ポンプ室築造等工事着手 ・四條畷市上下水道局と相互応援給水協定締結 ・灰塚配水場内配水池(1,000m³)を廃止
H25.4.1		
H25.9.26		
H25.10.23	【老朽管更新事業】 ・新田2号線配水管布設替工事(H25-1～2) NS形耐震管φ150mm×481m	
H25.10.25	【老朽管更新事業】 ・三年坂会所橋線配管布設替工事(H25-1～2) NS形耐震管φ150mm×613m	
H26.3.4		
H26.3.17	【老朽管更新事業】 ・太子田萱島線配水管布設替工事(H25-1) NS形耐震管φ300mm×241m	
H26.3.31		
(平成26年度)		<ul style="list-style-type: none"> ・新会計制度適用 ・消費税率改定(5%→8%) ・指定給水装置工事事業者研修会(府統一型ブロック別開催、於枚方市の実施)
H26.4.1		
H26.7.16		
H26.10.23	【老朽管更新事業】 ・深野南寺方大阪線配水管布設替工事(H26-1～2) NS形耐震管φ200mm×525m	
H26.11.4	【老朽管更新事業】 ・国道170号線配水管布設替工事(H26-1～2) NS形耐震管φ200mm×555m	
H27.2.20	【老朽管更新事業】 ・扇町地内配水管布設替工事(H26-1) NS形耐震管φ150mm×315m	

年月日	主要工事	主な事項
H27.3.16	【老朽管更新事業】 ・新田2号線配水管布設替工事(H26-1) N S形耐震管 φ150mm×170m	<ul style="list-style-type: none"> ・灰塚配水場ポンプ室築造等工事完了 ・水質監視モニター設備設置 東部第二配水系末端・大阪市水系末端
H27.3.27		
H27.3.31		
(平成27年度)		<ul style="list-style-type: none"> ・上下水道局の創設 総務課 お客さまセンター 水道施設課 下水道施設課 ・北条ポンプ場築造工事着手 ・G X形ダクタイル鋳鉄管採用
H27.4.1		
H27.5.12		
H27.8.6	【老朽管更新事業】 ・諸福中垣内線配水管布設替工事(H27-1) G X形耐震管 φ200mm×308m	
H27.9.10	【老朽管更新事業】 ・鴻池新田停車場線配水管布設替工事 (H27-1～2) G X形耐震管 φ200mm×96m φ150mm×60m	
H27.11.25	【老朽管更新事業】 ・野崎駅前線配水管布設替工事(H27-1) G X形耐震管 φ150mm×370m	
H28.3.6		
(平成28年度)		<ul style="list-style-type: none"> ・大東市上下水道局お客さまセンターに係る 包括業務委託(H28.4.1～H31.3.31) ・配水池屋上防水改修工事(東部第五配水場)
H28.4.1		
H28.7.15		
H28.8.1	【老朽管更新事業】 ・住道中垣内線配水管布設替工事(H28-1) G X形耐震管 φ300mm×200m	
H28.9.21	【老朽管更新事業】 ・八尾枚方線配水管布設替工事(H28-1) G X形耐震管 φ150mm×150m	
H28.12.8	【老朽管更新事業】 ・大阪生駒線配水管布設替工事(H28-1) G X形耐震管 φ300mm×135m	
H29.1.27		
H29.2.3	【老朽管更新事業】 ・太子田萱島線配水管布設替工事(H28-1) G X形耐震管 φ200mm×215m	
		<ul style="list-style-type: none"> ・4,500m³配水池流動壁修繕工事(灰塚配水場)

年月日	主要工事	主な事項
H29.3.28		<ul style="list-style-type: none"> 配水場送水ポンプ取替工事 東部第二配水場、東部第二高区配水場 水質監視モニター設備設置 東部第二高区南部系末端
(平成29年度)		
H29.4.1		<ul style="list-style-type: none"> 電子入札導入
H29.5.31		<ul style="list-style-type: none"> 配水池屋上防水改修工事 (東部第四配水場)
H29.9.6	<p>【老朽管更新事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 太子田福島線配水管布設替工事(H29-1) GX形耐震管φ150mm×230m 	
H29.10.6	<p>【老朽管更新事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国道170号線配水管布設替工事(H29-1) GX形耐震管φ300mm×158m 	
H29.10.23	<p>【老朽管更新事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大東四條畷線配水管布設替工事(H29-1) GX形耐震管φ150mm×122m 	
H29.12.12	<p>【老朽管更新事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 諸福中垣内線配水管布設替工事(H29-1~2) GX形耐震管φ200mm×435m 	
H30.3.22	<ul style="list-style-type: none"> 津の辺町地内配水管布設工事(H29-1) HPPE形耐震管φ100・150mm×112m 	<ul style="list-style-type: none"> HPPE管試験採用
H30.3.30		<ul style="list-style-type: none"> 水質監視モニター設備設置 灰塚系受水
(平成30年度)		
H30.4.1		<ul style="list-style-type: none"> 大阪広域水道企業団料金改定(72円/m³・税抜き)
H30.5.31		<ul style="list-style-type: none"> HPPE管本格採用(φ150mmまで)
H30.6.18		<ul style="list-style-type: none"> 北条ポンプ場完成(試験運用開始)
H30.6.20		<ul style="list-style-type: none"> 大阪北部地震発生 大阪北部地震に伴う高槻市断水地区への給水応援を派遣
H30.7.2	<p>【管路更新事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 末広線配水管布設替工事(H30-1) GX形耐震管φ75mm~φ300mm×160m 	
H30.8.27	<p>【管路更新事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 八尾枚方線配水管布設替工事(H30-5) GX形耐震管φ150mm・φ300mm×106m 	
H30.9.26	<p>【管路更新事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 八尾枚方線配水管布設替工事(H30-3) GX形耐震管φ150mm・φ300mm×122m 	
H30.10.17	<p>【管路更新事業】</p> <p>(H30-1)</p> <p>GX形耐震管φ200mm・φ300mm×147m</p>	

年 月 日	主 要 工 事	主 な 事 項
H30.11.18	【第5回拡張事業】 ・大阪生駒線配水管布設工事(H30-1) G X形耐震管 φ 150mm×110m	
H31.3.25	【管路更新事業】 ・灰塚配水場内配水管布設替工事(H30-1) G X形耐震管 φ 300mm×31m N S形耐震管 φ 600mm×39m	・高圧受変電設備及びポンプ盤更新工事 (東部第二配水場)
H31.3.29		・水質監視モニター設備設置 灰塚系末端・東部第二高区北部系末端
(令和元年度)		
H31.4.1		・スマホ決済アプリ「PayB」による自主納付開始
H31.4.30		・大東市上下水道局お客さまセンターに係る包括業務委託(H31.4.1~R6.3.31)
R元.9.30		・大東市水道事業経営戦略の策定
R元.10.1		・灰塚配水場内にメーター倉庫南棟新設
R元.12.23	【管路更新事業】 ・大阪生駒線配水管布設工事(H31-2) G X形耐震管 φ 300mm×173m	・水道法の一部改正に伴う指定給水装置工事事業者更新制度実施
R元.12.27	【管路更新事業】 ・国道170号線他配水管布設替工事(H31-1) G X形耐震管 φ 300mm・φ 300mm×76m	・消費税率改定(8%→10%)
R2.1.10	【管路更新事業】 ・谷川二丁目地内配水管布設替工事(H31-1) G X形耐震管 φ 300mm×133m	
R2.2.19	【管路更新事業】 ・大阪生駒線配水管布設替工事(H31-5) G X形耐震管 φ 150mm×168m	
R2.3.19		・北条ポンプ場運用開始
R2.3.31		・灰塚配水場2,000m ³ 配水池取り壊し撤去工事 ・三階以上直結直圧式給水実施要綱の制定施行
(令和2年度)		
R2.6.1		・新型コロナウイルス感染症に係る支援として水道料金の基本料金無料化を実施 (令和2年6月~令和3年1月検針分)
R2.7.1		・新型コロナウイルス感染症の影響による大阪広域水道企業団水道用水供給料金の軽減 (令和2年4月~7月検針分、72円/m ³ から62円/m ³ へ軽減)
R2.9.30	【管路更新事業】 ・氷野東西線配水管布設替工事(R2-1) G X形耐震管 φ 150mm×180m	

年月日	主要工事	主な事項
R2.10.1	【管路更新事業】 ・国道170号線配水管布設替工事(R2-1) GX形耐震管φ300mm×152m	
R2.12.16	【管路更新事業】 ・灰塚大野東西線配水管布設替工事(R2-1) GX形耐震管φ300mm×180m	
R3.2.26	【管路更新事業】 ・北条西小学校前線配水管布設替工事(R2-1) GX形耐震管φ150mm×117m	
R3.3.29	【第5回拡張事業】 ・八尾枚方線配水管布設工事(R2-1) GX形耐震管φ300mm・φ200mm×122m	
R3.3.31		・大東市水道ビジョン(2021～2030)の策定 ・灰塚配水場管理棟自家発電設備設置
(令和3年度)		
R3.4.1		・スマホ決済アプリ「楽天銀行コンビニ支払いサービス」「LINE Pay」「PayPay」による自主納付開始
R3.8.1		・スマホ決済アプリ「auPAY」による自主納付開始
R3.9.13	【第5回拡張事業】 ・大阪生駒線配水管布設工事(R3-1) GX形耐震管φ200mm×198m	
R3.9.24	【管路更新事業】 ・氷野鴻池線配水管布設替工事(R3-1) GX形耐震管φ150mm×262m	
R3.10.6	【第5回拡張事業】 ・大阪生駒線配水管布設工事(R3-2) GX形耐震管φ200mm×215m	
R3.10.11	【管路更新事業】 ・灰塚中央線配水管布設替工事(R3-1) GX形耐震管φ300mm×233m	
R3.10.27	【管路更新事業】 ・南郷中学校前線配水管布設替工事(R3-1) GX形耐震管φ150mm×153m	
R3.12.7	【管路更新事業】 ・四条南小学校前北側線導水管布設替工事(R3-1) NS形耐震管φ600mm×170m	・東部第四配水場法面崩落防止対策工事
R4.1.6		・大阪広域水道企業団と「水道事業の統合に向けての検討、協議に関する覚書」を締結
R4.2.14	【管路更新事業】 ・諸福中学校前線配水管布設替工事(R3-1) GX形耐震管φ150mm×107m	

年 月 日	主 要 工 事	主 な 事 項
(令和4年度)		
R4.7.1		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における原油価格・物価高騰等に対する生活支援策として水道料金の基本料金無料化を実施 (令和4年7月～令和4年12月検針分) ・スマホ決済アプリ「d払い」による自主納付開始
R4.8.12		<ul style="list-style-type: none"> ・大阪広域水道企業団と「水道事業の統合に向けての検討、協議」の継続中止を決定
R4.9.20	<p>【管路更新事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深野3号線配水管布設替工事(R4-2) GX形耐震管 φ300mm×205m 	
R4.12.15	<p>【管路更新事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四条南小学校北側線導水管布設替工事(R4-1) NS形耐震管 φ600mm×153m 	
R5.3.13	<p>【管路更新事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深野3号線配水管布設替工事(R4-1) GX形耐震管 φ300mm×147m 	
R5.3.17	<p>【管路更新事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑が丘二丁目地内配水管布設替工事(R4-1) GX形耐震管 φ300mm×219m 	
R5.3.23		<ul style="list-style-type: none"> ・電子申請による開閉栓の届出受付開始
R5.3.31	<p>【老朽管更新事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道170号線配水管布設替工事 (R4-1) GX形耐震管 φ200mm×140m 	

3 業務量の概要

(1) 業務の推移

項目	R 4 年度	R 3 年度	R 2 年度	R 元年度	H30年度
行政区域内人口 (人)	117,209	118,145	119,380	120,138	120,537
行政区域内世帯数 (戸)	57,935	57,553	57,490	57,103	56,519
給水人口 (人)	117,203	118,139	119,374	120,390	120,791
給水戸数 (戸)	57,932	57,550	57,487	57,236	56,651
普及率 (%)	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%
年間総配水量 (m ³)	12,708,659 (100%)	12,975,669 (100%)	13,247,979 (100%)	13,166,336 (100%)	13,815,045 (100%)
企業団水道 (m ³)	12,522,228 (98.5%)	12,787,820 (98.6%)	13,071,579 (98.7%)	12,982,156 (98.6%)	13,636,850 (98.7%)
大阪市水 (m ³)	186,431 (1.5%)	187,849 (1.4%)	176,400 (1.3%)	184,180 (1.4%)	178,195 (1.3%)
自己水 (m ³)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
一日最大配水量 (m ³)	37,735 (6月30日)	37,991 (12月31日)	42,591 (6月17日)	39,260 (8月26日)	41,657 (7月18日)
一日最小配水量 (m ³)	30,636 (1月1日)	31,319 (1月1日)	32,409 (1月1日)	31,462 (1月1日)	33,936 (1月1日)
一日平均配水量 (m ³)	34,818	35,550	36,296	35,974	37,849
一人一日最大配水量 (ℓ)	320	320	354	326	343
一人一日最小配水量 (ℓ)	261	264	271	261	281
一人一日平均配水量 (ℓ)	297	301	304	299	313
年間有収水量 (m ³)	12,406,070	12,643,187	12,837,031	12,748,491	12,849,241
有収率 (%)	(97.6%)	(97.4%)	(96.9%)	(96.8%)	(93.0%)
年間無収水量 (m ³)	301,473	310,122	327,824	317,589	532,109
年間無効水量 (m ³)	1,116	22,360	83,124	100,256	433,695
配水管延長 (m)	257,862	257,194	256,394	255,782	255,084
公設消火栓 (基)	2,004	2,003	2,003	2,007	2,007
仕切弁 (基)	4,800	4,763	4,731	4,717	4,686
空気弁 (基)	140	137	137	136	136
供給単価 (円)	129.87	155.57	122.14	158.71	159.47
給水原価 (円)	159.02	158.33	153.72	163.53	156.45
職員数 (管理者含む) (人)	25	26	25	24	23

(2) 市内水道管口径別延長

① 導水管口径別延長

(単位：m)

口径(mm) \ 年度	R 4年度	R 3年度	R 2年度	R 元年度	H30年度
φ 350以下	51	51	51	51	51
400	676	676	676	676	676
450	14	14	14	14	14
500	0	0	0	0	0
600	1,021	1,021	1,021	1,021	1,021
合 計	1,762	1,762	1,762	1,762	1,762

② 送水管口径別延長

(単位：m)

口径(mm) \ 年度	R 4年度	R 3年度	R 2年度	R 元年度	H30年度
φ 150以下	1,454	1,454	1,454	1,454	1,454
200	1,522	1,522	1,522	1,522	1,522
300	16	16	16	16	16
350	25	25	25	25	25
400	482	482	482	482	482
450	0	0	0	0	0
600	477	477	477	477	477
700	22	22	22	22	22
合 計	3,998	3,998	3,998	3,998	3,998

③ 配水管口径別延長（管種別）

（単位：m）

口径 (mm)	年度 管種	R 4年度	R 3年度	R 2年度	R 元年度	H30年度
φ75	D I P	5,993	5,979	6,071	5,966	5,928
	C I P	17	17	17	17	17
	G P	109	109	109	110	143
	H P P E	1,798	1,523	705	380	79
	H I V P	35,280	35,208	35,221	35,127	35,047
φ100	D I P	33,885	34,099	34,127	34,091	34,204
	C I P	21	21	26	43	43
	G P	68	68	68	68	68
	H P P E	625	282	281	281	145
	H I V P	350	350	345	345	345
φ150	D I P	108,607	108,501	108,486	108,512	108,245
	C I P	241	288	289	301	318
	H P P E	58	47	47	47	0
	G P	164	166	166	166	166
	H L	35	0	0	0	0
φ200	D I P	26,243	25,851	25,474	25,360	25,311
	C I P	37	42	42	79	130
	G P	221	221	221	221	209
φ250	D I P	2,121	2,517	2,517	2,541	2,899
	C I P	2	2	2	2	0
	G P	48	48	48	48	58
φ300	D I P	20,600	19,557	19,761	19,706	19,350
	C I P	24	984	1,062	1,062	1,062
	G P	484	484	484	484	493
φ350	D I P	1,103	1,103	1,103	1,103	1,103
	G P	26	26	26	26	26
φ400	D I P	1,783	1,783	1,778	1,778	1,777
	G P	8	8	8	8	8
φ500	D I P	2,214	1,751	1,708	1,708	1,708
	C I P	0	463	506	506	506
	G P	96	96	96	96	96
φ600	D I P	9,168	9,167	9,167	9,167	9,167
	G P	155	155	155	155	155
φ700	D I P	75	75	75	75	75
φ800	D I P	424	424	424	424	424
φ2600	D I P	19	19	19	19	19
合 計		252,102	251,434	250,634	250,022	249,324

※ DIP：ダクタイル鋳鉄管 CIP：鋳鉄管 GP：鋼管 HIVP：ビニール管 HPPE：水道配水用ポリエチレン管

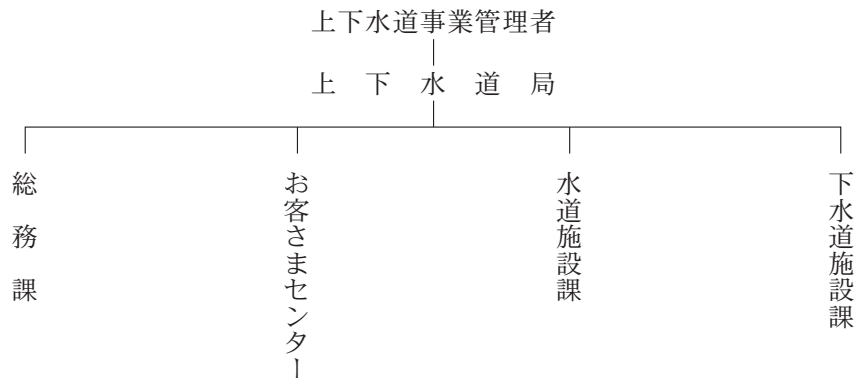
Ⅱ 機構及び職制

- 1 機 構 図
- 2 事 務 分 掌
- 3 職 員 配 置 表
- 4 年 齢 別 職 員 構 成
- 5 勤 続 年 数 別 職 員 構 成
- 6 年 度 別 ・ 職 種 別 職 員 数
- 7 所 属 別 ・ 職 種 別 職 員 構 成
- 8 職 員 給 与 費
- 9 電 算 業 務 概 要

II 機構及び職制

1 機構 図

(平成27年4月1日施行)



2 事務分掌

総務課においては、おおむね次の事務をつかさどる。

- (1) 水道事業及び下水道事業の基本計画の策定及び総合調整に関すること。
- (2) 文書及び公印に関すること。
- (3) 職員の任免、給与、勤務時間その他の勤務条件、懲戒、研修及びその他の身分取扱に関すること。
- (4) 労務管理に関すること。
- (5) 庁舎管理に関すること。
- (6) 指定給水装置工事事業者の指定並びに排水設備工事に係る指定工事店の決定に関すること。
- (7) 予算編成及び予算執行の調整に関すること。
- (8) 決算に関すること。
- (9) 財政計画及び資金計画に関すること。
- (10) 主要事業の進行管理に関すること。
- (11) 資産の取得、管理及び処分に関すること。
- (12) 契約及び用度に関すること。
- (13) 公債及び一時借入金に関すること。
- (14) 出納その他経理事務に関すること。
- (15) 電子計算機業務の運営管理及び調整に関すること。
- (16) 流域下水道協議会に関すること。
- (17) 課の所管に属する予算の編成及び執行に関すること。
- (18) 他の課等の主管に属さないこと。
- (19) 局の庶務に関すること。
- (20) 所管の事務に係る関係機関との連絡調整に関すること。

お客さまセンターにおいては、おおむね次の事務をつかさどる。

- (1) 水道料金、メーター使用料金、下水道使用料、戸別浄化槽施設使用料等の徴収及び還付に関する
こと。
- (2) 上下水道使用に関する諸届の受付に関すること。

- (3) 使用水量の計量及び用途の認定に関すること。
- (4) 開栓及び閉栓に関すること。
- (5) メーターの管理に関すること。
- (6) その他計量に関すること。
- (7) 水洗便所改造資金の助成及び融資のあっ旋に関すること。
- (8) 受益者負担金及び戸別浄化槽設置分担金の賦課及び徴収に関すること。
- (9) 汚水排出量の認定に関すること。
- (10) センターの所管に属する予算の編成及び執行に関すること。
- (11) センターの庶務に関すること。
- (12) 所管の事務に係る関係機関との連絡調整に関すること。

水道施設課においては、おおむね次の事務をつかさどる。

- (1) 水道施設の整備計画に関すること。
- (2) 技術上の重要事項の調査、研究及び調整に関すること。
- (3) 水道施設の改良に関すること。
- (4) 給水の緊急停止及び給水制限に関すること。
- (5) 応急給水に関すること。
- (6) 配水管設備の受託工事に関すること。
- (7) 配水管設備の受託工事に係る負担金の徴収及び還付に関すること。
- (8) マッピングシステムの運用管理に関すること。
- (9) 配水管設備の維持管理に関すること。
- (10) 給水装置の維持修繕に関すること。
- (11) その他維持修繕に関すること。
- (12) 受水及び配水に関すること。
- (13) 配水場の運転操作及び維持管理に関すること。
- (14) 配水場の衛生上の措置に関すること。
- (15) 水質管理に関すること。
- (16) 給水装置の基準に関すること。
- (17) 給水装置工事の申込みの受付に関すること。
- (18) 給水装置工事の設計審査及び施工に関すること。
- (19) 給水装置工事に係る加入金、手数料等及び修繕工事費の徴収及び還付に関すること。
- (20) その他給水装置に関すること。
- (21) 課の所管に属する予算の編成及び執行に関すること。
- (22) 課の庶務に関すること。
- (23) 所管の事務に係る関係機関との連絡調整に関すること。

下水道施設課においては、おおむね次の事務をつかさどる。

- (1) 下水道施設の整備及び維持管理に関すること。
- (2) 下水道施設の整備計画に関すること。
- (3) 下水道の供用開始に係る工事に関すること。
- (4) 下水道に流入する水質の規制に関すること。
- (5) 除外施設及び特定施設に関すること。

- (6) 開発行為に係る指導及び下水道の協議に関すること。
- (7) 排水設備工事の確認申請に関すること。
- (8) 市設置型合併浄化槽の整備及び維持管理に関すること。
- (9) 課の所管に属する予算の編成及び執行に関すること。
- (10) 課の庶務に関すること。
- (11) 所管の事務に係る関係機関との連絡調整に関すること。

3 職員配置表

(単位：人)

所 属	職 名	事務職員	技術職員	任期付職員	再任用職員	計
管 理 者		0	0	0	0	1
局 長		0	0	0	0	0
総 括 次 長		1	0	0	0	1
総 務 課		4	0	0	0	4
お客さまセンター		4	0	0	0	4
水道施設課		3	10	2	0	15
合 計		12	10	2	0	25

(会計年度任用職員、下水道会計職員を除く)

4 年齢別職員構成

(単位：人)

年 齢	職 種	事務職員	技術職員	任期付職員	再任用職員	計
20歳以下		0	0	0	0	0
21歳～25歳		0	1	0	0	1
26歳～30歳		2	2	0	0	4
31歳～35歳		1	0	0	0	1
36歳～40歳		2	1	0	0	3
41歳～45歳		3	2	0	0	5
46歳～50歳		1	3	0	0	4
51歳～55歳		2	1	0	0	3
56歳～60歳		1	0	2	0	3
61歳以上		0	0	0	0	0
合 計		12	10	2	0	24
平均年齢		42歳 3月	40歳 3月	57歳 0月	0歳 0月	42歳 7月

(管理者、会計年度任用職員、下水道会計職員を除く)

5 勤続年数別職員構成

(単位：人・%)

職
機
構
及
び

勤続年数	事務職員		技術職員		任期付職員		再任用職員		計	
	職員数	比率	職員数	比率	職員数	比率	職員数	比率	職員数	比率
～5年未満	1	8.3	2	20.0	1	50.0	0	0.0	4	16.7
5年以上～10年未満	2	16.7	2	20.0	0	0.0	0	0.0	4	16.7
10年以上～15年未満	1	8.3	0	0.0	1	50.0	0	0.0	2	8.3
15年以上～20年未満	3	25.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	12.5
20年以上～25年未満	1	8.3	3	30.0	0	0.0	0	0.0	4	16.7
25年以上～30年未満	1	8.3	3	30.0	0	0.0	0	0.0	4	16.7
30年以上～35年未満	2	16.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	8.3
35年以上～40年未満	1	8.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	4.2
40年以上～45年未満	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
45年以上～	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合 計	12	100.0	10	100.0	2	100.0	0	0.0	24	100.0
職員1人当り 平均勤続年数	18年 5月		16年 7月		5年 5月		0年 0月		16年 9月	
平均年齢	42歳 3月		40歳 3月		57歳 0月		0歳 0月		42歳 7月	

(管理者、会計年度任用職員、下水道会計職員を除く)

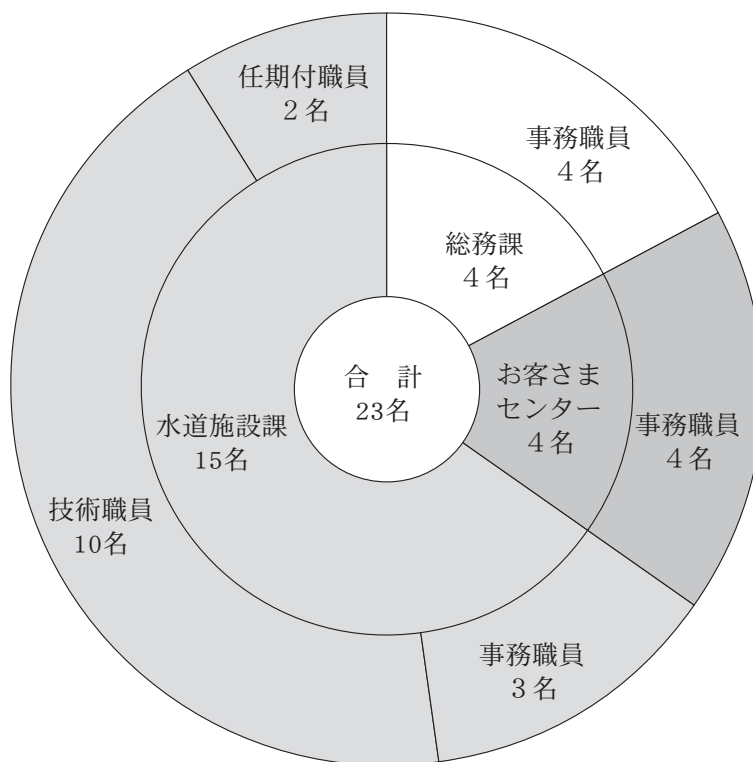
6 年度別・職種別職員数

(単位：人)

年 度	事務職員	技術職員	任期付職員	再任用職員	計
R4年度	12	10	2	0	24
R3年度	12	11	2	0	25
R2年度	12	10	2	0	24
R元年度	12	10	1	4	27
H30年度	13	8	1	3	25

(管理者、会計年度任用職員、下水道会計職員を除く)

7 所属別・職種別職員構成



* 課に属さない者(管理者・局長・総括次長)、会計年度任用職員を除く

8 職員給与費

(単位：千円)

年度		R4年度	R3年度	R2年度	R元年度	H30年度
科目						
	基本給	122,789	125,398	121,484	118,647	111,486
	手当	39,687	42,462	42,048	41,427	42,649
内訳	時間外勤務	3,068	4,203	5,359	4,919	5,330
	特殊勤務	106	122	124	104	183
	期末勤勉	30,479	32,530	31,046	31,195	29,063
	その他	6,034	5,607	5,519	5,209	8,073
	法定福利費	32,441	33,650	32,910	33,927	31,737
	賞与引当金繰入額	17,190	15,479	16,598	16,307	15,165
	退職給付金	12,597	17,432	14,881	15,621	15,930
	計	224,704	234,421	227,921	225,929	216,967

(資本勘定職員を含む)

9 電 算 業 務 概 要

(1) 電算処理に伴う業務内容

窓口業務の円滑化、事務作業の効率化を図るため、昭和49年12月に電算機処理を導入、以下の業務開発を行った。(当初、プログラム作成は職員により開発 平成22年4月システム開発業者に全面委託)

[料金調定システム]

処 理 業 務 名	処 理 内 容
料 金 調 定 収 納	・ 検針、料金調定、納付書、調定集計など、料金全般の処理 (昭和49年12月開発 平成22年4月帳票様式変更)
	・ パンチャー依存処理の廃止、職員による即時入力処理の採用 (昭和62年11月全面変更)
	・ 検針カードの廃止、ハンディーターミナル機器による検針業務の採用 (平成2年4月開発 平成22年4月システム変更)
	・ 水道料金納入通知書等に三つ折りはがきを採用 (プライバシー保護) (平成7年1月帳票様式変更)
	・ 水道料金納入通知書等のバーコードをEANコードに変更 (平成18年3月変更)
	・ スマートデバイス及びモバイルプリンタによる検針業務の採用 (令和元年10月変更)
検 定 満 期 取 替	計量法に基づくメーターの定期取替に伴う処理 (昭和51年4月開発 平成22年4月システム全面変更)

[給水装置工事受付システム]

給 水 窓 口 受 付	工事許可証等の打出及び加入金、手数料の調定処理 (平成3年1月開発 平成8年4月全面変更 平成22年4月システム全面変更)
-------------	------------------------------------------------------------------

[公営企業会計システム]

固 定 資 産 管 理	資産の適正管理と減価償却、資産台帳打出等の処理 (昭和56年4月開発 昭和60年4月全面変更 平成22年4月システム全面変更 令和3年4月クラウド化)
財 務 会 計	予算編成、試算表、精算表、給水原価表等会計全般の処理 (昭和58年11月開発 平成22年4月システム全面変更 令和3年4月クラウド化)
入 札 ・ 契 約	入札・契約関係様式の打出、統計資料作成などの処理 (昭和63年7月開発 平成2年5月変更 平成22年4月システム全面変更 令和3年4月クラウド化)
企 業 債 償 還 台 帳 作 成	企業債の借入・償還の管理並びに年次別償還台帳打出などの処理 (昭和59年1月開発 平成2年11月全面変更 平成22年4月全面変更 令和3年4月クラウド化)

[給与計算システム]

給 与 計 算	職員の給与、賞与、差額、年末調整、福利厚生などの処理 (市長部局へ電算機処理委託)
---------	----------------------------------------------

(2) 電算機器構成・明細

[料金調定システム]

	機器種別	機器構成		容量・台数
電 算 室	〔ホストマシン〕 NEC Express 5800 /R320c-E4	17型LCDコンソールユニット		1台
		無停電電源装置 1500VA		2台
	〔バックアップサーバ〕	BUFFALO RAID対応NAS “TeraStation WSS”		1台
お 客 さ ま セ ン タ ー	〔周辺装置〕	端 末 機	Mate MKM30/B-4(デスクトップ型)	11台
			VersaPro VKT16/X-4(ノート型)	4台
		プ リ ン タ ー	MultiWriter8700	4台
			MultiWriter5500	2台
			MultiWriter9300C	1台
			MultiWriter4700	1台
			LL4000(ページプリンタ)	1台
		OCR読取装置(N6376-501A)	1台	
		スマートデバイス(FZ-X1)	15台	
		モバイルプリンタ(SM-T300i2)	15台	
水 道 施 設	〔周辺装置〕	端 末 機	Mate MKM30/B-4(デスクトップ型)	1台
		プ リ ン タ ー	MultiWriter8700	1台
市 窓 口	〔周辺装置〕	プ リ ン タ ー	MultiWriter8700	1台

職 機
制 構
及 び

Ⅲ 給 水 状 況

- 1 配 水 区 域 図
- 2 受 ・ 配 水 系 統 図
- 3 配 水 量
- 4 月別電力使用量比較表
- 5 用途別年間使用水量
- 6 大口需要者一覽表
- 7 水 質 檢 査 表
- 8 配 水 量 分 析 表

Ⅲ 給 水 状 況

1 配 水 区 域 図



大阪広域水道企業団深野分岐配水区域



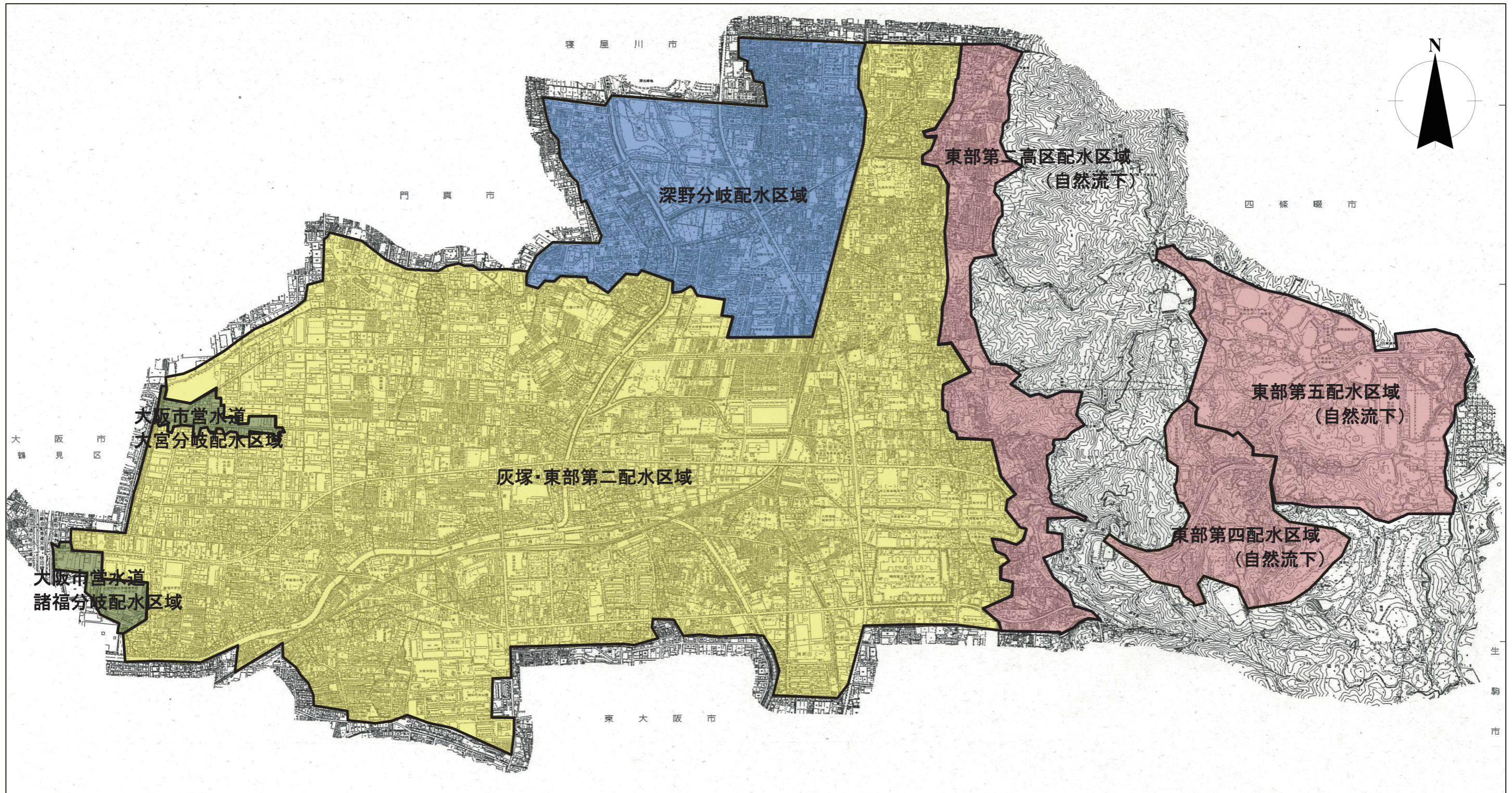
灰塚・東部第二配水区域



東部高区系配水区域(自然流下)

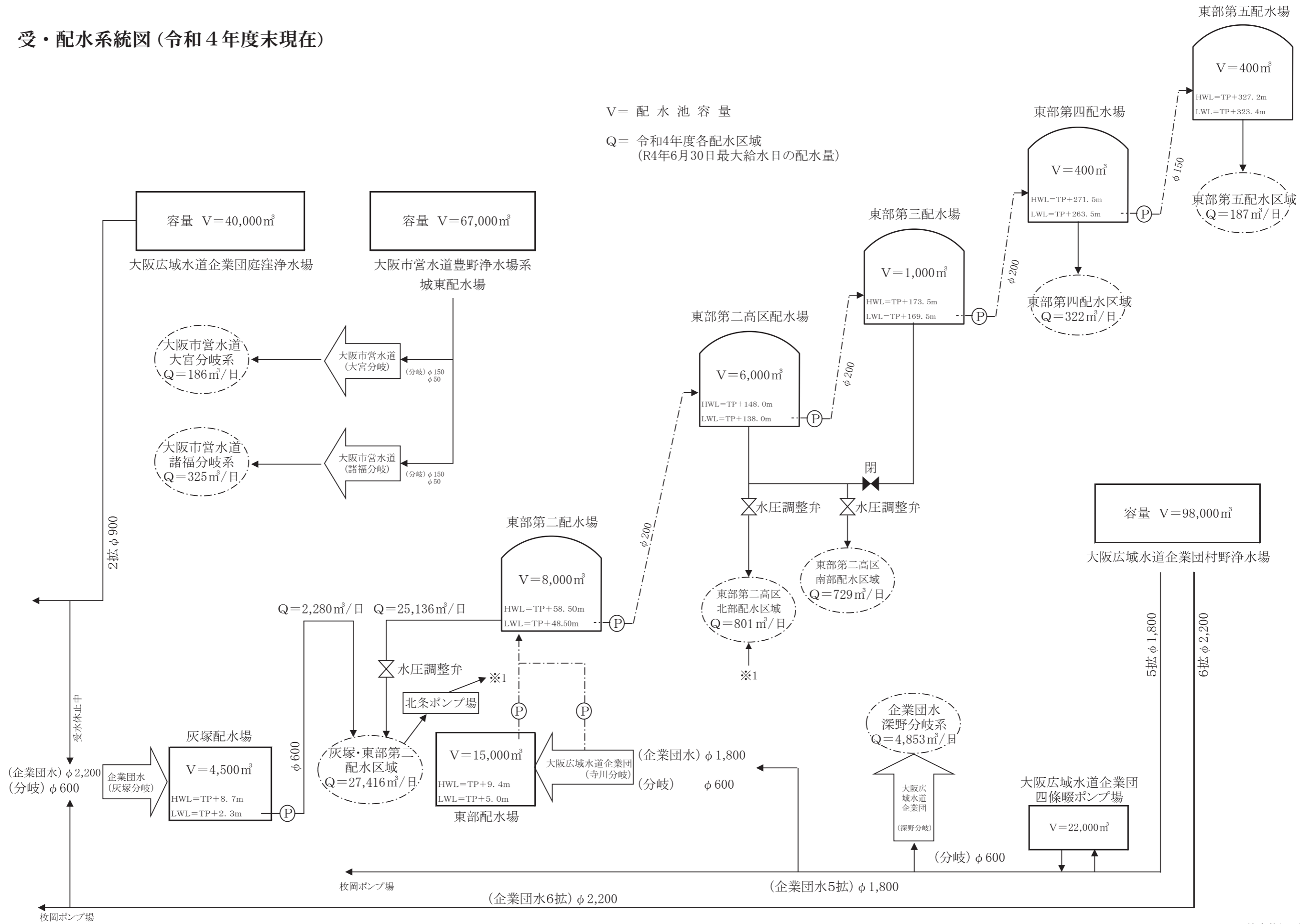


大阪市営水道配水区域



2 受・配水系統図 (令和4年度末現在)

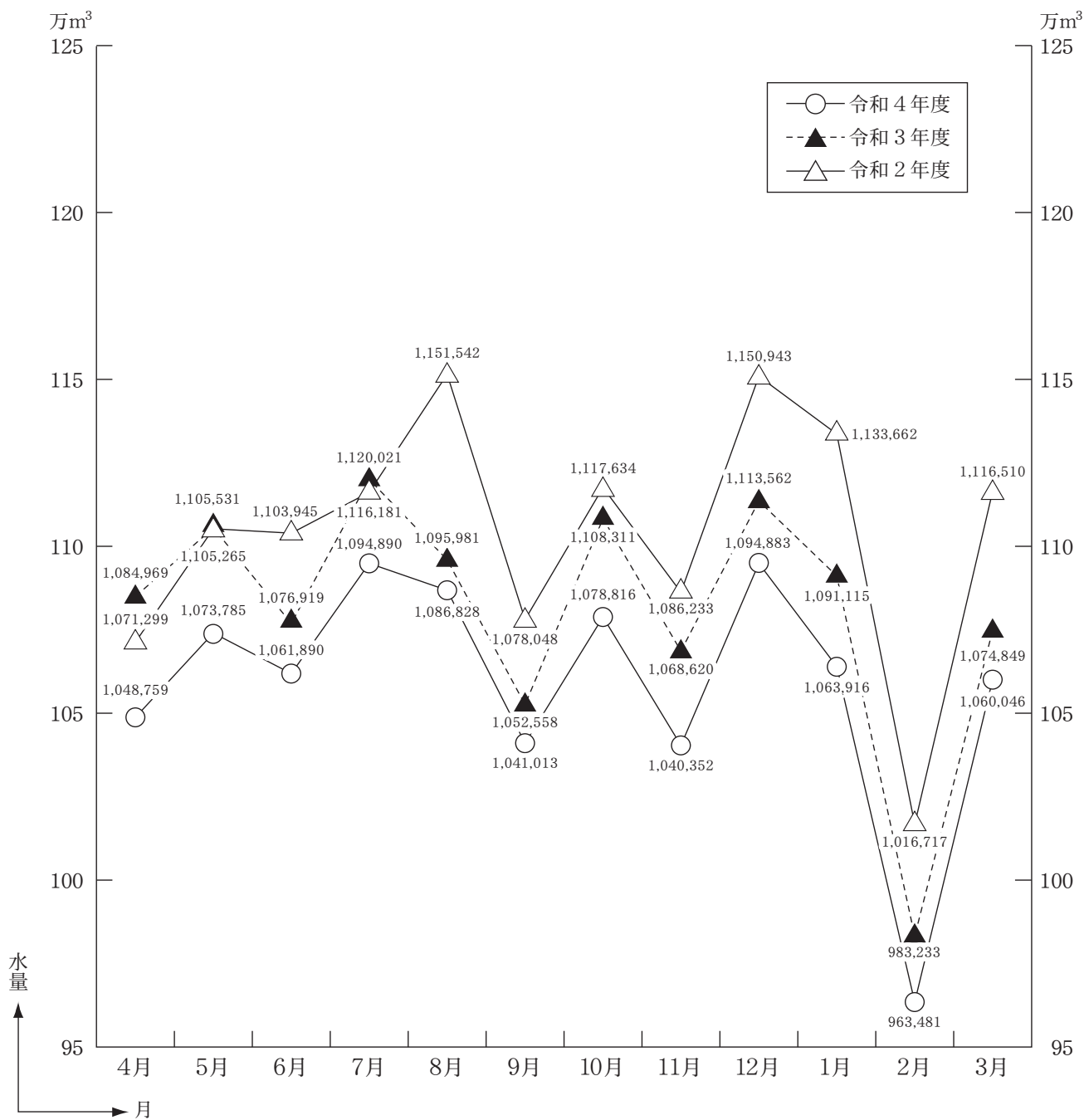
V = 配水池容量
 Q = 令和4年度各配水区域
 (R4年6月30日最大給水日の配水量)



給水状況

3 配水量

(1) 月間配水量の推移



給水状況

(単位：m³)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和4年度	1,048,759	1,073,785	1,061,890	1,094,890	1,086,828	1,041,013	1,078,816	1,040,352	1,094,883	1,063,916	963,481	1,060,046
令和3年度	1,084,969	1,105,531	1,076,919	1,120,021	1,095,981	1,052,558	1,108,311	1,068,620	1,113,562	1,091,115	983,233	1,074,849
令和2年度	1,071,299	1,105,265	1,103,945	1,116,181	1,151,542	1,078,048	1,117,634	1,086,233	1,150,943	1,133,662	1,016,717	1,116,510

(2) 系統別毎月配水量

月	区分	大阪広域水道企業団水				
		東部第二	高区北部系	高区南部系	東部第四	東部第五
R4年4月		775,510	24,139	21,473	9,274	5,648
5月		777,829	24,872	22,278	10,384	5,797
6月		766,317	24,914	22,076	9,923	6,076
7月		793,995	25,204	23,268	10,026	6,495
8月		787,187	24,527	22,155	10,120	6,742
9月		748,092	24,116	21,204	10,112	5,614
10月		770,994	24,960	22,991	10,267	5,590
11月		744,743	23,859	21,811	9,473	5,099
12月		785,981	25,077	23,235	10,116	5,263
R5年1月		766,852	24,868	22,796	8,911	5,520
2月		692,445	21,830	20,180	8,665	4,928
3月		764,680	23,973	22,598	10,213	5,310
計		9,174,625	292,339	266,065	117,484	68,082
前年度		9,360,176	301,183	274,568	113,444	71,432
増減		△ 185,551	△ 8,844	△ 8,503	4,040	△ 3,350

(3) 系統別一日平均配水量

月	区分	大阪広域水道企業団水				
		東部第二	高区北部系	高区南部系	東部第四	東部第五
R4年4月		25,850	804	715	309	188
5月		25,091	802	718	334	187
6月		25,543	830	735	330	202
7月		25,612	813	750	323	209
8月		25,393	791	714	326	217
9月		24,936	803	706	337	187
10月		24,870	805	741	331	180
11月		24,824	795	727	315	169
12月		25,354	808	749	326	169
R5年1月		24,737	802	735	287	178
2月		24,730	779	720	309	176
3月		24,667	773	728	329	171

(単位：m³)

灰	塚	深	野	計	大 阪 市 営 水 道 (浄 水)	合 計
	73,090		124,369	1,033,503	15,256	1,048,759
	63,860		153,325	1,058,345	15,440	1,073,785
	66,860		149,667	1,045,833	16,057	1,061,890
	65,680		153,699	1,078,367	16,523	1,094,890
	67,330		152,671	1,070,732	16,096	1,086,828
	67,850		148,271	1,025,259	15,754	1,041,013
	76,120		152,484	1,063,406	15,410	1,078,816
	73,270		146,808	1,025,063	15,289	1,040,352
	74,830		154,345	1,078,847	16,036	1,094,883
	68,620		151,452	1,049,019	14,897	1,063,916
	66,030		135,242	949,320	14,161	963,481
	68,780		148,980	1,044,534	15,512	1,060,046
	832,320		1,771,313	12,522,228	186,431	12,708,659
	838,210		1,828,807	12,787,820	187,849	12,975,669
	△ 5,890		△ 57,494	△ 265,592	△ 1,418	△ 267,010

給水状況

(単位：m³)

灰	塚	深	野	大 阪 市 営 水 道 (浄 水)
	2,436		4,145	508
	2,060		4,945	498
	2,228		4,988	535
	2,118		4,958	533
	2,171		4,924	519
	2,261		4,942	525
	2,455		4,918	497
	2,442		4,893	509
	2,413		4,978	517
	2,213		4,885	480
	2,358		4,830	505
	2,218		4,805	500

(4) 月別一日最大配水量の系統別配水量

月	区分	大阪広域水道企業団水				
		東部第二	高区北部系	高区南部系	東部第四	東部第五
R4年4月		29,244	848	792	379	247
5月		25,824	837	785	402	223
6月		27,298	1,084	773	399	252
7月		26,792	930	813	386	271
8月		26,365	837	764	376	269
9月		25,800	844	773	395	219
10月		25,584	848	847	425	211
11月		25,632	832	784	381	216
12月		26,197	926	832	394	229
R5年1月		25,942	892	804	346	306
2月		25,623	811	785	354	217
3月		25,335	896	786	372	219
年最大日		29,244	1,084	847	425	306
前年度		27,339	931	852	359	300
増減		1,905	153	△5	66	6

4 月別電力使用量比較表

月	区分	灰塚配水場	東部配水場	東部第二配水場	東部第二高区配水場	東部第三配水場	東部第四配水場
		R4年4月	13,850	93,290	25,800	3,518	9,313
5月		12,820	91,140	26,750	3,721	10,101	2,583
6月		13,660	93,150	26,800	3,699	9,934	2,658
7月		14,250	96,690	27,600	3,893	10,347	2,876
8月		14,540	94,250	27,100	3,954	10,579	2,986
9月		14,320	87,410	25,830	3,665	9,876	2,544
10月		14,690	93,650	26,300	3,721	9,984	2,507
11月		13,930	89,750	24,700	3,378	9,189	2,285
12月		14,250	95,940	26,980	3,776	9,671	2,303
R5年1月		13,300	89,670	26,190	3,642	9,147	2,383
2月		12,570	79,710	23,340	3,411	8,671	2,135
3月		13,290	87,890	26,070	3,838	9,993	2,298
計		165,470	1,092,540	313,460	44,216	116,805	29,998
前年度		166,350	1,158,190	324,840	43,129	115,225	30,850
増減		△880	△65,650	△11,380	1,087	1,580	△852

(単位：m³)

灰	塚	深	野	大阪市水 (浄水)	最大配水日	1日最大配水量
2,890	5,337	522	25日	36,075		
3,110	5,326	551	30日(年間最大日)	37,735		
2,880	5,291	550	7日	37,481		
2,960	5,277	552	1日	36,940		
2,960	5,292	546	14日	36,077		
3,250	5,103	538	11日	36,260		
3,300	5,097	520	9日	35,942		
3,140	5,706	524	31日	37,202		
3,060	5,132	510	26日	36,236		
2,860	5,121	527	1日	35,950		
2,840	5,009	521	6日	35,516		
3,920	5,706	552	6月30日	37,735		
3,160	5,870	589	12月31日	37,991		
760	△ 164	△ 37		△ 256		

(単位：kwh)

東 部 第 五 配 水 場	北 条 ポ ン プ 場	水 質 監 視 モ ニ タ ー	合 計	配水量 1 m ³ 当り使用電力量	
				総 合	直送をのぞく
393	1,316	374	150,294	0.143	0.165
351	1,341	380	149,187	0.139	0.165
329	1,330	371	151,931	0.143	0.170
361	1,381	390	157,788	0.144	0.171
370	1,379	388	155,546	0.143	0.169
340	1,389	374	145,748	0.140	0.166
384	1,464	378	153,078	0.142	0.168
442	1,429	367	145,470	0.140	0.166
600	1,602	484	155,606	0.142	0.168
601	1,591	516	147,040	0.138	0.164
535	1,413	463	132,248	0.137	0.162
478	1,534	418	145,809	0.138	0.163
5,184	17,169	4,903	1,789,745	0.141	0.166
5,213	15,250	4,944	1,863,991	0.144	0.170
△ 29	1,919	△ 41	△ 74,246	△ 0.003	△ 0.004

5 用途別年間使用水量

(1) 用途別年間使用水量比較表（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

用途		一般用(家庭用)		事業用		官公署・学校・
		使用量	%	使用量	%	使用量
令和4	水量	10,673,806	86.09	1,031,646	8.32	649,655
	件数	54,917	98.48	401	0.72	348
3	水量	10,936,805	86.52	1,038,731	8.22	630,624
	件数	54,645	98.52	399	0.72	296
2	水量	11,101,197	86.50	1,083,008	8.44	616,196
	件数	54,446	98.50	406	0.73	289
元	水量	10,817,460	84.88	1,172,339	9.20	716,073
	件数	54,340	98.54	400	0.73	286
平成30	水量	10,867,127	84.61	1,168,081	9.09	761,559
	件数	54,117	98.47	403	0.73	303
29	水量	11,007,068	84.92	1,138,769	8.78	753,023
	件数	54,007	98.54	396	0.72	304
28	水量	11,103,447	84.68	1,184,398	9.03	766,030
	件数	53,956	98.52	398	0.73	304
27	水量	11,160,662	84.63	1,188,346	9.01	777,960
	件数	53,875	98.52	395	0.72	303
26	水量	11,255,795	84.45	1,225,173	9.19	792,274
	件数	53,752	98.55	398	0.73	299
25	水量	11,473,352	84.61	1,218,458	8.99	800,283
	件数	53,550	98.52	399	0.73	298
24	水量	11,596,920	84.74	1,240,323	9.06	782,305
	件数	53,692	98.56	404	0.74	290
23	水量	11,761,518	84.40	1,313,423	9.42	793,533
	件数	53,670	98.55	400	0.73	288
22	水量	11,972,891	83.62	1,436,231	10.03	833,229
	件数	54,364	98.63	398	0.72	252
21	水量	11,931,491	83.18	1,556,515	10.85	767,274
	件数	54,155	98.61	419	0.76	249
20	水量	12,039,471	82.66	1,650,013	11.33	775,931
	件数	53,881	98.57	411	0.75	243
19	水量	12,228,234	82.33	1,730,630	11.65	787,974
	件数	53,285	98.51	412	0.76	247
18	水量	12,307,892	82.18	1,804,799	12.05	752,186
	件数	52,864	98.55	406	0.76	243
17	水量	12,384,117	81.73	1,817,064	11.99	823,953
	件数	52,670	98.60	407	0.76	236
16	水量	12,376,640	81.58	1,816,748	11.97	836,313
	件数	51,823	98.53	393	0.75	228

(単位：m³・戸)

病院用 %	公衆浴場用		臨時用		合計		年度
	使用量	%	使用量	%	使用量	%	
5.24 0.62	19,794 2	0.16 0.00	23,779 101	0.19 0.18	12,398,680 55,769	100	令和 4
4.99 0.53	27,151 3	0.21 0.01	7,051 121	0.06 0.22	12,640,362 55,464	100	3
4.80 0.52	25,197 3	0.20 0.01	7,616 133	0.06 0.24	12,833,214 55,277	100	2
5.62 0.52	26,291 3	0.21 0.01	11,480 113	0.09 0.20	12,743,643 55,142	100	元
5.93 0.55	31,599 3	0.25 0.01	15,631 131	0.12 0.24	12,843,997 54,957	100	平成 30
5.81 0.55	39,180 4	0.30 0.01	25,188 99	0.19 0.18	12,963,228 54,810	100	29
5.84 0.56	45,301 6	0.35 0.01	13,437 100	0.10 0.18	13,112,613 54,764	100	28
5.90 0.55	46,456 6	0.35 0.01	14,600 112	0.11 0.20	13,188,024 54,691	100	27
5.94 0.55	46,938 6	0.35 0.01	9,720 89	0.07 0.16	13,329,900 54,544	100	26
5.90 0.55	50,071 6	0.37 0.01	17,145 105	0.13 0.19	13,559,309 54,358	100	25
5.72 0.53	53,920 6	0.39 0.01	12,726 85	0.09 0.16	13,686,194 54,477	100	24
5.69 0.53	52,682 6	0.38 0.01	14,819 96	0.11 0.18	13,935,975 54,460	100	23
5.82 0.46	64,005 8	0.45 0.01	10,844 99	0.08 0.18	14,317,200 55,121	100	22
5.35 0.45	68,971 8	0.48 0.01	20,378 95	0.14 0.17	14,344,629 54,926	100	21
5.33 0.44	70,352 9	0.48 0.02	29,637 119	0.20 0.22	14,565,404 54,663	100	20
5.31 0.46	80,602 10	0.54 0.02	25,449 137	0.17 0.25	14,852,889 54,091	100	19
5.02 0.45	81,676 10	0.55 0.02	29,783 120	0.20 0.22	14,976,336 53,643	100	18
5.44 0.44	87,415 10	0.58 0.02	38,999 97	0.26 0.18	15,151,548 53,420	100	17
5.51 0.43	92,106 11	0.61 0.02	49,593 140	0.33 0.27	15,171,400 52,595	100	16

(2) 用途別・段階別給水量比較表 (令和4年4月～令和5年3月)

1か月の使用水量		0～5	6～10	11～20	21～30	31～40	41～50	51～100
家事 用	戸数	131,327	134,875	256,421	123,890	39,859	10,118	4,812
	比率(%)	18.7	19.2	36.5	17.6	5.7	1.4	0.7
	使用水量(m ³)	300,554	1,117,600	3,924,651	3,025,440	1,360,704	446,785	297,683
	比率(%)	2.8	10.5	36.8	28.3	12.7	4.2	2.8
	水道料金(円)	64,364,843	71,409,908	334,670,526	360,861,530	200,259,908	75,352,717	58,892,757
比率(%)	5.3	5.8	27.3	29.5	16.4	6.2	4.8	
事業 用	戸数	332	320	499	437	313	261	778
	比率(%)	6.9	6.7	10.4	9.1	6.6	5.5	16.3
	使用水量(m ³)	538	2,606	7,659	10,982	11,048	11,833	54,833
	比率(%)	0.1	0.3	0.7	1.1	1.1	1.1	5.3
	水道料金(円)	176,220	153,450	673,871	1,318,262	1,660,318	2,009,216	11,456,918
比率(%)	0.1	0.0	0.2	0.4	0.5	0.6	3.5	
官公署・学校	戸数	2,031	159	164	120	72	76	274
	比率(%)	50.3	3.9	4.1	3.0	1.8	1.9	6.8
	使用水量(m ³)	1,502	1,198	2,597	2,989	2,519	3,377	21,329
	比率(%)	0.2	0.2	0.4	0.5	0.4	0.5	3.3
	水道料金(円)	1,886,940	148,500	286,198	417,252	398,728	588,434	4,670,534
比率(%)	0.9	0.1	0.1	0.2	0.2	0.3	2.2	
公衆浴場 用	戸数	0	0	0	0	0	0	0
	比率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	使用水量(m ³)	0	0	0	0	0	0	0
	比率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	水道料金(円)	0	0	0	0	0	0	0
比率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
臨時 用	戸数	1,027	152	67	23	14	6	8
	比率(%)	77.5	11.5	5.1	1.7	1.1	0.5	0.6
	使用水量(m ³)	1,362	1,160	942	577	491	266	609
	比率(%)	5.7	4.9	4.0	2.4	2.1	1.1	2.6
	水道料金(円)	2,607,000	459,250	355,850	267,850	212,300	118,800	318,450
比率(%)	18.2	3.2	2.5	1.9	1.5	0.8	2.2	
合計	戸数	134,717	135,506	257,151	124,470	40,258	10,461	5,872
	比率(%)	18.9	19.0	36.1	17.5	5.7	1.5	0.8
	使用水量(m ³)	303,956	1,122,564	3,935,849	3,039,988	1,374,762	462,261	374,454
	比率(%)	2.5	9.1	31.7	24.5	11.1	3.7	3.0
	水道料金(円)	69,035,003	72,171,108	335,986,445	362,864,894	202,531,254	78,069,167	75,338,659
比率(%)	3.9	4.1	18.9	20.4	11.4	4.4	4.2	

(単位：戸・m³・円)

101～300	301～500	501～600	601～1,000	1,001～	合 計	%	
734	87	47	20	14	702,204		1 か月あたりの 使用水量(m ³)
0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	98.6	15.20
110,153	34,228	25,601	14,292	16,115	10,673,806		1 m ³ あたりの 供給単価(円)
1.0	0.3	0.2	0.1	0.2	100.0	86.1	114.71
29,097,530	10,705,464	8,364,653	4,790,126	5,574,305	1,224,344,267		1 か月あたりの 使用水量(m ³)
2.4	0.9	0.7	0.4	0.5	100.0	69.0	215.96
950	380	120	151	236	4,777		1 m ³ あたりの 供給単価(円)
19.9	8.0	2.5	3.2	4.9	100.0	0.7	313.46
167,653	148,174	65,710	117,588	433,022	1,031,646		1 か月あたりの 使用水量(m ³)
16.3	14.4	6.4	11.4	42.0	100.0	8.3	160.85
45,973,730	46,262,227	21,479,370	39,700,474	152,520,236	323,384,292		1 m ³ あたりの 供給単価(円)
14.2	14.3	6.6	12.3	47.2	100.0	18.2	325.61
621	203	45	119	155	4,039		1 か月あたりの 使用水量(m ³)
15.4	5.0	1.1	2.9	3.8	100.0	0.6	160.85
109,192	79,791	24,662	94,504	305,995	649,655		1 m ³ あたりの 供給単価(円)
16.8	12.3	3.8	14.5	47.1	100.0	5.2	325.61
30,020,100	25,014,803	8,080,116	31,988,462	108,032,045	211,532,112		1 か月あたりの 使用水量(m ³)
14.2	11.8	3.8	15.1	51.1	100.0	11.9	682.55
0	0	4	25	0	29		1 m ³ あたりの 供給単価(円)
0.0	0.0	13.8	86.2	0.0	100.0	0.0	49.80
0	0	2,341	17,453	0	19,794		1 か月あたりの 使用水量(m ³)
0.0	0.0	11.8	88.2	0.0	100.0	0.2	17.93
0	0	44,853	940,942	0	985,795		1 m ³ あたりの 供給単価(円)
0.0	0.0	4.5	95.5	0.0	100.0	0.1	603.38
9	4	7	4	5	1,326		1 か月あたりの 使用水量(m ³)
0.7	0.3	0.5	0.3	0.4	100.0	0.2	17.93
1,284	1,541	3,842	3,609	8,096	23,779		1 m ³ あたりの 供給単価(円)
5.4	6.5	16.2	15.2	34.0	100.0	0.2	603.38
673,200	836,550	2,099,350	1,968,450	4,430,800	14,347,850		1 か月あたりの 使用水量(m ³)
4.7	5.8	14.6	13.7	30.9	100.0	0.8	17.40
2,314	674	223	319	410	712,375		1 m ³ あたりの 供給単価(円)
0.3	0.1	0.0	0.0	0.1	100.0	100.0	143.13
388,282	263,734	122,156	247,446	763,228	12,398,680		1 か月あたりの 使用水量(m ³)
3.1	2.1	1.0	2.0	6.2	100.0	100.0	17.40
105,764,560	82,819,044	40,068,342	79,388,454	270,557,386	1,774,594,316		1 m ³ あたりの 供給単価(円)
6.0	4.7	2.3	4.5	15.2	100.0	100.0	143.13

6 大口需要者一覧表

大口需要者		年間使用量 (m ³)	平均	
順位	業 種		1 か月 (m ³)	1 日 (m ³)
1	共用マンション	79955	6,663	219
2	共用マンション	57518	4,793	158
3	テナントビル	55883	4,657	153
4	医療事業	50355	4,196	138
5	共用マンション	49477	4,123	136
6	共用マンション	49338	4,112	135
7	共用マンション	46669	3,889	128
8	医療事業	45412	3,784	124
9	共用マンション	42171	3,514	116
10	共用マンション	37621	3,135	103
11	共用マンション	35384	2,949	97
12	食品産業	34088	2,841	93
13	共用マンション	33530	2,794	92
14	共用マンション	30259	2,522	83
15	工場	29259	2,438	80
16	教 育	29142	2,428	80
17	テナントビル	29096	2,425	80
18	教 育	29022	2,418	80
19	共用マンション	27616	2,301	76
20	工場	26818	2,235	73

7 水質検査表

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

検査項目	水質基準	灰塚配水場系(企業団村野系)			東部配水場系(企業団村野系)			深野系(企業団村野系)			大阪市水系		
		最大値	最小値	平均値	最大値	最小値	平均値	最大値	最小値	平均値	最大値	最小値	平均値
一般細菌	1 ml中100個以下	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
大腸菌	検出されないこと	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし
カドミウム及びその化合物	0.003mg/l以下	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満
水銀及びその化合物	0.0005mg/l以下	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満
セレン及びその化合物	0.01mg/l以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
鉛及びその化合物	0.01mg/l以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
ヒ素及びその化合物	0.01mg/l以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
六価クロム化合物	0.02mg/l以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
亜硝酸態窒素	0.04mg/l以下	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満
シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/l以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/l以下	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
フッ素及びその化合物	0.8mg/l以下	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.1	0.1	0.1
ホウ素及びその化合物	1.0mg/l以下	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満
四塩化炭素	0.002mg/l以下	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満
1,4-ジオキサン	0.05mg/l以下	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/l以下	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満
ジクロロメタン	0.02mg/l以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
テトラクロロエチレン	0.01mg/l以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
トリクロロエチレン	0.01mg/l以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
ベンゼン	0.01mg/l以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
塩素酸	0.6mg/l以下	0.1	0.06未満	0.06未満	0.13	0.06未満	0.06未満	0.1	0.06未満	0.06未満	0.06未満	0.06未満	0.06未満
クロロ酢酸	0.02mg/l以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
クロロホルム	0.06mg/l以下	0.012	0.006未満	0.006未満	0.02	0.006未満	0.006未満	0.012	0.006未満	0.006未満	0.006未満	0.006未満	0.006未満
ジクロロ酢酸	0.03mg/l以下	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満
ジブロモクロロメタン	0.1mg/l以下	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
臭素酸	0.01mg/l以下	0.004	0.001未満	0.002	0.006	0.001未満	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.001未満	0.002
総トリハロメタン	0.1mg/l以下	0.02	0.001未満	0.001未満	0.04	0.001未満	0.01	0.02	0.001未満	0.01	0.02	0.001未満	0.001未満
トリクロロ酢酸	0.03mg/l以下	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満
ブロモジクロロメタン	0.03mg/l以下	0.01	0.003未満	0.003	0.012	0.003未満	0.005	0.01	0.003未満	0.003	0.008	0.003未満	0.003
ブromoホルム	0.09mg/l以下	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満
ホルムアルデヒド	0.08mg/l以下	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満
亜鉛及びその化合物	1.0mg/l以下	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満
アルミニウム及びその化合物	0.2mg/l以下	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満
鉄及びその化合物	0.3mg/l以下	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満
銅及びその化合物	1.0mg/l以下	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満
ナトリウム及びその化合物	200mg/l以下	18.2	15.5	16.8	18.1	15.3	17.0	18.1	18.1	18.0	17.3	17.3	17.2
マンガン及びその化合物	0.05mg/l以下	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
塩化物イオン	200mg/l以下	18.7	12.9	15.7	18.7	12.9	15.8	18.7	12.9	15.8	16.3	7.4	12.2
カルシウム・マグネシウム等(硬度)	300mg/l以下	45	39	41	44	39	41	45	39	41	47	36	41
蒸発残留物	500mg/l以下	110	80	93	115	75	93	114	78	92	123	79	100
陰イオン界面活性剤	0.2mg/l以下	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満
ジェオスミン	0.00001mg/l以下	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満
2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/l以下	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満
非イオン界面活性剤	0.02mg/l以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
フェノール類	0.005mg/l以下	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3mg/l以下	0.8	0.6	0.7	0.8	0.6	0.8	1.0	0.6	0.8	1.0	0.6	0.7
PH値	5.8以上8.6以下	7.48	7.15	7.30	7.74	7.11	7.50	7.44	7.09	7.23	7.88	7.43	7.65
味	異常でないこと	異常なし			異常なし			異常なし			異常なし		
臭気	異常でないこと	異常なし			異常なし			異常なし			異常なし		
色度	5度以下	0.8	0.5未満	0.5未満	0.8	0.5未満	0.5未満	0.7	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満
濁度	2度以下	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.31	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満

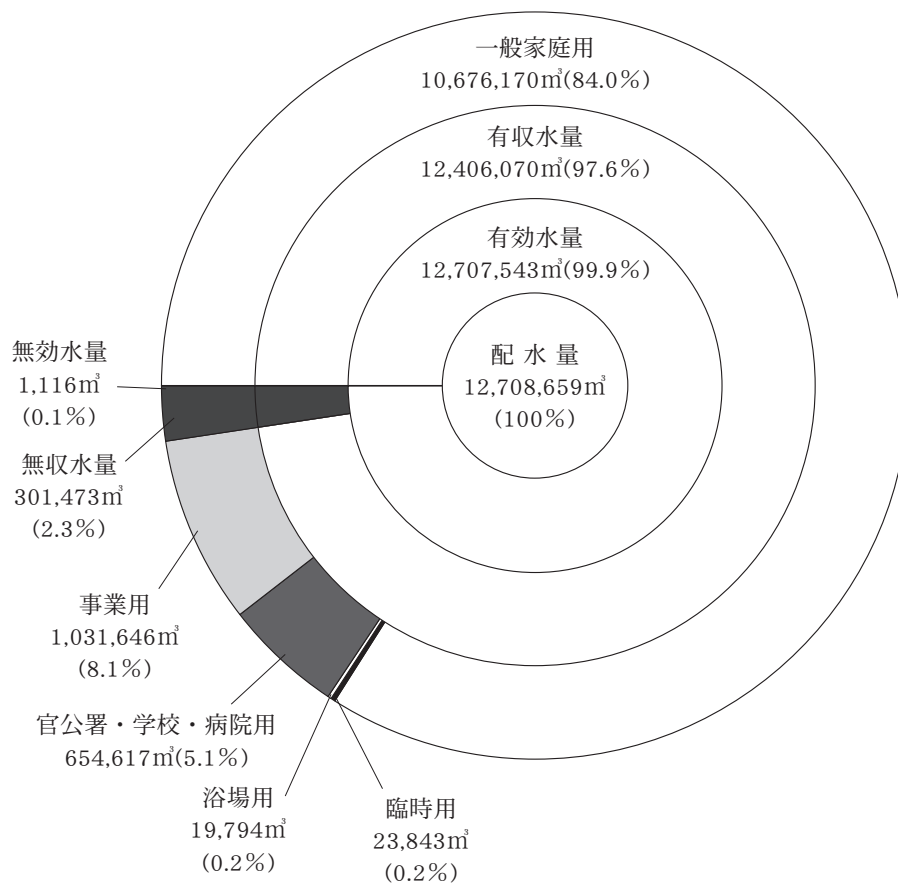
給水状況

8 配水量分析表

(単位：m³，%)

年 度 項 目	R 4年度		R 3年度		R 2年度	
	水 量	比 率	水 量	比 率	水 量	比 率
総 配 水 量	12,708,659	100.0	12,975,669	100.0	13,247,979	100.0
有 効 水 量	12,707,543	99.9	12,953,309	99.8	13,164,855	99.4
有 収 水 量	12,406,070	97.6	12,643,187	97.4	12,837,031	96.9
料 金 水 量	12,406,070	97.6	12,643,187	97.4	12,837,031	96.9
無 収 水 量	301,473	2.3	310,122	2.4	327,824	2.5
メーター不感水量	254,173	2.0	259,513	2.0	264,960	2.0
局 事 業 用 水 量	44,744	0.3	49,551	0.4	61,297	0.5
消 防 用 水 量	2,556	0.0	1,058	0.0	1,567	0.0
無 効 水 量	1,116	0.1	22,360	0.2	83,124	0.6

給水状況



IV 料 金 調 定

- 1 料 金 表
- 2 水 道 料 金 調 定 収 入
- 3 メーター使用料金調定収入
- 4 年度別調定及び料金収納状況表
(水道料金+メーター使用料金)
- 5 水道料金調定等件数一覧表
- 6 水道料金等収納種別件数一覧表
(納 付 書 等)
- 7 月 別 検 針 状 況 表
- 8 府内各市町村水道料金比較表
- 9 料 金 変 遷 表
- 10 手 数 料 一 覧 表

IV 料 金 調 定

1 料 金 表

(1) 水道料金表(1か月)

(平成22年10月1日適用)

用 途	基 本 料 金		超 過 料 金	
	水 量	料 金	水 量	料 金
一 般 用	10 m ³	900 円	11~20m ³	1 m ³ につき140円
			21~30	180
			31~50	220
			51~100	260
			101~300	300
			301以上	330
公 衆 浴 場 用	600	40,776	601~3,000	116
			3,001以上	135
臨 時 用	10	5,000	11以上	500

※ 上記の表により算定したそれぞれの額に消費税法(昭和63年法律第108号)の規定による消費税の額及び地方税法(昭和25年法律第226号)の規定による地方消費税の額に相当する額を加えた額(1円未満の端数があるときは、これを切り捨てた額)とする。

(2) メーター使用料金、予納金及び加入金表

口 径	メーター使用料金 (1か月分)	予 納 金 臨 時 用	加 入 金	
			新設工事	増 径 工 事
mm	円	千円	円	増口径後の口径に係る加入金の額と、増口径前の口径に係る加入金の額との差額。 ただし、13mmから20mm以上に増径の場合は、管理者が別に定める。
13	48	150	150,000	
20	87	150	300,000	
25	97	220	1,000,000	
40	194	管理者が別に定める。	1,700,000	
50	388		4,000,000	
75	1,067		8,000,000	
100	1,359		22,500,000	
150	2,524		管理者が別に定める。	
200	3,883			
実施年月日	H10. 4. 1	S53. 1. 1	H13. 4. 1	

※ 上記の表に掲げる区分により定められたメーター使用料金・加入金それぞれの額に消費税法(昭和63年法律第108号)の規定による消費税の額及び地方税法(昭和25年法律第226号)の規定による地方消費税の額に相当する額を加えた額(1円未満の端数があるときは、これを切り捨てた額)とする。

2 水道料金調定収入

(消費税等込み)

種 別 月	調 定		収 入	
	件 数	金 額	件 数	金 額
	件	円	件	円
R 4年 4月	26,428	157,941,323	754	2,401,459
5月	29,707	186,282,480	23,117	143,882,780
6月	26,599	171,308,005	29,256	183,927,950
7月	28,087	132,463,270	24,421	163,754,003
8月	25,683	112,220,013	19,802	140,099,714
9月	28,158	135,574,206	15,979	112,332,610
10月	25,729	108,836,008	18,329	136,060,377
11月	28,093	129,468,245	16,427	112,030,935
12月	25,611	108,325,272	18,193	130,070,432
R 5年 1月	29,770	185,343,924	15,518	107,112,085
2月	26,654	169,528,552	26,764	172,156,454
3月	29,997	174,972,975	28,629	177,628,840
計	330,516	1,772,264,273	237,189	1,581,457,639
前 年 度	337,211	2,163,575,812	301,126	1,966,793,122
比較増減	-6,695	-391,311,539	-63,937	-385,335,483
%	-(2.0)	-(22.1)	-(27.0)	-(24.4)
備 考	() 内は対前年度増加率			

3 メーター使用料金調定収入

(消費税等込み)

種別 月	調定		収入	
	件数	金額	件数	金額
	件	円	件	円
R 4年 4月	23,992	4,111,130	605	99,962
5月	25,415	4,585,409	21,276	3,644,889
6月	24,110	4,150,568	25,360	4,575,708
7月	25,437	4,586,750	22,751	3,925,146
8月	24,185	4,148,917	26,297	4,723,465
9月	25,457	4,589,151	23,304	4,002,978
10月	24,201	4,153,177	25,396	4,567,950
11月	25,453	4,589,342	24,920	4,294,893
12月	24,130	4,144,735	25,730	4,626,862
R 5年 1月	25,502	4,602,209	22,903	3,939,646
2月	24,200	4,160,646	24,029	4,337,484
3月	25,692	4,623,366	26,448	4,558,891
計	297,774	52,445,400	269,019	47,297,874
前年度	296,629	52,127,643	267,983	47,013,947
比較増減	1,145	317,757	1,036	283,927
%	(0.4)	(0.6)	(0.4)	(0.6)
備考	()内は対前年度増加率			

料金調定

4 年度別調定及び料金収納状況表（水道料金+メーター使用料金）

項 目 年 度		調 定 額		収
		件 数 (件)	金 額 (円)	件 数 (件)
R 4	過 年 度	34,845	208,660,819	32,847
	現 年 度	330,516	1,824,709,673	297,208
	計	365,361	2,033,370,492	330,055
R 3	過 年 度	34,468	208,821,558	32,483
	現 年 度	337,211	2,215,703,455	304,033
	計	371,679	2,424,525,013	336,516
R 2	過 年 度	36,352	221,141,803	34,401
	現 年 度	326,725	1,776,505,883	293,879
	計	363,077	1,997,647,686	328,280
R 元	過 年 度	36,118	218,339,473	34,321
	現 年 度	335,570	2,250,269,231	300,757
	計	371,688	2,468,608,704	335,078
H30	過 年 度	35,730	217,403,251	34,150
	現 年 度	334,481	2,263,112,283	299,691
	計	370,211	2,480,515,534	333,841

(消費税等込み)

入 額	未 収 額		収 入 率 (%)
	金 額 (円)	件 数 (件)	
203,528,977	1,998	5,131,842	97.5
1,626,683,020	33,308	198,026,653	89.1
1,830,211,997	35,306	203,158,495	90.0
203,556,168	1,985	5,265,390	97.5
2,011,226,335	33,178	204,477,120	90.8
2,214,782,503	35,163	209,742,510	91.3
215,457,260	1,951	5,684,543	97.4
1,572,325,353	32,846	204,180,530	88.5
1,787,782,613	34,797	209,865,073	89.5
212,934,466	1,797	5,405,007	97.5
2,033,737,837	34,813	216,531,394	90.4
2,246,672,303	36,610	221,936,401	91.0
212,584,504	1,580	4,818,747	97.8
2,048,832,034	34,790	214,280,249	90.5
2,261,416,538	36,370	219,098,996	91.2

料金調定

5 水道料金調定等件数一覧表

検 針 月	調 定 関 係									D 再 通 知 件 数
	A 調 定 件 数	B A口振 の替 う件 ち座数	B/A 口 座 振 替 率	口座振替件数内訳				C A納 付書 件 数	C/A 納 付書 率	
				銀 行	率	郵 便 局	率			
件	件	%	件	%	件	%	件	%	件	
R4年4月	26,428	17,811	67.39	14,068	78.98	3,743	21.02	8,617	32.61	2,239
5月	29,707	19,858	66.85	16,356	82.36	3,502	17.64	9,849	33.15	2,259
6月	26,599	17,844	67.09	14,083	78.92	3,761	21.08	8,755	32.91	2,184
7月	28,087	19,029	67.75	15,787	82.96	3,242	17.04	9,058	32.25	2,133
8月	25,683	17,534	68.27	13,887	79.20	3,647	20.80	8,149	31.73	2,172
9月	28,158	19,060	67.69	15,800	82.90	3,260	17.10	9,098	32.31	2,177
10月	25,729	17,567	68.28	13,918	79.23	3,649	20.77	8,162	31.72	2,195
11月	28,093	19,024	67.72	15,762	82.85	3,262	17.15	9,069	32.28	2,192
12月	25,611	17,450	68.13	13,822	79.21	3,628	20.79	8,161	31.87	2,093
R5年1月	29,770	19,879	66.78	16,337	82.18	3,542	17.82	9,891	33.22	2,340
2月	26,654	17,864	67.02	14,082	78.83	3,782	21.17	8,790	32.98	2,240
3月	29,997	19,912	66.38	16,393	82.33	3,519	17.67	10,085	33.62	2,298
計	330,516	222,832		180,295		42,537		107,684		26,522
月平均	27,543	18,569	67.45	15,025	80.83	3,545	19.17	8,974	32.55	2,210

再 通 知 関 係						停 水 関 係					
E	F	D/A	E/B	F/C		G	G/A	G/D	H	H/A	
D再 の振 替 件 数	D納 の付 書 件 数	再 通 知 率	口 座 再 振 替 率	納 再 送 付 書 率	納 再 送 付 書 日	督 促 件 数	督 促 率	再 不 通 納 知 率	停 水 件 数	停 水 率	停 水 月 日
件	件	%	%	%		件	%	%	件	%	
523	1,716	8.47	2.94	19.91	5/31	1,032	3.90	46.09	42	0.16	8/18
424	1,835	7.60	2.14	18.63	6/30	1,147	3.86	50.77	41	0.14	9/13
447	1,737	8.21	2.51	19.84	7/29	1,022	3.84	46.79	35	0.13	10/18
393	1,740	7.59	2.07	19.21	8/31	1,087	3.87	50.96	27	0.10	11/15
469	1,703	8.46	2.67	20.90	9/30	1,060	4.13	48.80	30	0.12	12/13
393	1,784	7.73	2.06	19.61	10/31	1,077	3.82	49.47	34	0.12	1/17
519	1,676	8.53	2.95	20.53	11/30	995	3.87	45.33	35	0.14	2/14
384	1,808	7.80	2.02	19.94	12/28	1,054	3.75	48.08	28	0.10	3/14
445	1,648	8.17	2.55	20.19	1/31	1,029	4.02	49.16	21	0.08	4/11
450	1,890	7.86	2.26	19.11	2/28	1,144	3.84	48.89	38	0.13	5/16
534	1,706	8.40	2.99	19.41	3/31	1,173	4.40	52.37	51	0.19	6/13
438	1,860	7.66	2.20	18.44	4/28	1,175	3.92	51.13	39	0.13	7/11
5,419	21,103					12,995			421		
452	1,759	8.04	2.45	19.64		1,083	3.94	48.99	35	0.13	

6 水道料金等収納種別件数一覧表（納付書等）

	水 道 料 金 等 収 納 種 別 内 訳							
	コンビニ 収 納	比 率	ゆうちょ 銀行収納	比 率	銀 行 ・ 市窓口等	比 率	小 計	比 率
	件	%	件	%	件	%	件	%
R 4年 4月	7,330	86.7	225	2.7	904	10.7	8,459	100
5月	7,644	88.2	219	2.5	800	9.2	8,663	100
6月	9,912	88.8	228	2.0	1,019	9.1	11,159	100
7月	6,769	86.4	263	3.4	798	10.2	7,830	100
8月	9,593	88.8	238	2.2	969	9.0	10,800	100
9月	7,037	88.7	208	2.6	685	8.6	7,930	100
10月	8,458	87.8	219	2.3	954	9.9	9,631	100
11月	8,991	90.4	212	2.1	741	7.5	9,944	100
12月	8,682	87.9	256	2.6	937	9.5	9,875	100
R 5年 1月	6,617	88.2	213	2.8	672	9.0	7,502	100
2月	7,014	86.1	244	3.0	889	10.9	8,147	100
3月	10,840	91.6	239	2.0	754	6.4	11,833	100
小 計	98,887		2,764		10,122		111,773	
月 平 均	8,241	88.3	230	2.5	844	9.2	9,314	100

収 納 業 務 委 託 料	口座振替手数料（税込）		
	銀行	収納件数1件につき	4.4円
	ゆうちょ銀行（郵便局）	収納件数1件につき	10円
	コンビニ取扱手数料（りそな決済サービスと一括契約）（税込）		
	電子計算手数料	基本料金1か月あたり	16,500円
		収納件数1件につき	0円
取扱手数料	収納件数1件につき	58.3円	

◎ 納付場所（令和5年3月31日現在）

○ 収納取扱金融機関

銀行 — みずほ・三菱UFJ・りそな・京都

池田泉州・南都・紀陽・関西みらい・みなと

信用金庫 — 大阪・大阪厚生・大阪シティ・大阪商工・北おおさか

枚方・尼崎・京都

信用組合 — 大同・成協・のぞみ・近畿産業

労働金庫 — 近畿

農協 — 大阪東部

ゆうちょ銀行（郵便局） — 近畿二府四県のゆうちょ銀行（郵便局）

○ コンビニエンスストア

セブン-イレブン・ローソン・ファミリーマート・ミニストップ

ポプラ・生活彩家・くらしハウス・スリーエイト

セイコーマート・ハマナスクラブ・デイリーヤマザキ

ヤマザキスペシャルパートナーショップ

ニューヤマザキデイリーストア・MMK設置店

○ スマホ決済アプリ「PayB」「LINEPay」「楽天銀行」「PayPay」「auPAY」「d払い」

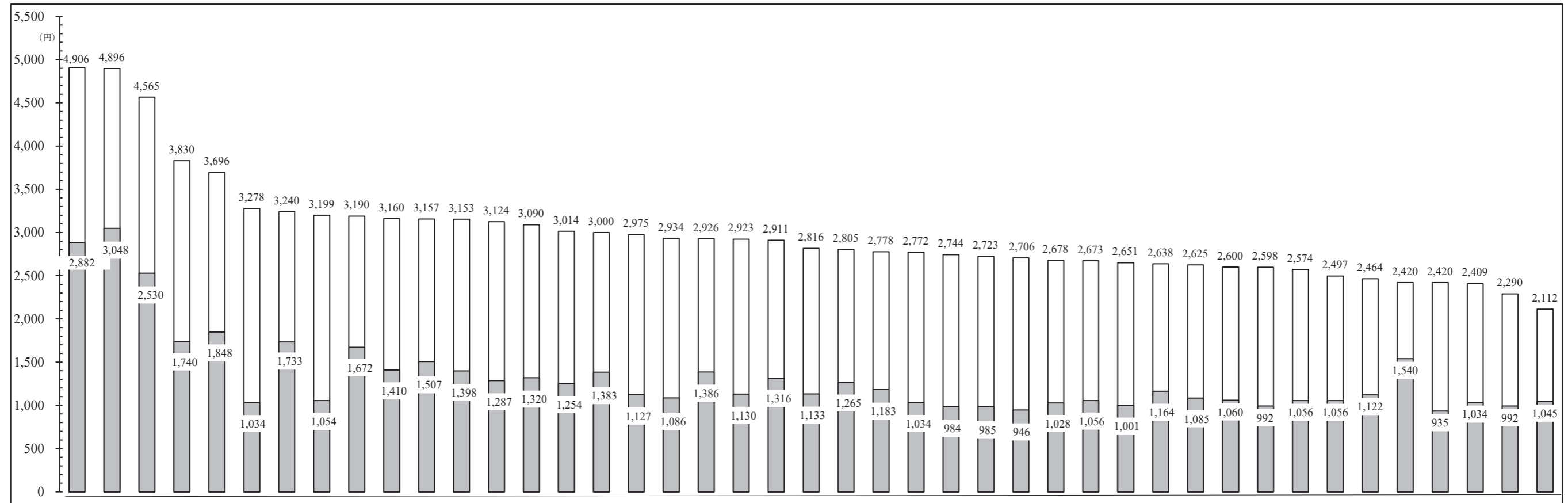
7 月 別 検 針 状 況 表

区分 月	検 針 件 数			左 の う ち 認 定 件 数				
	毎 月	隔 月	計	障 害	不 在	故 障	そ の 他	計
R 4 年 4 月	824	28,869	29,693	2	5	0	0	7
5 月	827	32,039	32,866	4	4	0	0	8
6 月	828	28,895	29,723	5	5	0	0	10
7 月	833	32,038	32,871	4	7	0	0	11
8 月	844	28,893	29,737	3	6	0	0	9
9 月	838	32,015	32,853	4	6	0	0	10
10 月	846	28,892	29,738	0	6	0	0	6
11 月	844	32,023	32,867	2	6	0	0	8
12 月	840	28,907	29,747	5	8	0	0	13
R 5 年 1 月	839	32,021	32,860	3	7	0	0	10
2 月	836	28,914	29,750	2	4	0	0	6
3 月	820	32,042	32,862	2	5	0	0	7
計	10,019	365,548	375,567	36	69	0	0	105
月 平 均	835	30,462	31,297	3	6	0	0	9

※備考 平成4年4月1日から検針業務全面委託

8 府内各市町村水道料金比較表 (一般家庭用・1か月・メーター口径20mm・メーター使用料金及び消費税等を含む)

(令和5年3月31日現在)



金額	豊能町	能勢町	千早赤阪村	岬町	河内南町	藤井寺市	泉南市	泉大津市	太子町	田尻町	忠岡市	阪南市	松原市	熊取町	泉佐野市	交野市	河内長野市	箕面市	島本町	四條畷市	高石市	富田林市	吹田市	摂津市	八尾市	羽曳野市	門真市	大阪狭山市	柏原市	岸和田市	池田市	守口市	大東市	寝屋川市	東大阪市	和泉市	豊中市	堺市	茨木市	高槻市	貝塚市	枚方市	大阪市		
料金体系	口	口	用	用	口	用	口	用	用	用	用	用	用	口用	口用	口用	口	用	口用	用	用	口	口	口用	口用	用	用	用	用	用	口用	用	用	用	用	用	口用	口	口	口用	口	口用	口用	用	
料金改定実施時期	R元・10・1	R元・10・1	R元・4・10・1	R元・4・10・1	R元・2・10・1	R元・10・10・1	R元・10・10・1	R元・10・10・1	R元・10・10・1	R元・10・10・1	R元・10・10・1	R元・10・10・1	R元・10・10・1	R元・10・10・1	R元・4・10・1	R元・10・10・1	R元・10・10・1	R元・10・12・1	R元・10・10・1	R元・10・10・1	R元・10・10・1	R元・3・10・1	R元・2・10・1	R元・10・10・1	R元・10・10・1	R元・10・10・1	R元・10・10・1	R元・10・10・1	R元・10・10・1	R元・10・10・1	R元・10・10・1	R元・10・10・1	R元・10・10・1	R元・10・10・1	R元・10・10・1	R元・10・10・1	R元・10・10・1	R元・10・10・1	R元・10・10・1	R元・10・10・1	R元・10・10・1	R元・10・10・1	R元・10・10・1	R元・10・10・1	R元・10・10・1
順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43		
基本水量	0	8	0	6	0	8	0	0	0	8	8	8	6	0	0	8	0	8	0	5・10	0	8	6	6	0	8	10	10	5	5	8	8	10	10	7	0	0	0	0	0	10	0	0		

棒グラフ { □ 使用水量20m3の水道料金
 ■ 使用水量10m3の水道料金
 料金体系 { 用-用途別
 □-口径別

料金調定

9 料金変遷表

(1) 水道料金変遷表

用途別	改定年月日 料 金	昭和	28年4月	30年1月	34年9月	37年9月	41年4月			49年12月	51年11月	53年1月	53年10月	61年1月	平成	10年4月	13年4月	22年10月		
		24年7月					第1種	第2種	第3種						5年7月					
							(φ13)	(φ20)	(φ25)											
家事専用栓	基本水量(m³)	10	10	10	10	10				基本水量 10m³	基本水量 10m³	基本水量 10m³	基本水量 10m³	基本水量 10m³	基本水量 10m³	基本水量 10m³	基本水量 10m³	基本水量 10m³		
	基本料金(円)	100	140	180	230	300	一	8	15	20	基本料金 360円	基本料金 510円	基本料金 650円	基本料金 650円	基本料金 750円	基本料金 1,000円	基本料金 970円	基本料金 970円		
	超過料金(円/m³)	10	14	18	23	30	280	600	800	超過料金(円/m³)	超過料金(円/m³)	超過料金(円/m³)	超過料金(円/m³)	超過料金(円/m³)	超過料金(円/m³)	超過料金(円/m³)	超過料金(円/m³)	超過料金(円/m³)		
家事用共用栓	基本水量(m³)	7	7	7	7	7	一 般 用	5	170	11~20m³	11~20m³	11~20m³	11~20m³	11~20m³	11~20m³	11~20m³	11~20m³	11~20m³		
	基本料金(円)	70	100	125	160	210				21~30m³	21~30m³	21~30m³	21~30m³	21~30m³	21~30m³	21~30m³	21~30m³	21~30m³	21~30m³	21~30m³
	超過料金(円/m³)	10	14	18	23	30				31~50m³	31~50m³	31~50m³	31~50m³	31~50m³	31~50m³	31~50m³	31~50m³	31~50m³	31~50m³	31~50m³
病官 院公署・ 用学校	基本水量(m³)	20	20	20	20	20				50										
	基本料金(円)	160	280	360	460	600				2,000	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ		
	超過料金(円/m³)	8	14	18	23	30				40										
公衆浴場用	基本水量(m³)	300	300	300	300	500				500	600	600	600	600	600	600	600	600		
	基本料金(円)	2,500	3,500	4,800	6,900	14,000				18,500	20,000	25,000	27,000	27,000	33,000	42,000	40,776	40,776		
	超過料金(円/m³)	8	12	16	23	30				40	50	80	90	100	110	601~3000m³ 3001以上 120	601~3000m³ 3001以上 116	601~3000m³ 3001以上 116		
事業用	基本水量(m³)	100	100	100	100	第1種	第2種	第3種	(φ30~φ50)	(φ75~φ100)	(φ125~φ150)									
	基本料金(円)	1,000	1,400	1,800	2,300	300	3,000	5,000	200	2,000	5,000	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ		
	超過料金(円/m³)	10	14	18	23	9,000	90,000	150,000	8,000	80,000	200,000									
プール用	基本水量(m³)	—	—	—	500	500				500										
	基本料金(円)	—	—	—	11,500	14,000				公設プール 18,500	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ		
	超過料金(円/m³)	—	—	—	23	30				私設プール 30,000										
鑑賞用	基本水量(m³)	5	5	5	5	5				5										
	基本料金(円)	150	200	200	250	250				300	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ		
	超過料金(円/m³)	40	50	50	50	50				60										
臨時用	基本水量(m³)	1	1	1	1	1				1	10	10	10	10	10	10	10	10		
	基本料金(円)	40	40	40	40	40				60	1,500	2,500	2,500	3,000	4,000	3,883	5,000	5,000		
	超過料金(円/m³)	40	40	40	40	40				60	250	280	300	350	350	436	500	500		

※私設プールは7, 8, 9月の3か月に適用し、他の月は公設プールと同じ

料金調定

(2) 加入金変遷表

(昭和49年10月15日制定)

口 径	加 入 金 (新設工事)
mm	円
13	60,000
20	60,000
25	110,000
40	400,000
50	700,000
75	2,000,000
100	4,300,000
150	13,000,000
150mmを超えるもの	市長が別に定める

(昭和53年1月1日改定)

口 径	加 入 金		
	新 設 工 事	増 径 工 事	
mm	円		
13	90,000	増径後の口径に係る加入金の額と、増径前の口径に係る加入金の額との差額。 ただし、13mmから20mm以上に増径の場合は増径後の口径に係る加入金の額と60,000円との差額。	
20	90,000		
25	170,000		
40	530,000		
50	920,000		
75	2,500,000		
100	5,000,000		
150	14,000,000		
150mmを超えるもの	市長が別に定める		

(昭和60年4月1日改定)

口 径	加 入 金		
	新 設 工 事	増 径 工 事	
mm	円		
13	90,000	増径後の口径に係る加入金の額と、増径前の口径に係る加入金の額との差額。 ただし、13mmから20mm以上に増径の場合は増径後の口径に係る加入金の額と60,000円との差額。	
20	90,000		
25	170,000		
40	530,000		
50	920,000		
75	2,500,000		
100	5,000,000		
150	14,000,000		
150mmを超えるもの	管理者が別に定める		

(平成5年7月1日改定)

口 径	加 入 金		
	新 設 工 事	増 径 工 事	
mm	円		
20以下	130,000	増径後の口径に係る加入金の額と、増径前の口径に係る加入金の額との差額。 ただし、13mmから20mm以上に増径の場合は、管理者が別に定める。	
25	260,000		
40	840,000		
50	1,450,000		
75	3,500,000		
100	7,000,000		
150	19,600,000		
150mmを超えるもの	管理者が別に定める		

料金調定

(平成10年4月1日改定)

消費税抜き

口 径	加 入 金		
	新 設 工 事	増 径 工 事	
mm	円		
20以下	126,200	増径後の口径に係る加入金の額と、増径前の口径に係る加入金の額との差額。 ただし、13mmから20mm以上に増径の場合は、管理者が別に定める。	
25	252,400		
40	815,500		
50	1,407,700		
75	3,398,000		
100	6,796,100		
150	19,029,100		
150mmを超えるもの	管理者が別に定める		

(平成13年4月1日改定)

消費税抜き

口 径	加 入 金		
	新 設 工 事	増 径 工 事	
mm	円		
20以下	150,000	増径後の口径に係る加入金の額と、増径前の口径に係る加入金の額との差額。 ただし、13mmから20mm以上に増径の場合は、管理者が別に定める。	
25	300,000		
40	1,000,000		
50	1,700,000		
75	4,000,000		
100	8,000,000		
150	22,500,000		
150mmを超えるもの	管理者が別に定める		

10 手数料一覧表

※大東市水道事業給水条例第31条

(令和元年10月1日改定)

種類	口径		単位	金額	備考
1 設計手数料	給水管の最大口径	30mm未満	1件	1,000円	
		75mm未満	1件	2,000円	
		75mm以上	1件	3,000円	
2 設計審査手数料	給水管の最大口径	30mm未満	1件	1,000円	13mm以下で、給水栓1栓のみを追加する場合の工事については徴収しない。
		75mm未満	1件	2,000円	
		75mm以上	1件	3,000円	
3 竣工検査手数料 (補修を要する場合の再検査手数料についても、同様とする。)	給水管の最大口径	30mm未満	1件	3,000円	13mm以下で、給水栓1栓のみを追加する場合の工事については徴収しない。
		75mm未満	1件	5,000円	
		75mm以上	1件	8,000円	
4 指定給水装置工事事業者 指定手数料			1件	5,000円	
5 指定給水装置工事事業者 指定更新手数料			1件	5,000円	
6 証書交付手数料			1件	500円	
7 メーター試験手数料	メーターの口径	25mm以下	1個	300円	
		40mm	1個	2,000円	
		50mm	1個	2,000円	
		75mm	1個	6,000円	
		100mm以上	1個	10,000円	

V 給水装置工事 及び修繕工事状況

- 1 給水装置工事実績表
- 2 量水器関係工事実績表
- 3 修繕工事実績表
- 4 指定給水装置工事事業者

V 給水装置工事及び修繕工事状況

1 給水装置工事实績表

(単位：件)

月	種別	新設工事			増口径			改設			合計			(穿孔)			
		直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計	
R 4年	4月	10		10	10		10	12		12	32		32			(15)	
	5月	21		21	10		10	6		6	37		37			(12)	
	6月	10		10	9		9	7		7	26		26			(17)	
	7月	18		18	14		14	6		6	38		38			(13)	
	8月	22		22	11		11	11		11	44		44			(11)	
	9月	20		20	18		18	12		12	50		50			(11)	
	10月	16		16	11		11	8		8	35		35			(17)	
	11月	13		13	14		14	17		17	44		44			(8)	
	12月	17		17	14		14	13		13	44		44			(11)	
	R 5年	1月	15		15	9		9	11		11	35		35			(9)
		2月	17		17	12		12	7		7	36		36			(16)
		3月	12		12	10		10	9		9	31		31			(11)
計	191		191	142		142	119		119	452		452			(151)		

2 量水器関係工事实績表

(1) 開栓・閉栓等

(単位：件)

月	種別	新設開栓			既設開栓			閉栓			停水(無届停水含む)			合計			
		直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計	
R 4年	4月	0	39	39	0	393	393	0	300	300	0	47	47	0	779	779	
	5月	0	53	53	0	358	358	0	335	335	0	43	43	0	789	789	
	6月	0	47	47	0	352	352	0	312	312	0	39	39	0	750	750	
	7月	0	52	52	0	301	301	0	247	247	0	51	51	0	651	651	
	8月	0	61	61	0	303	303	0	300	300	0	51	51	0	715	715	
	9月	0	53	53	0	287	287	0	280	280	0	50	50	0	670	670	
	10月	0	60	60	0	316	316	0	317	317	0	47	47	0	740	740	
	11月	0	70	70	0	303	303	0	315	315	0	34	34	0	722	722	
	12月	0	68	68	0	318	318	0	296	296	0	36	36	0	718	718	
	R 5年	1月	0	55	55	0	252	252	0	279	279	0	35	35	0	621	621
		2月	0	47	47	0	294	294	0	289	289	0	41	41	0	671	671
		3月	0	69	69	0	701	701	0	497	497	0	35	35	0	1,302	1,302
計	0	674	674	0	4,178	4,178	0	3,767	3,767	0	509	509	0	9,128	9,128		

(2) 量水器取替

(単位：件)

月	種別	量水器取替			
		開栓	検満	合計	
R 4年	4月	55	1,179	1,234	
	5月	55	1,065	1,120	
	6月	47	1,050	1,097	
	7月	37	1,100	1,137	
	8月	28	83	111	
	9月	25	1,199	1,224	
	10月	30	981	1,011	
	11月	21	55	76	
	12月	35	52	87	
	R 5年	1月	21	49	70
		2月	19	21	40
		3月	31	18	49
計	404	6,852	7,256		

給水装置工事
及び修繕工事状況

3 修繕工事实績表

(1) 屋内・外修繕

(単位：件)

月	種別	給水栓取替			パッキン取替			給水栓ネジ込			止水栓取替			
		直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計	
R 4年	4月	0	5	5	0	3	3	0	0	0	0	0	0	
	5月	0	7	7	0	4	4	0	0	0	0	0	0	
	6月	0	3	3	0	5	5	0	0	0	0	0	0	
	7月	0	2	2	0	1	1	0	0	0	0	2	2	
	8月	0	2	2	0	1	1	0	0	0	0	11	11	
	9月	0	1	1	0	10	10	0	2	2	0	4	4	
	10月	0	1	1	0	5	5	0	0	0	0	1	1	
	11月	0	1	1	0	6	6	0	0	0	0	6	6	
	12月	0	1	1	0	8	8	0	1	1	0	5	5	
	R 5年	1月	0	4	4	0	3	3	0	1	1	0	0	0
		2月	0	3	3	0	2	2	0	0	0	0	0	0
		3月	0	7	7	0	3	3	0	0	0	0	3	3
計		0	37	37	0	51	51	0	4	4	0	32	32	

月	種別	止水栓			メーター			VP・PP管			鉛管			
		直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計	
R 4年	4月	2	34	36	0	0	0	4	4	8	0	3	3	
	5月	3	18	21	0	0	0	1	5	6	0	1	1	
	6月	0	24	24	0	1	1	1	6	7	0	0	0	
	7月	0	25	25	0	0	0	2	7	9	1	1	2	
	8月	7	53	60	5	7	12	0	9	9	1	3	4	
	9月	8	47	55	1	3	4	2	11	13	0	2	2	
	10月	1	33	34	1	3	4	1	11	12	0	0	0	
	11月	1	54	55	0	3	3	1	14	15	0	0	0	
	12月	1	36	37	0	1	1	0	11	11	0	3	3	
	R 5年	1月	2	33	35	0	1	1	2	7	9	0	2	2
		2月	4	21	25	0	1	1	1	7	8	0	0	0
		3月	2	24	26	0	0	0	4	8	12	0	1	1
計		31	402	433	7	20	27	19	100	119	2	16	18	

月	種別	鋼管			その他			合計			
		直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計	
R 4年	4月	0	0	0	3	49	52	9	98	107	
	5月	0	0	0	2	70	72	6	105	111	
	6月	0	0	0	3	76	79	4	115	119	
	7月	0	0	0	3	73	76	6	111	117	
	8月	0	0	0	25	79	104	38	165	203	
	9月	0	1	1	38	85	123	49	166	215	
	10月	0	1	1	12	82	94	15	137	152	
	11月	0	0	0	11	67	78	13	151	164	
	12月	0	0	0	11	64	75	12	130	142	
	R 5年	1月	0	0	0	53	63	116	57	114	171
		2月	0	1	1	6	55	61	11	90	101
		3月	0	0	0	7	67	74	13	113	126
計		0	3	3	174	830	1,004	233	1,495	1,728	

(2) 道路上漏水修繕

(単位：件)

月	種別	石綿管			铸铁管			VP・PP管			鉛管			
		直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計	
R 4年	4月	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	
	5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
	6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	7月	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2	2	
	8月	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	2	2	
	9月	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3	3	
	10月	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	
	11月	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	
	12月	0	0	0	0	0	0	0	7	7	0	3	3	
	R 5年	1月	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	2	2
		2月	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	1	1
		3月	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	1	1
計		0	0	0	0	0	0	0	30	30	0	16	16	

月	種別	仕切弁			消火栓			合計			
		直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計	
R 4年	4月	0	0	0	0	0	0	0	2	2	
	5月	0	2	2	0	0	0	0	3	3	
	6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	7月	0	8	8	0	0	0	0	12	12	
	8月	0	3	3	0	1	1	0	9	9	
	9月	0	1	1	0	0	0	0	5	5	
	10月	0	0	0	0	0	0	0	2	2	
	11月	0	0	0	0	0	0	0	2	2	
	12月	0	0	0	0	0	0	0	10	10	
	R 5年	1月	0	0	0	0	0	0	0	6	6
		2月	0	1	1	0	0	0	0	6	6
		3月	0	0	0	0	9	9	0	14	14
計		0	15	15	0	10	10	0	71	71	

4 指定給水装置工事事業者

平成10年4月1日からの水道法改正で、市民サービス向上を目的とする規制緩和がなされ、令和4年度末現在、当市では345者を指定しており、その内訳は次の通りです。

都道府県・市町村別指定業者数（事業所所在地別）

令和4年度末現在

○大阪府……314者

市町村名	大東市	大阪市	東大阪市	枚方市	寝屋川市	門真市	四條畷市
業者数	37	51	38	24	25	10	10

市町村名	守口市	堺市	高槻市	八尾市	交野市	岸和田市	松原市
業者数	12	24	8	10	7	4	5

市町村名	摂津市	吹田市	柏原市	羽曳野市	箕面市	藤井寺市	茨木市
業者数	2	5	2	5	1	2	7

市町村名	貝塚市	河内長野市	豊中市	富田林市	和泉市	泉大津市	泉佐野市
業者数	1	2	5	2	3	2	3

市町村名	豊能町	高石市	池田市	阪南市	河南町	泉南市
業者数	1	1	2	1	1	1

○兵庫県……7者

市町村名	尼崎市	神戸市	西宮市	伊丹市
業者数	2	3	1	1

○奈良県……5者

市町村名	奈良市	生駒市	大和郡山市	葛城市
業者数	2	1	1	1

○京都府……7者

市町村名	京都市	宇治市	八幡市	精華町	木津川市
業者数	2	1	1	2	1

○神奈川県……1者

市町村名	横浜市
業者数	1

○東京都……5者

市町村名	渋谷区	世田谷区	港区
業者数	3	1	1

○愛媛県……1者

市町村名	松山市
業者数	1

○広島県……3者

市町村名	広島市	福山市
業者数	2	1

○愛知県……2者

市町村名	名古屋市
業者数	2

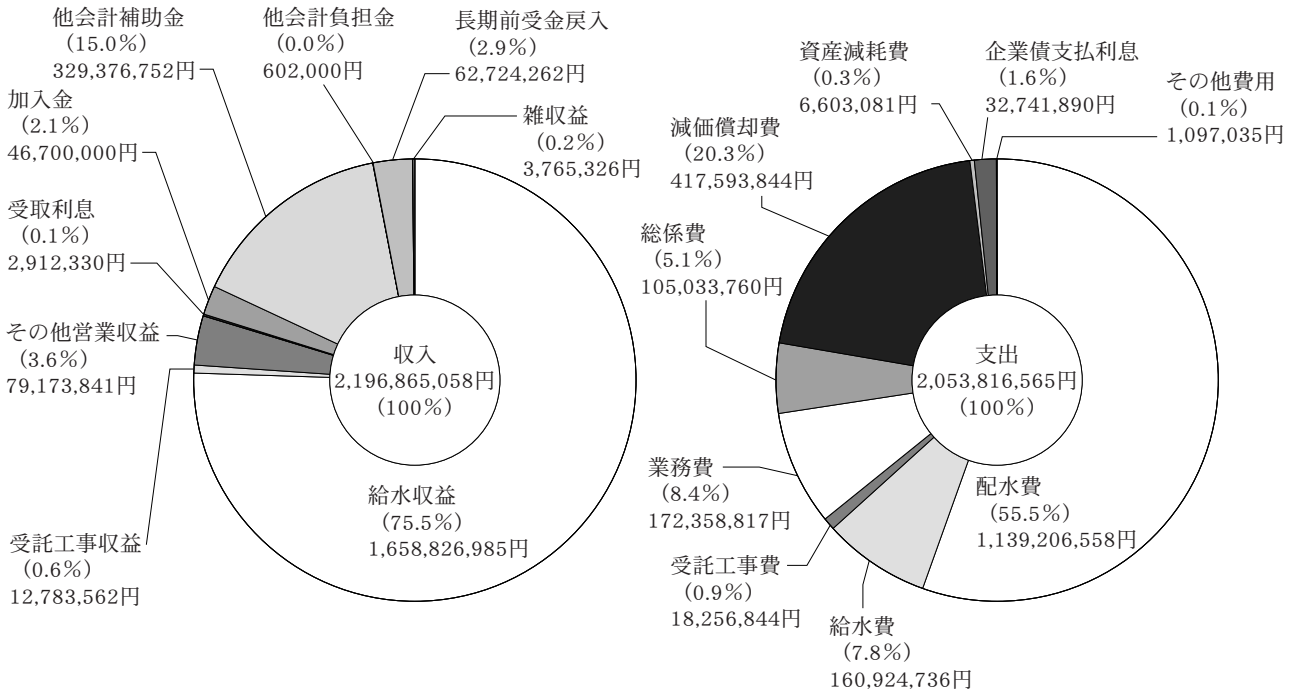
VI 財 務 狀 況

- 1 収益的・資本的収支構成図
- 2 収 益 的 収 支
- 3 資 本 的 収 支
- 4 貸 借 対 照 表
- 5 企 業 債 償 還 明 細 書
- 6 企 業 債 利 率 別 未 償 還 残 高
- 7 有 形 固 定 資 産 明 細 書
- 8 經 営 分 析
- 9 費 用 構 成 表
- 10 水 道 料 金 原 価 表
- 11 東 部 大 阪 各 市 決 算 比 較 表

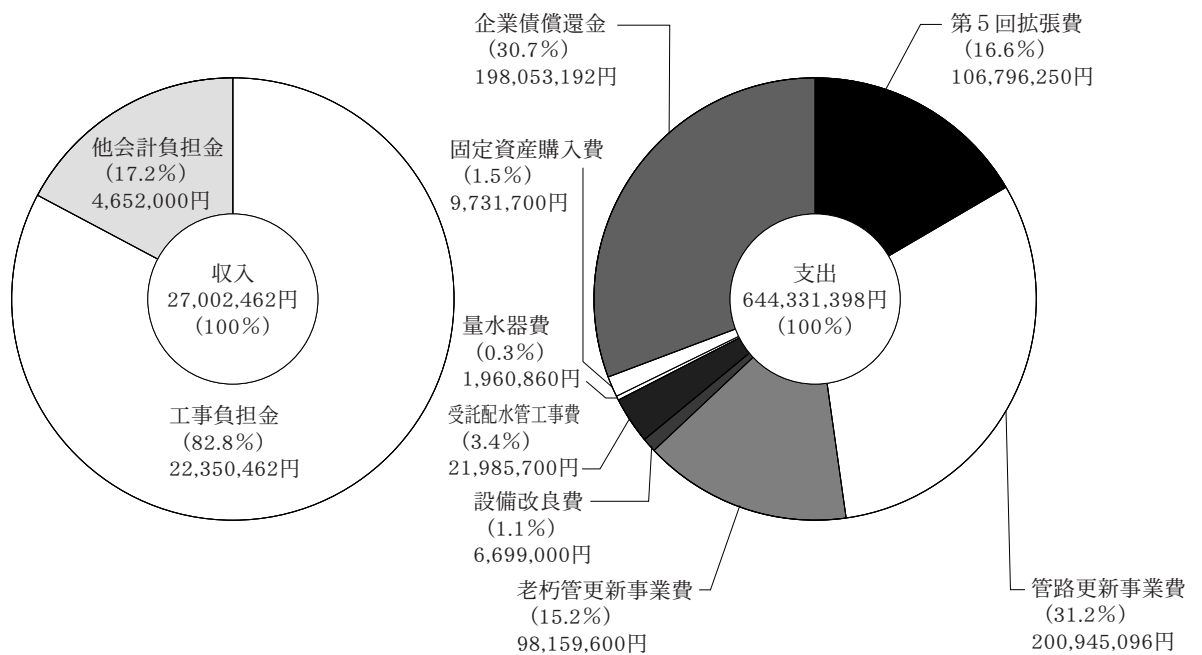
VI 財 務 状 況

1 収益的・資本的収支構成図

【収益的収支】(消費税抜き)



【資本的収支】(消費税込み)



2 収 益 の 収 支

科 目	R 4 年 度		R 3 年 度		R 2 年 度		R 元 年 度	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
	円	%	円	%	円	%	円	%
収 入	2,196,865,058	100.0	2,215,996,048	100.0	2,128,324,389	100.0	2,313,781,177	100.0
営業収益	1,750,784,388	79.7	2,098,569,054	94.7	1,685,904,277	79.2	2,137,197,287	92.4
給水収益	1,658,826,985	75.5	2,014,275,879	90.9	1,615,005,359	75.9	2,069,906,484	89.5
受託工事収益	12,783,562	0.6	7,745,339	0.3	5,581,046	0.2	4,522,700	0.2
その他営業収益	79,173,841	3.6	76,547,836	3.5	65,317,872	3.1	62,768,103	2.7
営業外収益	446,080,670	20.3	117,426,994	5.3	442,420,112	20.8	176,583,890	7.6
受取利息	2,912,330	0.1	3,507,332	0.2	3,379,251	0.2	2,452,042	0.1
加入金	46,700,000	2.1	46,060,000	2.1	62,990,000	3.0	84,650,000	3.7
他会計補助金	329,376,752	15.0	0	0.0	306,474,768	14.4	0	0.0
他会計負担金	602,000	0.0	818,000	0.0	976,000	0.0	1,008,000	0.0
長期前受金戻入	62,724,262	2.9	63,184,090	2.8	64,756,287	3.0	83,553,139	3.6
雑収益	3,765,326	0.2	3,857,572	0.2	3,843,806	0.2	4,920,709	0.2
特別利益	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
固定資産売却益	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他特別利益	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
支 出	2,053,816,565	100.0	2,081,827,060	100.0	2,053,054,396	100.0	2,181,729,539	100.0
営業費用	2,019,977,640	98.3	2,042,863,263	98.1	2,008,807,019	97.8	2,133,578,109	97.8
配水費	1,139,206,558	55.5	1,154,079,691	55.4	1,136,490,657	55.4	1,182,870,000	54.2
給水費	160,924,736	7.8	161,173,978	7.8	143,881,816	7.0	120,234,308	5.5
受託工事費	18,256,844	0.9	16,861,464	0.8	14,442,576	0.7	13,401,327	0.6
業務費	172,358,817	8.4	167,198,467	8.0	169,324,712	8.2	175,081,442	8.0
総係費	105,033,760	5.1	102,818,570	4.9	110,802,239	5.4	107,011,421	4.9
減価償却費	417,593,844	20.3	428,957,957	20.6	426,604,830	20.8	417,940,149	19.2
資産減耗費	6,603,081	0.3	11,773,136	0.6	7,260,189	0.3	117,039,462	5.4
その他営業費用	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
営業外費用	33,838,925	1.7	38,963,797	1.9	44,247,377	2.2	48,151,430	2.2
支払利息	32,741,890	1.6	37,553,053	1.8	42,392,333	2.1	47,085,468	2.2
雑支出	1,097,035	0.1	1,410,744	0.1	1,855,044	0.1	1,065,962	0.0
特別損失	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他特別損失	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
当年度純利益	143,048,493		134,168,988		75,269,993		132,051,638	

※企業の経営成績を明らかにするために、当該事業年度に発生した全ての収益と費用について記載し、純損

(消費税抜き)

H 30 年 度		す う 勢 比 率					備 考
金 額	構成比	R 4 年度	R 3 年度	R 2 年度	R 元年度	H30年度	
円	%	%	%	%	%	%	
2,332,064,275	100.0	94	95	91	99	100	
2,164,032,616	92.8	81	97	78	99	100	
2,095,474,347	89.8	79	96	77	99	100	水道料金及びメーター使用料金収入
6,443,748	0.3	198	120	87	70	100	給水工事収入
62,114,521	2.7	127	123	105	101	100	材料売却及び手数料収入
168,031,659	7.2	265	70	263	105	100	
1,261,669	0.0	231	278	268	194	100	預金利息
86,970,000	3.7	54	53	72	97	100	
0	0.0	皆増	-	皆増	-	-	
1,412,000	0.1	43	58	69	71	100	
74,567,471	3.2	84	85	87	112	100	
3,820,519	0.2	99	101	101	129	100	
0	0.0	-	-	-	-	-	
0	0.0	-	-	-	-	-	
0	0.0	-	-	-	-	-	
2,099,220,478	100.0	98	99	98	104	100	
2,046,921,500	97.5	99	100	98	104	100	
1,196,939,813	57.0	95	96	95	99	100	取水、配水、施設維持管理
143,370,889	6.8	112	112	100	84	100	給水施設の維持管理
14,422,292	0.7	127	117	100	93	100	給水施設の新設・修繕の受託工事費用
156,625,914	7.4	110	107	108	112	100	料金の調定、検針業務に関する費用
116,983,091	5.6	90	88	95	91	100	事業活動の全般に関する費用
385,479,277	18.4	108	111	111	108	100	固定資産の減価償却費
33,100,224	1.6	20	36	22	354	100	固定資産の除却及びたな卸資産減耗費
0	0.0	-	-	-	-	-	
52,298,978	2.5	65	75	85	92	100	
51,613,382	2.5	63	73	82	91	100	企業債利息
685,596	0.0	160	206	271	155	100	
0	0.0	-	-	-	-	-	
0	0.0	-	-	-	-	-	
232,843,797		61	58	32	57	100	

財務状況

益を表示したものです。

3 資 本 の 収 支

年 度 科 目	R 4 年 度		R 3 年 度		R 2 年 度		R 元 年 度	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
	円	%	円	%	円	%	円	%
資本的収入	27,002,462	100.0	16,448,000	100.0	14,637,434	100.0	28,016,500	100.0
企業債	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
工事負担金	22,350,462	82.8	0	0.0	6,368,434	43.5	14,476,500	51.7
他会計負担金	4,652,000	17.2	16,448,000	100.0	8,269,000	56.5	13,540,000	48.3
固定資産売却代金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
出資金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
補助金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
資本的支出	644,331,398	100.0	806,097,525	100.0	729,688,308	100.0	651,349,538	100.0
建設改良費	446,278,206	69.3	607,831,249	75.4	534,174,351	73.2	461,905,458	70.9
第5回拡張費	106,796,250	16.6	81,240,500	10.1	34,647,800	4.7	18,494,820	2.8
管路更新事業	200,945,096	31.2	504,101,689	62.5	365,559,236	50.1	288,184,098	44.2
老朽管更新事業	98,159,600	15.2	15,408,800	1.9	3,279,100	0.4	31,255,400	4.8
設備改良費	6,699,000	1.1	5,542,900	0.7	120,830,600	16.6	39,301,640	6.0
受託配水管工事費	21,985,700	3.4	0	0.0	6,264,500	0.9	16,005,000	2.5
量水器費	1,960,860	0.3	1,141,800	0.1	810,480	0.1	939,400	0.2
固定資産購入費	9,731,700	1.5	395,560	0.1	2,782,635	0.4	67,725,100	10.4
企業債償還金	198,053,192	30.7	198,266,276	24.6	195,513,957	26.8	189,444,080	29.1
出資金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
収支差引	△ 617,328,936		△ 789,649,525		△ 715,050,874		△ 623,333,038	

※施設の整備、拡充等に要した建設改良費、その資金としての企業債収入及び現有する施設に要した企業債

(消費税込み)

H 30 年 度		す う 勢 比 率					備 考
金 額	構成比	R 4 年度	R 3 年度	R 2 年度	R 元年度	H30年度	
円	%	%	%	%	%	%	
11,670,000	100.0	231	141	125	240	100	
0	0.0	-	-	-	-	-	
0	0.0	皆増	-	皆増	皆増	-	受託工事収入
11,670,000	100.0	40	141	71	116	100	新設消火栓設置に伴う負担金収入
0	0.0	-	-	-	-	-	
0	0.0	-	-	-	-	-	
0	0.0	-	-	-	-	-	
729,936,837	100.0	88	110	100	89	100	
547,658,832	75.0	81	111	98	84	100	
16,128,720	2.2	662	504	215	115	100	施設建設費用 配水管布設工事費用
311,336,668	42.6	65	162	117	93	100	
7,279,200	1.0	1348	212	45	429	100	
159,749,084	21.9	4	3	76	25	100	配水管の布設替工事費用
0	0.0	皆増	-	皆増	皆増	-	配水管の移設等の受託工事費用
2,160,000	0.3	91	53	38	43	100	メーター購入費用
51,005,160	7.0	19	1	5	133	100	
182,278,005	25.0	109	109	107	104	100	企業債の元金償還金
0	0.0	-	-	-	-	-	
△ 718,266,837		86	110	100	87	100	

の元金償還等を表示したものです。

4 貸借対照表

(1) 借方

年度 科目	R 4 年 度		R 3 年 度		R 2 年 度	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
	円	%	円	%	円	%
固定資産	10,401,386,676	77.2	10,417,981,812	76.9	10,304,551,083	75.3
有形固定資産	10,400,569,676	77.2	10,417,164,812	76.9	10,303,734,083	75.3
土地	720,905,422	5.4	720,905,422	5.3	720,905,422	5.3
建物	484,617,645	3.6	498,781,640	3.7	512,945,635	3.7
構築物	8,212,195,580	61.0	8,051,424,987	59.4	7,943,359,751	58.0
機械及び装置	850,564,491	6.3	902,933,587	6.7	975,363,787	7.1
車両及び運搬具	4,754,317	0.0	6,447,136	0.1	8,190,455	0.1
工具器具及び備品	58,160,018	0.4	85,681,921	0.6	117,803,324	0.9
建設仮勘定	69,372,203	0.5	150,990,119	1.1	25,165,709	0.2
投資	817,000	0.0	817,000	0.0	817,000	0.0
投資	817,000	0.0	817,000	0.0	817,000	0.0
流動資産	3,066,454,617	22.8	3,134,926,713	23.1	3,384,629,786	24.7
現金及び預金	2,823,769,977	21.0	2,902,071,590	21.4	3,152,225,693	23.0
未収金	238,990,471	1.8	207,603,514	1.5	228,163,339	1.7
未収金	243,708,784	—	212,609,703	—	233,783,294	—
貸倒引当金	△ 4,718,313	—	△ 5,006,189	—	△ 5,619,955	—
貯蔵品	3,694,169	0.0	4,051,609	0.0	4,240,754	0.0
短期貸付金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
前払金	0	0.0	21,200,000	0.2	0	0.0
借方合計	13,467,841,293	100.0	13,552,908,525	100.0	13,689,180,869	100.0

※企業の財政状態を明らかにするために、保有する全ての資産、負債及び資本を総括的に表示したものです。

R 元 年 度		H 30 年 度		す う 勢 比 率				
金 額	構成比	金 額	構成比	R 4 年 度	R 3 年 度	R 2 年 度	R 元 年 度	H30 年 度
円	%	円	%	%	%	%	%	%
10,250,984,385	74.3	10,305,076,395	74.0	101	101	100	99	100
10,250,167,385	74.3	10,304,259,395	74.0	101	101	100	99	100
720,905,422	5.2	720,905,422	5.2	100	100	100	100	100
527,109,630	3.8	522,441,350	3.8	93	95	98	101	100
7,876,435,711	57.1	7,901,448,697	56.7	104	102	101	100	100
934,549,777	6.8	992,387,492	7.1	86	91	98	94	100
7,154,464	0.1	4,207,417	0.0	113	153	195	170	100
157,907,796	1.1	148,688,103	1.1	39	58	79	106	100
26,104,585	0.2	14,180,914	0.1	489	1065	177	184	100
817,000	0.0	817,000	0.0	100	100	100	100	100
817,000	0.0	817,000	0.0	100	100	100	100	100
3,550,747,408	25.7	3,627,624,605	26.0	85	86	93	98	100
3,305,479,980	23.9	3,404,057,926	24.4	83	85	93	97	100
226,560,372	1.7	218,621,404	1.6	109	95	104	104	100
232,070,601	—	223,880,597	—	109	95	104	104	100
△ 5,510,229	—	△ 5,259,193	—	90	95	107	105	100
5,207,056	0.0	4,945,275	0.0	75	82	86	105	100
0	0.0	0	0.0	—	—	—	—	—
13,500,000	0.1	0	0.0	—	皆増	—	皆増	—
13,801,731,793	100.0	13,932,701,000	100.0	97	97	98	99	100

(2) 貸 方

年度 科目	R 4 年 度		R 3 年 度		R 2 年 度	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
	円	%	円	%	円	%
負 債	4,304,775,911	32.0	4,532,891,636	33.4	4,803,332,968	35.1
固 定 負 債	2,239,719,342	16.7	2,419,936,504	17.9	2,621,843,850	19.2
企 業 債	1,330,828,159	9.9	1,522,054,372	11.2	1,720,107,565	12.6
退職給付引当金	154,402,550	1.1	143,847,899	1.1	131,928,543	1.0
特別修繕引当金	74,281,291	0.6	69,610,891	0.5	64,979,400	0.5
修 繕 引 当 金	680,207,342	5.1	684,423,342	5.1	704,828,342	5.1
流 動 負 債	643,209,967	4.7	655,386,730	4.8	677,184,626	4.9
企 業 債	191,226,213	1.4	198,053,192	1.5	198,266,275	1.4
賞 与 引 当 金	18,640,664	0.1	16,969,338	0.1	18,227,105	0.1
未 払 金	379,301,475	2.8	364,761,318	2.7	378,780,585	2.8
前 受 金	187,738	0.0	177,042	0.0	179,178	0.0
預 り 金	53,853,877	0.4	75,425,840	0.5	81,731,483	0.6
繰 延 収 益	1,421,846,602	10.6	1,457,568,402	10.7	1,504,304,492	11.0
長期前受金	3,277,043,797	—	3,252,630,516	—	3,281,960,367	—
長期前受金収 益 化 累 計 額	△ 1,855,197,195	—	△ 1,795,062,114	—	△ 1,777,655,875	—
資 本	9,163,065,382	68.0	9,020,016,889	66.6	8,885,847,901	64.9
資 本 金	8,116,675,942	60.2	7,903,491,852	58.3	7,738,735,565	56.5
資 本 金	8,116,675,942	60.2	7,903,491,852	58.3	7,738,735,565	56.5
剰 余 金	1,046,389,440	7.8	1,116,525,037	8.3	1,147,112,336	8.4
資 本 剰 余 金	11,991,000	0.1	11,991,000	0.1	11,991,000	0.1
利 益 剰 余 金	1,034,398,440	7.7	1,104,534,037	8.2	1,135,121,336	8.3
積 立 金	650,000,000	4.8	700,000,000	5.2	750,000,000	5.5
繰越利益剰余金	91,349,947	0.7	120,365,049	0.9	209,851,343	1.5
当年度純利益	143,048,493	1.1	134,168,988	1.0	75,269,993	0.6
その他未処分 利 益 剰 余 金	150,000,000	1.1	150,000,000	1.1	100,000,000	0.7
貸 方 合 計	13,467,841,293	100.0	13,552,908,525	100.0	13,689,180,869	100.0

R 元 年 度		H 30 年 度		す う 勢 比 率				
金 額	構成比	金 額	構成比	R 4 年 度	R 3 年 度	R 2 年 度	R 元 年 度	H30 年 度
円	%	円	%	%	%	%	%	%
4,991,153,885	36.2	5,254,174,730	37.8	82	86	91	95	100
2,817,148,194	20.4	3,020,678,651	21.7	74	80	87	93	100
1,918,373,840	13.9	2,113,887,797	15.2	63	72	81	91	100
140,714,012	1.0	146,901,512	1.1	105	98	90	96	100
53,232,000	0.4	44,881,000	0.3	166	155	145	119	100
704,828,342	5.1	715,008,342	5.1	95	96	99	99	100
619,582,346	4.5	623,536,095	4.5	103	105	109	99	100
195,513,957	1.4	189,444,080	1.4	101	105	105	103	100
17,877,957	0.1	16,684,432	0.1	112	102	109	107	100
339,765,095	2.5	344,795,155	2.5	110	106	110	99	100
53,666	0.0	60,482	0.0	310	293	296	89	100
66,371,671	0.5	72,551,946	0.5	74	104	113	91	100
1,554,423,345	11.3	1,609,959,984	11.6	88	91	93	97	100
3,292,976,292	—	3,301,806,421	—	99	99	99	100	100
△ 1,738,552,947	—	△ 1,691,846,437	—	110	106	105	103	100
8,810,577,908	63.8	8,678,526,270	62.2	106	104	102	102	100
7,555,182,426	54.7	7,250,614,955	52.0	112	109	107	104	100
7,555,182,426	54.7	7,250,614,955	52.0	112	109	107	104	100
1,255,395,482	9.1	1,427,911,315	10.2	73	78	80	88	100
11,991,000	0.1	11,991,000	0.1	100	100	100	100	100
1,243,404,482	9.0	1,415,920,315	10.1	73	78	80	88	100
850,000,000	6.2	800,000,000	5.7	81	88	94	106	100
161,352,844	1.2	153,076,518	1.1	60	79	137	105	100
132,051,638	0.9	232,843,797	1.7	61	58	32	57	100
100,000,000	0.7	230,000,000	1.6	65	65	43	43	100
13,801,731,793	100.0	13,932,701,000	100.0	97	97	98	99	100

5 企業債償還明細書

(単位：千円)

借入先	償還元金	償還利息等			償還元利合計	未償還残高
		利息	手数料	計		
財務省	119,471	21,797	0	21,797	141,268	1,053,424
地方公共団体金融機構	78,582	10,945	0	10,945	89,527	468,630
計	198,053	32,742	0	32,742	230,795	1,522,054

※企業債は、毎年9月、3月の2回にわけて元利均等により償還しています。財務省の償還期間は30年、金融機構の償還期間は30年（20年度債までは、28年）となっており、利息分については借入の翌年より償還し、元金分については1～5年間据置後償還しています。



6 企業債利率別未償還残高

(単位：千円)

利 率	借入先	財 務 省	地方公共団体金融機構	計
～ 1.0 % 未 満		100,603	0	100,603
1.0 % 以 上 ～ 2.0 % 未 満		437,132	167,897	605,029
2.0 % 以 上 ～ 3.0 % 未 満		471,708	295,886	767,594
3.0 % 以 上 ～ 4.0 % 未 満		24,571	4,847	29,418
4.0 % 以 上 ～ 5.0 % 未 満		19,410	0	19,410
5.0 % 以 上 ～		0	0	0
計		1,053,424	468,630	1,522,054

※令和4年度は借り入れをしておりません。

7 有形固定資産明細書

(1) 有形固定資産明細書

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高
土 地	720,905,422	0	0	720,905,422
事務所用地	900,472	0	0	900,472
施設用地	720,004,950	0	0	720,004,950
建 物	789,040,678	0	0	789,040,678
事務所用建物	343,285,489	0	0	343,285,489
施設用建物	348,444,189	0	0	348,444,189
その他建物	0	0	0	0
建物附属設備	97,311,000	0	0	97,311,000
構 築 物	16,199,512,833	475,595,105	49,929,559	16,625,178,379
導水設備	882,547,249	0	0	882,547,249
送配水設備	15,289,986,503	475,595,105	49,929,559	15,715,652,049
その他構築物	26,979,081	0	0	26,979,081
機 械 及 び 装 置	1,705,960,977	11,362,600	3,991,000	1,713,332,577
電気設備	1,291,306,555	2,610,000	0	1,293,916,555
ポンプ設備	222,921,557	0	0	222,921,557
塩素滅菌設備	15,880,000	0	0	15,880,000
量水器	169,258,530	1,782,600	0	171,041,130
その他機械及び装置	6,594,335	6,970,000	3,991,000	9,573,335
車 両 運 搬 具	29,546,718	0	0	29,546,718
工 具、器 具 及 び 備 品	287,393,057	1,877,000	900,000	288,370,057
建 設 仮 勘 定	150,990,119	25,627,203	107,245,119	69,372,203
合 計	19,883,349,804	514,461,908	162,065,678	20,235,746,034

(2) 投 資

種 類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高
出 資 金	817,000	0	0	817,000

(単位：円・消費税抜き)

減価償却累計額			年度末償却未済高
増加額	減少額	累計	
0	0	0	720,905,422
0	0	0	900,472
0	0	0	720,004,950
14,163,995	0	304,423,033	484,617,645
5,376,433	0	151,826,130	191,459,359
8,787,562	0	60,151,453	288,292,736
0	0	0	0
0	0	92,445,450	4,865,550
308,850,981	43,956,028	8,412,982,799	8,212,195,580
7,470,809	0	737,355,396	145,191,853
300,853,177	43,956,028	7,651,695,370	8,063,956,679
526,995	0	23,932,033	3,047,048
63,532,146	3,791,450	862,768,086	850,564,491
50,253,935	0	652,936,785	640,979,770
11,779,110	0	106,739,382	116,182,175
601,500	0	15,086,000	794,000
897,601	0	85,532,752	85,508,378
0	3,791,450	2,473,167	7,100,168
1,692,819	0	24,792,401	4,754,317
29,353,903	855,000	230,210,039	58,160,018
0	0	0	69,372,203
417,593,844	48,602,478	9,835,176,358	10,400,569,676

財務状況

備考

地方公共団体金融機構出資金

8 経営分析

(1) 収益分析

科目 款	営業収益				受取利息	加入金	他会計補助金
	給水収益	受託工事収益	その他営業収益	計			
水道事業収益	1,658,826,985	12,783,562	79,173,841	1,750,784,388	2,912,330	46,700,000	329,376,752

(2) 費用分析

節 科目	水道事業費用	構成比	配水費	給水費
給料	96,748,659	4.7	14,461,440	27,235,596
手当	52,227,071	2.6	8,035,005	15,301,850
報酬	360,000	0.0	0	0
法定福利費	29,558,694	1.5	4,615,948	8,563,312
賞与引当金繰入額	17,189,961	0.8	2,543,947	4,705,321
退職給付費	12,596,812	0.6	0	0
小計	208,681,197	10.2	29,656,340	55,806,079
修繕費	15,433,810	0.7	6,009,200	97,550
材料費	1,347,100	0.1	546,539	800,561
負担金	4,292,530	0.2	0	0
受水費	918,939,770	44.7	918,939,770	0
動力費	43,655,900	2.1	43,655,900	0
薬品費	128,000	0.0	128,000	0
委託料	307,594,079	15.0	107,680,083	77,973,688
工事請負費	38,181,600	1.9	14,808,600	14,553,000
路面復旧費	10,165,000	0.5	862,000	9,303,000
備用品費	4,543,430	0.2	72,877	2,375,827
貸倒引当金繰入額	624,951	0.0	0	0
特別修繕引当金繰入額	13,517,400	0.7	13,517,400	0
その他	28,675,948	1.4	3,329,849	15,031
減価償却費	417,593,844	20.3	0	0
資産減耗費	6,603,081	0.3	0	0
支払利息及び 企業債取扱諸費	32,741,890	1.6	0	0
雑支出	1,097,035	0.1	0	0
小計	1,845,135,368	89.8	1,109,550,218	105,118,657
合計	2,053,816,565	100.0	1,139,206,558	160,924,736

(単位：円・消費税抜き)

営業外収益				特別利益			合 計
他会計負担金	長期前受金戻入	雑収益	計	固定資産売却益	その他特別利益	計	
602,000	62,724,262	3,765,326	446,080,670	0	0	0	2,196,865,058

(単位：円・消費税抜き)

受 託 工 事 費	業 務 費	総 係 費	そ の 他 費 用
4,522,440	18,137,340	32,391,843	0
2,779,237	9,148,022	16,962,957	0
0	0	360,000	0
1,342,229	5,672,528	9,364,677	0
767,922	3,147,135	6,025,636	0
0	0	12,596,812	0
9,411,828	36,105,025	77,701,925	0
21,050	8,610,900	695,110	0
0	0	0	0
0	3,410,001	882,529	0
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
0	110,078,841	11,861,467	0
8,820,000	0	0	0
0	0	0	0
0	932,465	1,162,261	0
0	0	624,951	0
0	0	0	0
3,966	13,221,585	12,105,517	0
0	0	0	417,593,844
0	0	0	6,603,081
0	0	0	32,741,890
0	0	0	1,097,035
8,845,016	136,253,792	27,331,835	458,035,850
18,256,844	172,358,817	105,033,760	458,035,850

(3) 経営分析表

項目	R 4年度	R 3年度	R 2年度	R元年度	H30年度	公 式
自己資本構成比率 (%)	78.6	77.3	75.9	75.1	73.8	$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}}{\text{負債資本合計}} \times 100$
固定資産対長期資本比率 (%)	81.1	80.8	79.2	77.8	77.4	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本合計} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$
固定資産構成比率 (%)	77.2	76.9	75.3	74.3	74.0	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資産合計}} \times 100$
固定負債構成比率 (%)	16.6	17.9	19.2	20.4	21.7	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債資本合計}} \times 100$
流動比率 (%)	476.7	478.3	499.8	573.1	581.8	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$
総収益対総費用比率 (%)	107.0	106.4	103.7	106.1	111.1	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$
営業収益対営業費用比率 (%)	86.7	102.7	83.9	100.2	105.7	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$
企業債償還元金対減価償却比率 (%)	55.8	54.2	54.0	56.7	58.6	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却費} - \text{長期前受金戻入}} \times 100$
企業債償還元金対給水収益比率 (%)	11.9	9.8	12.1	9.2	8.7	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{給水収益}} \times 100$
企業債利息対給水収益比率 (%)	2.0	1.9	2.6	2.3	2.5	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{給水収益}} \times 100$
企業債元利償還金対給水収益比率 (%)	13.9	11.7	14.7	11.4	11.2	$\frac{\text{企業債元利償還金}}{\text{給水収益}} \times 100$
職員給与費対給水収益比率 (%)	12.0	10.1	12.1	9.8	9.2	$\frac{\text{職員給与費} (\text{受託工事費の給与を除く})}{\text{給水収益}} \times 100$
現金比率 (%)	439.0	442.8	465.5	533.5	545.9	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$
固定資産回転率 (回)	0.17	0.20	0.16	0.21	0.21	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}) \times 1/2}$
経営資本営業利益率 (%)	-2.0	0.4	-2.4	0.0	0.8	$\frac{\text{営業利益}}{\text{経営資本} (\text{総資産} - (\text{建設仮勘定} + \text{投資その他の資産} + \text{繰延資産}))} \times 100$

算式 (R4年度)	経営分析表の説明
$\frac{10,584,911,984}{13,467,841,293} \times 100$	わが国の水道事業は、起債（借入金）によって施設を建設し、料金収入によって償還するという経営のたてまえからこの比率は低い、あまり低すぎると、水道料金を算出する場合に借入金の元金償還金と支払利息のために水道料金が高くなる。
$\frac{10,401,386,676}{12,824,631,326} \times 100$	これは、固定資産に対する調達原資の適合関係を判断するために用いられ、この比率が100%以上になれば、固定資産の調達原資の一部が短期資産で賄われていることになり、運転資金の不足に苦しめられていることとなる。
$\frac{10,401,386,676}{13,467,841,293} \times 100$	総資産中に固定資産がどれ位占めているかを表す比率であり、一般に設備投資型企業の場合には、この比率が100%近くにも達する。
$\frac{2,239,719,342}{13,467,841,293} \times 100$	この比率は、自己資本構成比率と対応をなすものである。企業の経営状態をみると、自己資本構成比率が低く、固定負債構成比率が高ければ、その企業は常に負債の返済に追われ、又、金利負担により企業経営悪化の原因ともなる。
$\frac{3,066,454,617}{643,209,967} \times 100$	この比率は、短期債務に対して、これに必ずるべき流動資産が十分にあるかどうかその割合を明らかにするための比率であって、この比率が高ければ高いほど短期債務の支払いに十分な流動資産を有している。
$\frac{2,196,865,058}{2,053,816,565} \times 100$	この比率が100%以下であることは収支が均衡しておらず赤字であることを示す。
$\frac{1,750,784,388}{2,019,977,640} \times 100$	この比率は営業活動による収益と費用の比で狭義の収益率を示す。この比率が100%以下であれば、経営活動における収支の均衡が計られていないことになる。
$\frac{198,053,192}{354,869,582} \times 100$	固定資産に対する投資は、減価償却費で回収されるものであるということから、この比率が100%以下であれば、100%を下回る額だけ内部資金が留保されたことになり、企業債元利償還金が資金不足の原因とされることはない。
$\frac{198,053,192}{1,658,826,985} \times 100$	企業債償還能力を示すものである。この比率が小さいほど企業債への依存度が小さく経営は安定している。
$\frac{32,741,890}{1,658,826,985} \times 100$	上記比率と同じ意味をもつ。
$\frac{230,795,082}{1,658,826,985} \times 100$	上記比率と同じ意味をもつ。
$\frac{198,659,369}{1,658,826,985} \times 100$	この比率が高ければ高いほど、固定費がかさみ、財政硬直化の原因となり経営悪化を意味する。
$\frac{2,823,769,977}{643,209,967} \times 100$	この比率は、企業の支払能力を測定するために用いられるもので、100%以上であることが望ましい。これは、現金が流動負債を弁済してもなお、その企業の支払能力に余力のあることを示すからである。
$\frac{1,738,000,826}{10,409,684,244}$	この比率が高ければ、固定資産が有効利用されていることを示し、低いことは固定資産が営業収益に比べ過大であること、すなわち固定資産への過大投資を意味するものである。
$\frac{-269,193,252}{13,397,652,090} \times 100$	投下資本に対する利益の割合を示したもので、一般的には預金金利と比較する。

項 目	R 4年度	R 3年度	R 2年度	R元年度	H30年度	公 式
経営資本回転数(回)	0.13	0.16	0.12	0.16	0.16	$\frac{\text{営業収益}}{\text{経営資本}}$
営業利益対営業収益率(%)	-15.4	2.7	-19.2	0.2	5.4	$\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}} \times 100$

(4) 業務分析表

項 目	R 4年度	R 3年度	R 2年度	R元年度	H 30年度	公 式
負 荷 率 (%)	92.3	93.6	85.2	91.6	90.9	$\frac{\text{一日平均配水量 (m}^3\text{)}}{\text{一日最大配水量 (m}^3\text{)}} \times 100$
施設利用率 (%)	54.4	55.5	56.7	56.2	59.1	$\frac{\text{一日平均配水量 (m}^3\text{)}}{\text{一日配水能力 (m}^3\text{)}} \times 100$
最大稼働率 (%)	59.0	59.4	66.5	61.3	65.1	$\frac{\text{一日最大配水量 (m}^3\text{)}}{\text{一日配水能力 (m}^3\text{)}} \times 100$
配水管使用効率	49.3	50.5	51.7	51.5	54.2	$\frac{\text{年間総配水量 (m}^3\text{)}}{\text{導送配水管延長 (m)}}$
有 収 率 (%)	97.6	97.4	96.9	96.8	93.0	$\frac{\text{有収水量 (m}^3\text{)}}{\text{年間総配水量 (m}^3\text{)}} \times 100$
固定資産使用効率	12.2	12.5	12.9	12.8	13.4	$\frac{\text{年間総配水量 (m}^3\text{)}}{\text{有形固定資産 (万円)}}$
供給単価 (円)	129.87	155.57	122.14	158.71	159.47	$\frac{\text{水道料金 (円)}}{\text{有収水量 (m}^3\text{)}}$
給水原価 (円)	159.02	158.33	153.72	163.53	156.45	$\frac{\text{経常費用-(受託工事費+材料及び不用品売却原価+附帯事業費)-長期前受金戻入 (円)}}{\text{有収水量 (m}^3\text{)}}$
職員一人当り 有形固定資産 (万円)	45,220	43,405	44,799	42,709	46,838	$\frac{\text{有形固定資産 (万円)}}{\text{全職員数 (人)}}$
職員一人当り 給水人口 (人)	5,581	5,370	5,684	5,472	6,040	$\frac{\text{給水人口 (人)}}{\text{損益勘定職員 (人)}}$
職員一人当り 有収水量 (m ³)	590,765	574,690	611,287	579,477	642,462	$\frac{\text{有収水量 (m}^3\text{)}}{\text{損益勘定職員 (人)}}$
職員一人当り 営業収益 (千円)	82,762	95,037	80,015	96,940	107,879	$\frac{\text{営業収益-受託工事収益 (千円)}}{\text{損益勘定職員 (人)}}$

算式 (R4年度)	経営分析表の説明
$\frac{1,750,784,388}{13,397,652,090}$	投下資本の回収速度を示したもので、水道事業では、0.2回以上（5年に1回計資本が回収される）が好ましい。
$\frac{-269,193,252}{1,750,784,388} \times 100$	この比率は営業利益の状況を示す比率であり、経営資本営業利益率を高めるためにはこの比率を高める必要がある。

$\frac{34,818}{37,735} \times 100$	負荷率が100%近くになると、ピーク（需要期）とオフ・ピーク（費需要期）の差が縮まっていることを意味し、施設が1年を通じ、平均的に稼働していることを意味している。
$\frac{34,818}{64,000} \times 100$	この比率が高くなれば、施設の効率的な利用を意味し、低ければ施設が遊休していることとなる。
$\frac{37,735}{64,000} \times 100$	最大稼働率が100%を超えれば、配水能力が最大配水量に不足することを意味し、逆の場合には、配水能力に余裕がある。この比率が100%に近づいてきた場合には、数年後の予測最大配水量をもとにして、配水能力を増大するために、拡張改良計画が必要である。
$\frac{12,708,659}{257,862}$	物質的投下資本（配水管）が配水量にどれだけ貢献したのか投資効率を示す。
$\frac{12,406,070}{12,708,659} \times 100$	水道料金徴収の対象となる水量（有収水量）が総配水量に占める比率
$\frac{12,708,659}{1,040,057}$	固定資産に投下された資本の投資効率を示す。
$\frac{1,611,149,344}{12,406,070}$	有収水量1m ³ あたりの水道料金収入
$\frac{1,972,835,459}{12,406,070}$	有収水量1m ³ あたりの給水コスト
$\frac{1,040,057}{23}$	事業の規模に対する職員数の適否を検討することになり、労働生産性の良否を示す。
$\frac{117,203}{21}$	上記比率と同じ意味をもつ。
$\frac{12,406,070}{21}$	上記比率と同じ意味をもつ。
$\frac{1,738,001}{21}$	上記比率と同じ意味をもつ。

9 費用構成表

年度 科目		R 4 年 度		R 3 年 度		R 2 年 度	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
		千円	%	千円	%	千円	%
職 員 給 与 費	1. 給 料	96,748	4.7	98,047	4.7	94,697	4.6
	2. 手 当	52,227	2.6	54,536	2.6	53,503	2.6
	3. 報 酬	360	0.0	360	0.0	438	0.0
	4. 法定福利費	29,559	1.5	30,425	1.5	29,581	1.5
	5. 賞与引当金繰入額	17,190	0.8	15,479	0.8	16,598	0.8
	6. 退職給付費	12,597	0.6	17,432	0.8	14,881	0.7
	小 計	208,681	10.2	216,279	10.4	209,698	10.2
	7. 受 水 費	918,940	44.7	937,889	45.0	913,857	44.5
	8. 動 力 費	43,656	2.1	35,457	1.7	34,456	1.7
	9. 薬 品 費	128	0.0	62	0.0	58	0.0
	10. 修 繕 費	15,434	0.7	16,833	0.8	17,989	0.9
	11. 材 料 費	1,347	0.1	1,481	0.1	1,939	0.1
	12. 委 託 料	307,594	15.0	299,575	14.4	319,147	15.5
	13. 路面復旧費	10,165	0.5	11,167	0.5	7,341	0.4
	14. 工事請負費	38,182	1.9	35,119	1.7	22,554	1.1
	15. 減価償却費	417,594	20.3	428,958	20.6	426,605	20.8
	16. 資産減耗費	6,603	0.3	11,773	0.6	7,260	0.3
	17. 負担金補助金	4,292	0.2	3,564	0.2	3,542	0.2
	18. 材料売却原価	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	19. 支払利息及び 企業債取扱諸費	32,742	1.6	37,553	1.8	42,392	2.1
	20. 雑 支 出	1,097	0.1	1,411	0.1	1,855	0.1
	21. そ の 他	47,362	2.3	44,706	2.1	44,361	2.1
合 計		2,053,817	100.0	2,081,827	100.0	2,053,054	100.0

(消費税抜き)

R 元 年 度		H 30 年 度		す う 勢 比 率				
金 額	構成比	金 額	構成比	R 4 年 度	R 3 年 度	R 2 年 度	R 元 年 度	H30 年 度
千 円	%	千 円	%	%	%	%	%	%
92,287	4.2	85,710	4.1	113	114	110	108	100
52,978	2.4	53,833	2.5	97	101	99	98	100
8,177	0.4	8,139	0.4	4	4	5	100	100
30,635	1.4	28,591	1.4	103	106	103	107	100
16,308	0.8	15,164	0.7	113	102	109	108	100
15,621	0.7	15,930	0.8	79	109	93	98	100
216,006	9.9	207,367	9.9	101	104	101	104	100
952,629	43.7	991,429	47.2	93	95	92	96	100
38,149	1.7	40,438	1.9	108	88	85	94	100
87	0.0	145	0.0	88	43	40	60	100
23,083	1.1	18,818	0.9	82	89	96	123	100
1,165	0.0	901	0.0	150	164	215	129	100
282,686	13.0	280,324	13.4	110	107	114	101	100
6,542	0.3	10,087	0.5	101	111	73	65	100
27,652	1.3	28,048	1.3	136	125	80	99	100
417,940	19.1	385,479	18.4	108	111	111	108	100
117,040	5.4	33,100	1.6	20	36	22	354	100
3,661	0.2	4,260	0.2	101	84	83	86	100
0	0.0	0	0.0	-	-	-	-	-
47,086	2.2	51,613	2.5	63	73	82	91	100
1,066	0.0	686	0.0	160	206	270	155	100
46,938	2.1	46,525	2.2	102	96	95	101	100
2,181,730	100.0	2,099,220	100.0	98	99	98	104	100

財務状況

10 水道料金原価表（受託工事費を除く）

年 度	R 4 年 度			R 3 年 度			R 2 年 度		
有収水量 (m ³)	12,406,070			12,643,187			12,837,031		
費 目	金額	割合	原価	金額	割合	原価	金額	割合	原価
	千円	%	円	千円	%	円	千円	%	円
人 件 費	199,269	10.1	16.06	202,988	10.1	16.06	196,379	10.0	15.30
受 水 費	918,940	46.6	74.07	937,889	46.8	74.18	913,857	46.3	71.19
動 力 費	43,656	2.2	3.52	35,457	1.8	2.80	34,456	1.7	2.68
委 託 料	307,594	15.6	24.79	299,575	15.0	23.70	319,147	16.2	24.86
修 繕 費	28,930	1.5	2.33	30,343	1.5	2.40	31,423	1.6	2.45
材 料 費	1,347	0.1	0.11	1,481	0.1	0.12	1,938	0.1	0.15
諸 経 費	78,884	4.0	6.36	78,949	3.9	6.24	64,643	3.3	5.04
減 価 償 却 費 等	361,473	18.3	29.14	377,547	18.9	29.86	369,109	18.7	28.75
支 払 利 息	32,742	1.6	2.64	37,553	1.9	2.97	42,392	2.1	3.30
損 益 勘 定 合 計	1,972,835	100.0	159.02	2,001,782	100.0	158.33	1,973,344	100.0	153.72
料金以外の収支差益	504,735		40.68	169,063		13.37	480,681		37.44

(消費税抜き)

R 元 年 度			H 30 年 度		
12,748,491			12,849,241		
金額	割合	原価	金額	割合	原価
千円	%	円	千円	%	円
203,052	9.7	15.93	194,394	9.7	15.13
952,629	45.7	74.73	991,429	49.3	77.16
38,149	1.8	2.99	40,438	2.0	3.15
282,686	13.6	22.17	280,324	14.0	21.81
38,600	1.8	3.03	34,261	1.7	2.67
1,165	0.1	0.09	901	0.0	0.07
69,982	3.4	5.49	72,859	3.6	5.67
451,427	21.6	35.41	344,012	17.1	26.77
47,085	2.3	3.69	51,613	2.6	4.02
2,084,775	100.0	163.53	2,010,231	100.0	156.45
193,551		15.18	193,951		15.09

11 東部大阪各市決算比較表

(施設及び業務量)

項目 \ 市名	単位	大東市	東大阪市	枚方市	八尾市	寝屋川市	守口市
現在給水人口	人	117,183	479,028	395,280	261,700	226,693	141,607
給水戸数	戸	58,055	267,151	178,049	132,566	112,275	73,603
配水能力	m ³ /日	64,000	260,180	206,800	153,000	129,000	65,200
年間総配水量	m ³	12,708,659	54,399,980	43,735,960	30,873,140	23,307,778	15,605,350
自己水	m ³	0	523,650	38,205,670	0	0	14,889,820
受水	m ³	12,708,659	53,876,330	5,530,290	30,873,140	23,307,778	715,530
企業団水	m ³	12,522,228	51,053,520	5,522,710	30,873,140	23,307,778	715,530
その他	m ³	186,431	2,822,810	7,580	0	0	0
年間総有収水量	m ³	12,406,070	51,342,071	40,938,090	28,860,277	22,763,244	14,793,603
有収率	%	97.6	94.4	93.6	93.5	97.7	94.8
一日最大配水量	m ³	37,735	162,450	128,000	95,126	71,160	47,340
一日平均配水量	m ³	34,818	149,041	119,825	84,584	63,857	42,754
家庭用10m ³ 当り金額	円	1,042	992	992	1,034	1,060	1,098
損益勘定職員 (管理者除く)	人	27	112	75	60	35	34
資本勘定職員	人	2	28	32	19	7	7
職員数合計	人	29	140	107	79	42	41

(収益的収支)

総収益	千円	2,196,865	8,837,245	6,523,400	5,456,904	3,839,977	2,400,022
総費用	千円	2,053,817	8,392,173	5,410,675	5,162,687	3,486,057	2,128,265
単年度損益	千円	143,048	445,072	1,112,725	294,217	353,920	271,757
累積損益	千円	384,398	2,131,423	1,312,725	479,467	3,907,761	2,540,524

(資本的収支)

資本的収入	千円	27,002	1,290,171	1,916,984	1,176,730	679,929	983,171
資本的支出	千円	644,331	3,986,027	4,613,974	2,902,967	1,967,063	1,890,977
差引不足額	千円	617,329	2,695,856	2,696,990	1,726,237	1,287,134	907,806
補てん財源不足	千円	0	0	0	0	0	0

※ 大阪広域水道企業団統合団体（四條畷市）は除く

門真市	交野市	大東市 = 100 とした比較						
		東大阪市	枚方市	八尾市	寝屋川市	守口市	門真市	交野市
117,585	77,234	409	337	223	193	121	100	66
63,411	30,335	460	307	228	193	127	109	52
72,000	38,500	407	323	239	202	102	113	60
12,782,590	7,487,773	428	344	243	183	123	101	59
0	5,991,317	-	-	-	-	-	-	-
12,782,590	1,496,456	424	44	243	183	6	101	12
12,782,590	1,487,590	408	44	247	186	6	102	12
0	8,866	1,514	4	0	0	0	0	5
12,419,553	7,381,011	414	330	233	183	119	100	59
97.2	98.6	97	96	96	100	97	100	101
41,540	22,833	431	339	252	189	125	110	61
35,021	20,514	428	344	243	183	123	101	59
985	1,196	95	95	99	102	105	95	115
23	23	415	278	222	130	126	85	85
9	4	1,400	1,600	950	350	350	450	200
32	27	483	369	272	145	141	110	93

(消費税抜き)

2,327,040	1,360,535	402	297	248	175	109	106	62
2,137,200	1,381,806	409	263	251	170	104	104	67
189,840	△ 21,271	311	778	206	247	190	133	△ 15
912,119	2,337,647	554	342	125	1,017	661	237	608

(消費税込み)

260,704	120,745	4,778	7,099	4,358	2,518	3,641	965	447
1,410,807	633,649	619	716	451	305	293	219	98
1,150,103	512,904	437	437	280	209	147	186	83
0	0	-	-	-	-	-	-	-

(業務分析)

項目	市名						
	単位	大東市	東大阪市	枚方市	八尾市	寝屋川市	守口市
負荷率	%	92.3	91.7	93.6	88.9	89.7	90.3
施設利用率	%	54.4	57.3	57.9	55.3	49.5	65.6
最大稼働率	%	59.0	62.4	61.9	62.2	55.2	72.6
配水管使用効率	m ³ /m	49.3	52.2	37.1	41.3	37.3	49.5
固定資産使用効率	m ³ /万円	12.2	13.6	6.6	10.3	13.9	8.8
供給単価	円	133.7	154.2	115.7	155.9	121.8	150.7
給水原価	円	159.0	159.1	117.2	169.5	146.1	140.6
※1 職員一人当り 有形固定資産	千円	358,640	288,311	662,913	380,165	397,970	434,606
※2 職員一人当り 給水人口	人	4,340	4,277	5,270	4,362	6,477	4,165
※2 職員一人当り 有収水量	m ³	459,484	458,411	545,841	481,005	650,378	435,106
※2 職員一人当り 営業収益	千円	64,370	75,173	63,882	77,436	82,924	67,807

※1 職員とは、管理者・再任用短時間勤務職員・任期付短時間勤務職員を除く全職員

※2 職員とは、管理者・再任用短時間勤務職員・任期付短時間勤務職員を除く損益勘定職員

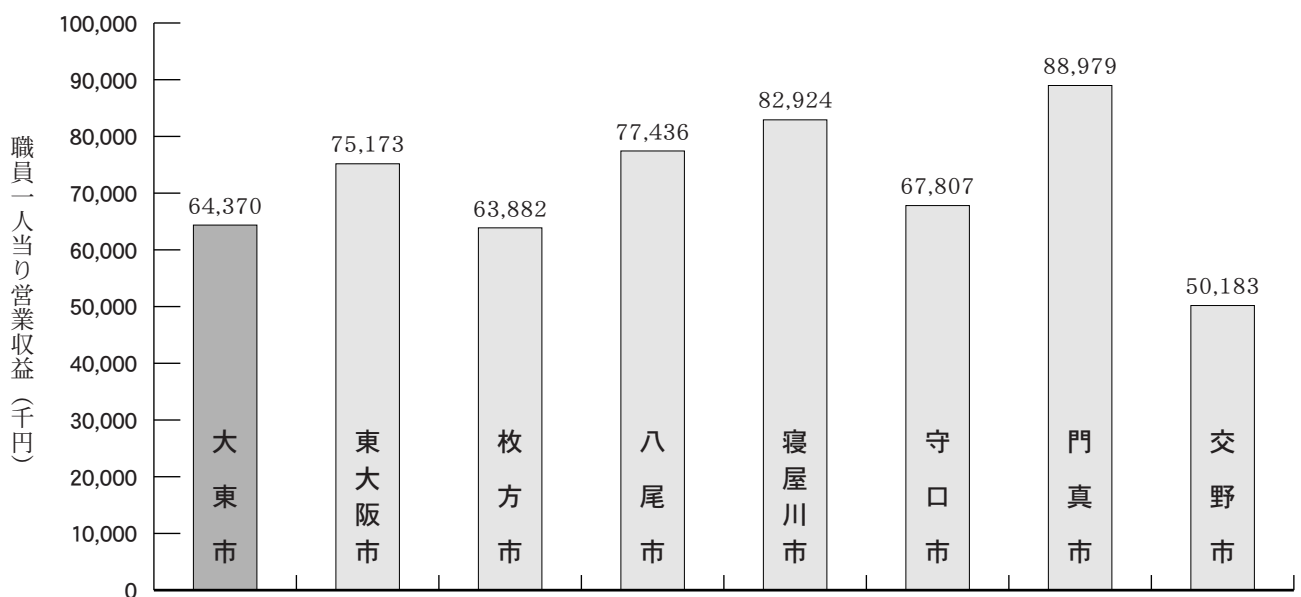
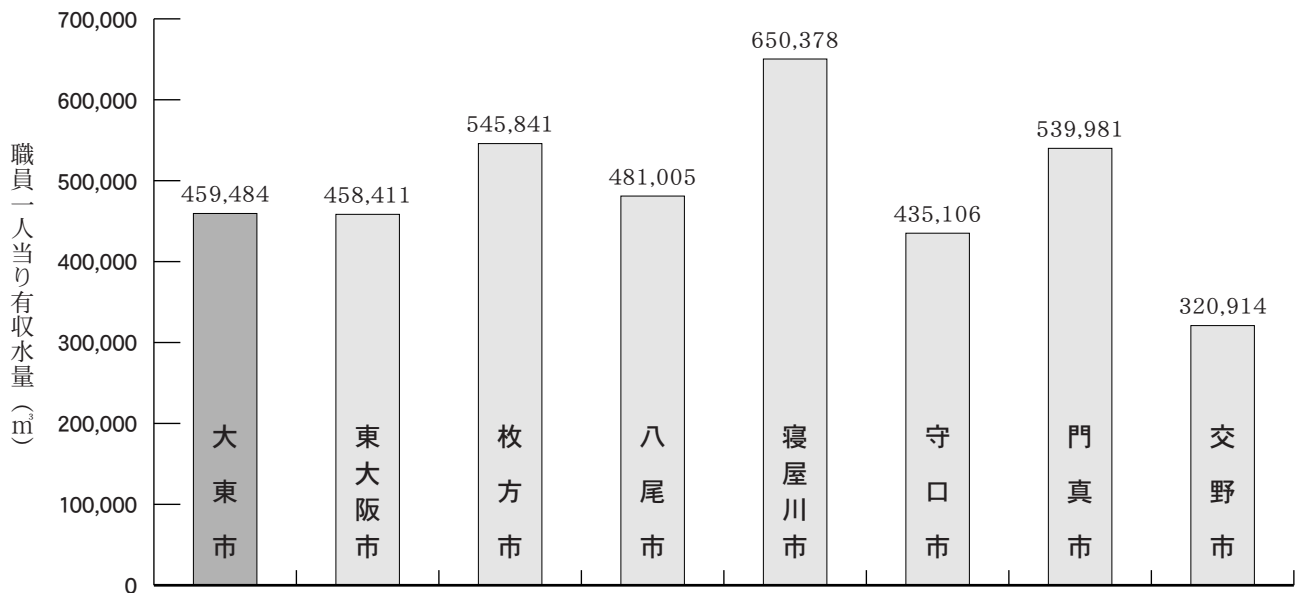
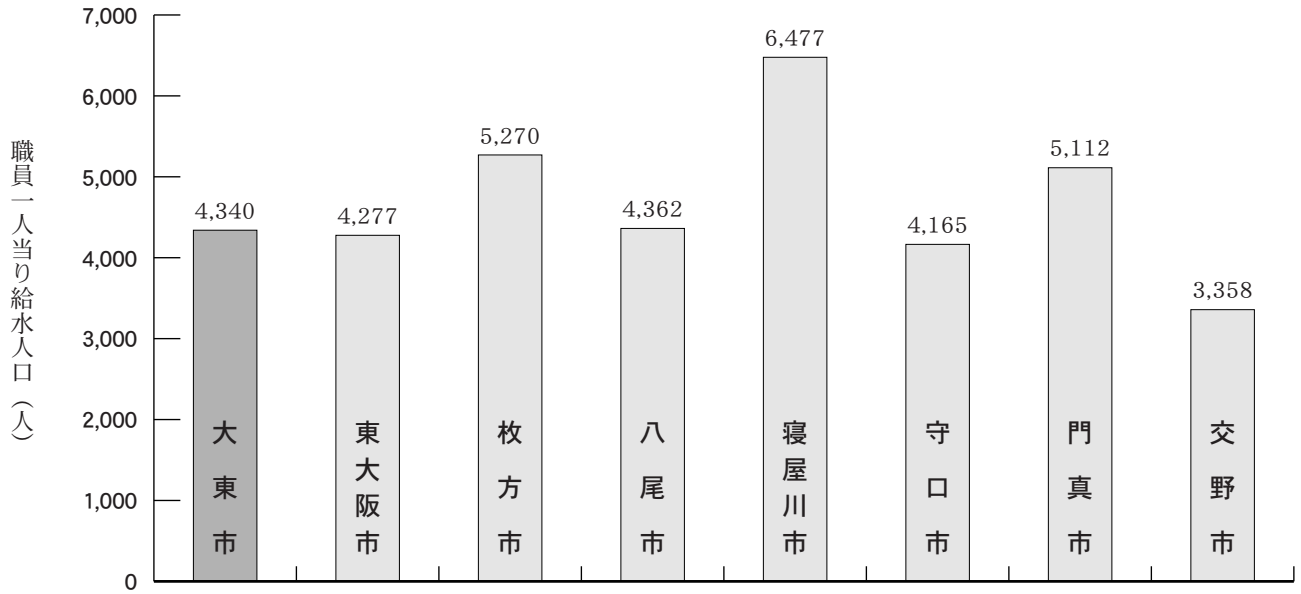
(経営分析)

固定資産構成比率	%	77.2	84.2	86.9	86.3	71.0	86.8
固定負債構成比率	%	16.6	42.5	23.5	34.2	40.6	43.8
固定資産対長期 資本比率	%	81.1	90.3	90.4	92.3	74.7	93.0
自己資本構成比率	%	78.6	50.7	72.7	59.3	54.4	49.6
流動比率	%	476.7	232.7	340.8	212.7	577.2	198.9
営業収支比率	%	86.8	102.7	95.7	96.8	91.6	116.8
企業債償還元金 対料金収入比率	%	11.9	13.8	38.0	22.4	20.5	36.5
企業債元利償還元金 対料金収入比率	%	13.9	16.8	42.4	25.9	24.8	42.9
現金預金比率	%	439.0	196.8	312.4	161.9	240.8	154.7
固定資産回転率	回	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1
職員給与費 対料金収入比率	%	12.0	11.0	12.9	10.8	9.6	16.7

門 真 市	交 野 市	大東市 = 100 とした比較						
		東大阪市	枚方市	八尾市	寝屋川市	守口市	門真市	交野市
84.3	89.8	99	101	96	97	98	91	97
48.6	53.3	105	106	102	91	121	89	98
57.7	59.3	106	105	105	94	123	98	101
56.8	24.1	106	75	84	76	100	115	49
10.9	5.2	111	54	84	114	72	89	43
162.8	149.3	115	87	117	91	113	122	112
156.4	175.8	100	74	107	92	88	98	111
366,690	532,240	80	185	106	111	121	102	148
5,112	3,358	99	121	101	149	96	118	77
539,981	320,914	100	119	105	142	95	118	70
88,979	50,183	117	99	120	129	105	138	78

78.5	84.5	109	113	112	92	112	102	109
20.1	53.8	256	141	206	244	263	121	324
82.1	88.2	111	111	114	92	115	101	109
75.6	42.0	65	93	76	69	63	96	53
496.9	365.8	49	71	45	121	42	104	77
100.7	93.3	118	110	111	105	135	116	107
12.4	36.7	116	318	188	172	306	104	307
15.0	47.8	121	305	186	178	308	108	344
379.6	333.7	45	71	37	55	35	86	76
0.2	0.1	125	63	125	111	77	110	63
8.0	15.2	92	108	90	80	140	67	127

職員一人当り比較表（東部大阪各市）



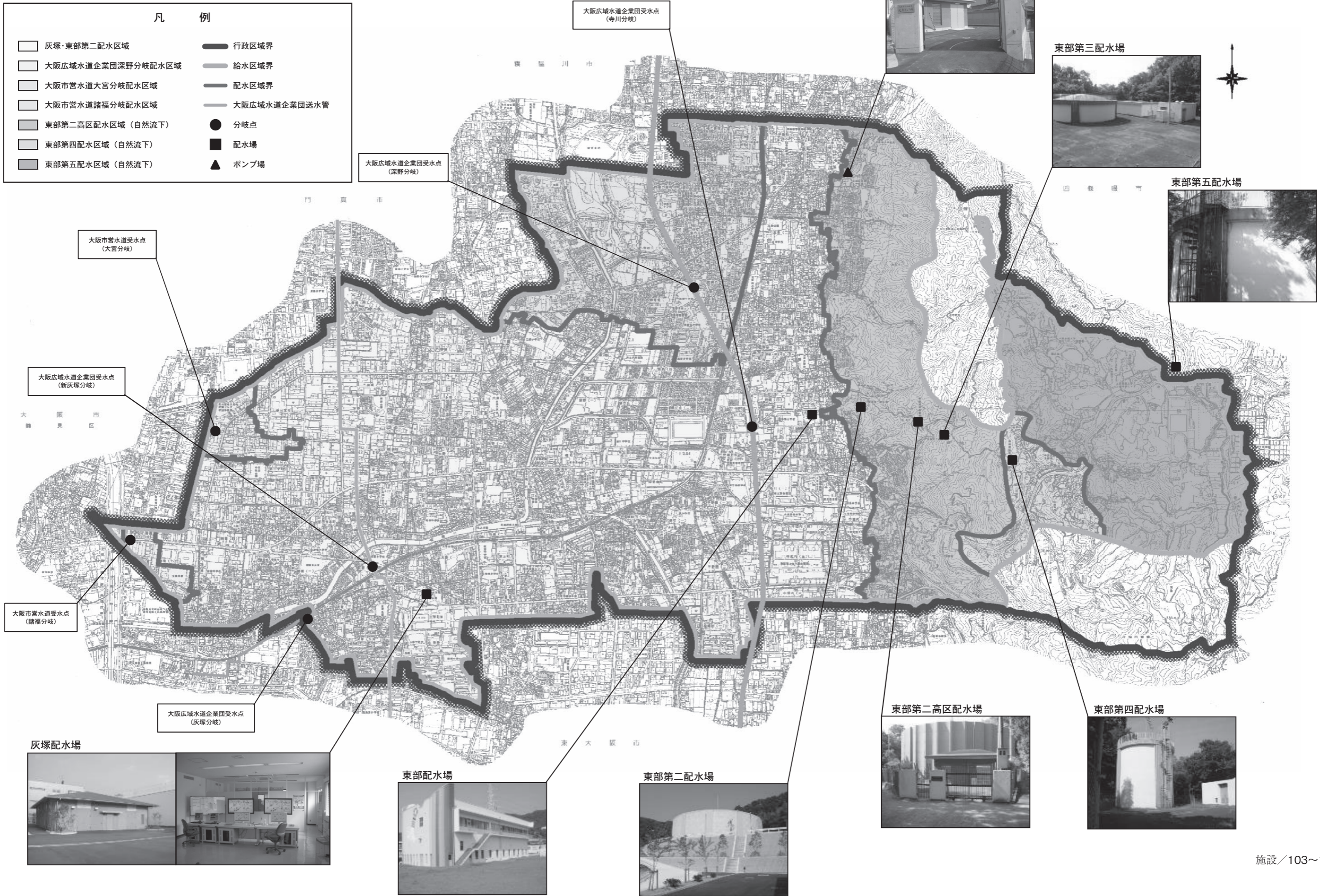
VII 施 設

- 1 施 設 位 置 図
- 2 施 設 概 要
- 3 水 源 別 計 画 水 量 表
- 4 管 路 用 地 等

VII 施設

1 施設位置図

凡 例	
	灰塚・東部第二配水区域
	大阪広域水道企業団深野分岐配水区域
	大阪市営水道大宮分岐配水区域
	大阪市営水道諸福分岐配水区域
	東部第二高区配水区域（自然流下）
	東部第四配水区域（自然流下）
	東部第五配水区域（自然流下）
	行政区域界
	給水区域界
	配水区域界
	大阪広域水道企業団送水管
	分岐点
	配水場
	ポンプ場



施設

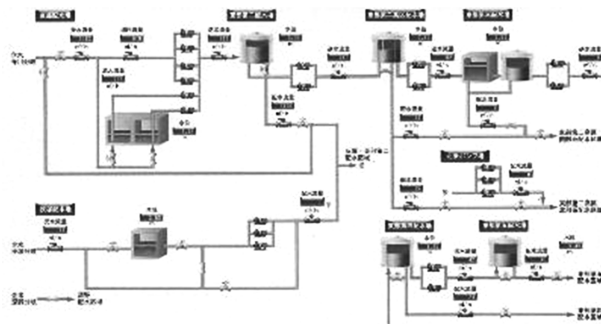
2 施設概要

(1) 中央管理センター

灰塚配水場管理棟3階の中央管理センターにて、市内の全水道施設が集中管理されています。



設備全体フロー監視画面



機器構成	数量	概略仕様	設備年月日
大型監視表示装置	2台	52型液晶ディスプレイ自立型	H20.10.1
配水場用監視装置		システムLAN（ローカルエリアネットワーク）同軸CPU間リンク方式、相互バックアップ機能付	H20.10.1
灰塚用	1台	工業用PC 24インチ液晶モニター OAデスク型	
東部用	1台	工業用PC 24インチ液晶モニター OAデスク型	
プリンタ装置	2台	カラーレーザープリンター（LBP）	H20.10.1
情報処理装置		テレメーター装置 NTT専用回線 3.4kHz	H20.10.1
No. 1	1面	東部・東部第二・東部第二高区・東部第三配水場	
No. 2	1面	東部第四・東部第五配水場	
データロガー装置		プログラマブルロジックコントローラー（PLC）	H20.10.1
No. 1	1台	二重化	
No. 2	1台	二重化	
自所入出力装置	1面	プログラマブルロジックコントローラー（PLC） 灰塚場内通信用（光ファイバー線）	H20.10.1
配水場用ITV監視装置		NTT広域IP網 Bフレッツ 100Mbps 光回線 17インチ液晶モニター OAデスク型	H20.10.1
東部用	1台	電動ドーム型 カメラ2台 赤外線センサー13対向	
東部第二用	1台	17インチ液晶モニター OAデスク型 電動ドーム型 カメラ3台 赤外線センサー18対向	
中央分電盤	1面		H20.10.1
無停電電源装置	1台	10kVA	H20.10.1
リモート監視通信装置	1面	リモート監視センター通報用	H20.10.1
水質監視モニター監視装置	1台	DMT700形 17型液晶モニター LP-S5300	H30.3.31

(2) 灰塚配水場



所在地 大東市灰塚四丁目1番1号
 面積 10,707.29㎡ (管理棟 517.99㎡含む)
 水源 企業団水 (灰塚分岐)
 配水方式 ポンプ圧送式

配水ポンプ

配水ポンプ室	444.38㎡ 鉄筋コンクリート平屋建 1棟					
型式	吐出量	全揚程	口径	出力	台数	設備年月日
両吸込 渦巻ポンプ変速	8.34㎡/分	40m	250/150mm	75kW	3	H27.3.31
備考						

配水池

構造	巾	長さ	深さ	容量	池数	設備年月日
鉄筋コンクリート造	24.3m	29.3m	6.4m	4,500㎡	1	S58.3.21
備考	水位計・投込型 (圧力式) H. W. L = TP + 8.7m L. W. L = TP + 2.3m (4,500㎡)					

流量計

型式	構造	口径	台数	設備年月日	備考
電磁式	電磁流量計 LF130形 700㎡/時	400mm	1	H25.4.30	企業団水 (受水)
電磁式	電磁流量計 FMR-404U形 2,000㎡/時	400mm	1	H27.3.31	大東市 (配水)

電気設備

	内	容			設備年月日
屋内変電室	変圧器容量 (三相)	6,600/440V	500kVA	H27.3.31	
	" (三相)	440/210V	30kVA	H27.3.31	
	" (単相)	440/210-105V	30kVA	H27.3.31	
備考					

緊急遮断弁

動作設定	動作開度	表示
震度3	動作なし	地震発生
震度4	20%	緊急遮断

(3) 東 部 配 水 場



所在地 大東市野崎三丁目1番20号
 面積 5,575.17㎡
 水源 企業団水（寺川分岐）
 配水方式 H20.6より受配水施設に変更

管 理 棟

送水ポンプ室	鉄筋コンクリート造、地上2階、地下1階（ポンプ井） 建築面積479㎡ 延べ床面積963.3㎡					
型 式	吐出量	全揚程	口 径	出 力	台 数	設備年月日
増 圧 ポ ン プ	10.6m ³ /分	35m	300/200mm	90kW	4	H20.5.1
加 圧 ポ ン プ	10.5m ³ /分	62m	300/200mm	160kW	2	H20.5.1
備 考						

吊 揚 機

クレーン	型 式	台 数	設備年月日
	天井式ホイストクレーン 2.8ton	1	S51.7.1

配 水 池

構 造	巾	長 さ	深 さ	容 量	池 数	設備年月日
鉄筋コンクリート造	50m	29m	4.4m	5,800m ³	1	S51.7.1
	58.3m	31.2m	4.4m	7,800m ³	1	S53.9.18
備 考	水位計・投込型（圧力式） H. W. L = T P + 9.4m L. W. L = T P + 5.0m					

吸 水 井

構 造	巾	長 さ	深 さ	容 量	池 数	設備年月日
鉄筋コンクリート造	11.3m	14.8m	4.4m	700m ³	2	S51.7.1
備 考	ポンプ室の地下					

流 量 計

型 式	構 造	口 径	台 数	設備年月日	備 考
電 磁 式	電磁流量計 2,500m ³ /時	600mm	1	H25.5.29	企業団水 (受 水)
	電磁流量計 FMR 204U形 3,000m ³ /時	400mm	1	H11.3.30	大 東 市 (受 水)
	電磁流量計 FMR 204U形 3,000m ³ /時	400mm	1	H10.3.28	" (送 水)
	電磁流量計 FMR 204AU形 3,000m ³ /時	400mm	1	H20.5.1	" (増圧流量)

電 気 設 備

	内 容	設備年月日
屋 内 変 電 室	変圧器容量（三相） 6,600/440V 750kVA	H20.7.1
	"（三相） 6,600/210V 30kVA	H20.7.1
	"（単相） 6,600/105V 75kVA	H20.7.1
備 考		

(4) 東部第二配水場



所在地 大東市野崎三丁目11番12号
 面積 5,567.72㎡
 水源 企業団水（寺川分岐）
 配水方式 自然流下方式

管 理 棟

送水ポンプ室	鉄筋コンクリート造 建築面積171.17㎡ 延床面積160.57㎡					
型 式	吐出量	全揚程	口 径	出 力	台 数	設備年月日
多段渦巻ポンプ	3.0㎡/分	110m	150/150mm	90kW	2	H29.3.28
備 考						

配 水 池

構 造	直 径	深 さ	容 量	池 数	設備年月日
プレストレスト コンクリート造	32.2m	10m	8,000㎡	1 (2槽)	H20.5.1
備 考	水位計・投込型（圧力式） H. W. L = T P + 58.50m L. W. L = T P + 48.50m				

流 量 計

型 式	構 造	口 径	台 数	設備年月日	備 考
電 磁 式	電磁流量計				(配 水)
	FMR 204A形	3,000㎡/時	500mm	1	H20.5.1
超 音 波 式	超音波流量計				(送 水)
	FUR-2S形	600㎡/時	150mm	1	H20.5.1

電 気 設 備

	内 容	設備年月日
屋 内 変 電 室	変圧器容量（三相）	6,600/440V 500kVA
	”（三相）	440/210V 20kVA
	”（単相）	440/210-105V 10kVA
備 考		

緊 急 遮 断 弁

動作設定	動作開度	表示
震度4	全閉	緊急遮断
270㎡/h以上	全閉	緊急遮断

(5) 東部第二高区配水場



所在地 大東市大字寺川714番地
 面積 4,976㎡
 水源 企業団水（寺川分岐）
 配水方式 自然流下方式

送水ポンプ

送水ポンプ室	48.4㎡ 鉄筋コンクリート造					
型式	吐出量	全揚程	口径	出力	台数	設備年月日
多段渦巻ポンプ	1.0m ³ /分	42m	100mm	15kW	2	H29.3.28

配水池

構造	直径	深さ	容量	池数	設備年月日
プレストレスト コンクリート造	28.2m	10m	6,000m ³	1 (2槽)	H6.3.31
備考	水位計・投込型（圧力式） H. W. L = TP + 148.0m L. W. L = TP + 138.0m				

流量計

型式	構造	口径	台数	設備年月日	備考
電磁式	電磁流量計 FMR-8W形 600m ³ /時	250mm	1	H6.7.1	(配水)
	電磁流量計 FMR-8W形 300m ³ /時	150mm	1	H6.7.1	(配水)
	電磁流量計 FMR-7W形 180m ³ /時	80mm	1	H6.7.1	(送水)

消毒設備

薬品	型式	出力	台数
次亜塩素酸ナトリウム	0~36ml/分 1.0MPa	0.1kW	2
備考	タンク容量 100ℓ P. E製 H24.2.21		

緊急遮断弁

	動作設定	動作開度	表示
北部	870m ³ /h以上	20%	緊急遮断
南部	310m ³ /h以上	20%	閉鎖中

(6) 東部第三配水場



所在地 大東市野崎1127番地の2
 面積 5,940㎡
 水源 企業団水（寺川分岐）
 配水方式 自然流下方式（休止中）

送水ポンプ

送水ポンプ室	53.3㎡ 鉄筋コンクリート造					
型式	吐出量	全揚程	口径	出力	台数	設備年月日
多段渦巻ポンプ	1.1m ³ /分	132m	80mm	45kW	2	H8.3.27

配水池

構造	巾	長さ	深さ	容量	池数	設備年月日
鉄筋コンクリート造	8.0m	12.5m	4.0m	400m ³	1(2槽)	S56.11.11
プレストレスト コンクリート造	内径14.0m		4.0m	600m ³	1	S61.3.4
備考	水位計・投込型（圧力式） H. W. L = T P + 173.5m L. W. L = T P + 169.5m					

流量計

型式	構造	口径	台数	設備年月日	備考
電磁式	電磁流量計 FMR-6W形 300m ³ /時	100mm	1	S57.2.9	(配水) 休止中 (送水)
電磁式	電磁流量計 FMR-204AU形 180m ³ /時	80mm	1	H26.3.31	

消毒設備

薬品	型式	出力	台数
次亜塩素酸ナトリウム	0~36ml/分 1.0MPa	0.1kW	2
備考	タンク容量 100ℓ P. E製 H23.9.17		

電気設備

	内	容		設備年月日
屋外変電室	変圧器容量（三相）	6,600/220V	150kVA	H8.3.15
	”（单相）	6,600/110V	10kVA	H8.3.15
備考				

(7) 東部第四配水場



所在地	大東市大字龍間1535番地
面積	6,978.17㎡（進入道路382.80㎡含む）
水源	企業団水（寺川分岐）
配水方式	自然流下方式

送水ポンプ

送水ポンプ室	48.4㎡ 鉄筋コンクリート造					
型式	吐出量	全揚程	口径	出力	台数	設備年月日
多段渦巻ポンプ	0.5m ³ /分	72m	80mm	15kW	2	H22.3.21

配水池

構造	直径	深さ	容量	池数	設備年月日
プレストレスト コンクリート造	8.0m	8.0m	400m ³	1	S56.12.18
備考	水位計・投込型（圧力式） H. W. L = T P + 271.5m L. W. L = T P + 263.5m				

流量計

型式	構造	口径	台数	設備年月日	備考
電磁式	電磁流量計 FMR-204AU形 160m ³ /時	80mm	1	H26.3.31	(配水)
電磁式	電磁流量計 FMR-204AU形 180m ³ /時	80mm	1	H26.3.31	(送水)

消毒設備

薬品	型式	出力	台数
次亜塩素酸ナトリウム	0~36ml/分 1.0MPa	0.1kW	2
備考	タンク容量 100ℓ P. E製 H23.9.27		

緊急遮断弁

動作設定	動作開度	表示
震度3	50%	地震発生
震度4	20%	緊急遮断
120m ³ /h以上	20%	緊急遮断

(8) 東部第五配水場



所在地 四條畷市南野2130番地
 面積 8,023㎡
 水源 企業団水（寺川分岐）
 配水方式 自然流下方式

配水池

構造	直径	深さ	容量	池数	設備年月日
プレストレスト コンクリート造	11.7m	3.8m	400m ³	1	S58.3.31
備考	水位計・投込型（圧力式） H. W. L = T P + 327.2m L. W. L = T P + 323.4m				

流量計

型式	構造	口径	台数	設備年月日	備考
電磁式	電磁流量計 FMR-204U形 160m ³ /時	80mm	1	H18.1.8	(配水)

緊急遮断弁

動作設定	動作開度	表示
震度3	50%	地震発生
震度4	20%	緊急遮断
120m ³ /h以上	20%	緊急遮断

(9) 北条ポンプ場



所在地 大東市北条四丁目1837番の3
 面積 240.77㎡
 水源 灰塚・東部第二配水区域
 配水方式 加圧ブースター方式

配水ポンプ

配水ポンプ室	74.06㎡ 鉄筋コンクリート造					
型式	吐出量	全揚程	口径	出力	台数	設備年月日
多段渦巻ポンプ	1.0㎡/分	63m	100mm	18.5kW	3	H30.5.31

流量計

型式	構造	口径	台数	設備年月日	備考
電磁式	電磁流量計 FMR-404U形 150㎡/時	150mm	1	H30.5.31	(配水)

(10) 水質監視モニター



水質監視モニター

型式	所在地	通信網	設置場所	系 統	設備年月日
AN700A	三箇一丁目322番1号	光回線	三箇小学校内	東部第二配水系中間	H25.3.31
	新田中町6番	"	新田中央公園内	東部第二配水系末端	H27.3.31
	"	"	"	大阪市水系末端	"
	野崎三丁目1番20号	"	東部配水場内	東部系受水	H28.3.31
	大字龍間698番2号	ISDN	龍間児童遊園内	東部第四配水系末端	"
	寺川五丁目576	光回線	寺川第5児童遊園内	東部第二高区南部系末端	H29.3.31
	灰塚四丁目1番1号	LAN	灰塚配水場内	灰塚系受水	H30.3.31
	朋来2丁目161-37	光回線	朋来第1公園内	灰塚系末端	H31.3.31
北条4丁目1837-3	"	北条ポンプ場内	東部第二高区北部系末端	H31.3.31	

設定値一覧

東部第二配水系中間・末端

項目	測定方式	測定範囲	定量下限値	上限設定値	下限設定値
残留塩素	水流ビーズ洗浄式 ポーラログラフ方式	0～1mg/ℓ	0.05mg/ℓ以下	1.0mg/ℓ	0.4mg/ℓ
濁度	散乱光方式	0～2度	0.1度以下	0.5度	—
色度	透過光測定方式	0～10度	0.2度以下	1.0度	—
P H	ガラス電極方式	2～12PH	0.1PH以下	8.00	6.00
水圧	半導体センサ方式	0～1MPa	—	—	0.3MPa
備考					

大阪市水系末端

項目	測定方式	測定範囲	定量下限値	上限設定値	下限設定値
残留塩素	水流ビーズ洗浄式 ポーラログラフ方式	0～1mg/ℓ	0.05mg/ℓ以下	0.6mg/ℓ	0.1mg/ℓ
濁度	散乱光方式	0～2度	0.1度以下	0.5度	—
色度	透過光測定方式	0～10度	0.2度以下	1.0度	—
P H	ガラス電極方式	2～12PH	0.1PH以下	8.50	6.00
水圧	半導体センサ方式	0～1MPa	—	—	0.2MPa
備考					

東部系受水

項目	測定方式	測定範囲	定量下限値	上限設定値	下限設定値
残留塩素	水流ビーズ洗浄式 ポーラログラフ方式	0～1mg/ℓ	0.05mg/ℓ以下	1.0mg/ℓ	0.4mg/ℓ
濁度	散乱光方式	0～2度	0.1度以下	0.5度	—
色度	透過光測定方式	0～10度	0.2度以下	1.0度	—
P H	ガラス電極方式	2～12PH	0.1PH以下	8.00	6.00
水圧	半導体センサ方式	0～1MPa	—	—	0.2MPa
備考					

東部第四配水系末端

項目	測定方式	測定範囲	定量下限値	上限設定値	下限設定値
残留塩素	水流ビーズ洗浄式 ポーラログラフ方式	0～1mg/ℓ	0.05mg/ℓ以下	1.0mg/ℓ	0.2mg/ℓ
濁度	散乱光方式	0～2度	0.1度以下	0.5度	—
色度	透過光測定方式	0～10度	0.2度以下	1.0度	—
P H	ガラス電極方式	2～12PH	0.1PH以下	8.00	6.00
水圧	半導体センサ方式	0～1MPa	—	—	0.2MPa
備考					

灰塚系末端、東部第二高区北部系末端・南部系末端

項目	測定方式	測定範囲	定量下限値	上限設定値	下限設定値
残留塩素	水流ビーズ洗浄式 ポーラログラフ方式	0～1mg/ℓ	0.05mg/ℓ以下	1.0mg/ℓ	0.3mg/ℓ
濁度	散乱光方式	0～2度	0.1度以下	0.5度	—
色度	透過光測定方式	0～10度	0.2度以下	1.0度	—
P H	ガラス電極方式	2～12PH	0.1PH以下	8.00	6.00
水圧	半導体センサ方式	0～1MPa	—	—	0.3MPa
備考					

灰塚系受水

項目	測定方式	測定範囲	定量下限値	上限設定値	下限設定値
残留塩素	水流ビーズ洗浄式 ポーラログラフ方式	0～1mg/ℓ	0.05mg/ℓ以下	1.0mg/ℓ	0.5mg/ℓ
濁度	散乱光方式	0～2度	0.1度以下	0.5度	—
色度	透過光測定方式	0～10度	0.2度以下	1.0度	—
PH	ガラス電極方式	2～12PH	0.1PH以下	8.00	6.00
水圧	半導体センサ方式	0～1MPa	—	—	0.3MPa
備考					

3 水源別計画水量表

区分 配水場分岐名	水源	計画最大 給水量 (m ³)	給水区分
灰塚配水場	企業団水道	62,000	平野地帯
東部配水場	〃		平野地帯
東部第二配水場	〃		山岳地帯
東部第二高区配水場	〃		山岳地帯
東部第三配水場	〃		〃
東部第四配水場	〃		〃
東部第五配水場	〃		〃
深野分岐	〃		〃
大宮分岐	大阪市営水道	2,000	新田地区
諸福分岐	〃		諸福地区
合計		64,000	

4 管路用地等

施設名	面積 (m ²)	所在地	備考
管路用地等	4,076	大東市南郷町、太子田二丁目、 新田西町、野崎四丁目、灰塚二 丁目、氷野一丁目、深野五丁目、 赤井三丁目、野崎二丁目、大字 龍間	

VIII 広 報

1 広報だいとう掲載記事

1 広報だいとう掲載記事

R4年6月

三井住友銀行が公金の
窓口収納を終了します

三井住友銀行は窓口での市税、保険料、上下水道料金、その他公金にかかる収納の取り扱いについて、6月30日をもって終了します。

7月1日以降は、納入通知書などに指定の納付場所として記載されている場合でも三井住友銀行窓口での公金納付はできませんのでご注意ください。

なお、口座振替(口座引落)は、これまでどおり三井住友銀行口座で引き続きご利用できます。

圖會計室 ☎870・0762、上下水道局お客さまセンター ☎871・1193

6月1日～7日 水道週間

水道週間を機に、水道水を今一度見直してみませんか。

市の水道水は、安全でおいしい「高度浄水処理水」です。利き水会でも多くの人からおいしいという声をいただいています。

スローガン

「大切な 水と一緒に 暮らす日々」

懸賞作品を募集

〈作文の部〉水道に関する自由な作文。小学校低学年(800字程度)、小学校高学年(1200字程度)、中学生(1600字程度)

〈図画の部〉小・中学生「水道に関するもの」

〈習字の部〉小学校低学年「みず」、小学校高学年「水道週間」

〈標語の部〉「水道に関するもの」

■7月30日(当日消印有効)までに、〒102・0074 東京都千代田区九段南4・8・9 日本水道新聞社 水道週間懸賞募集係

圖上下水道局総務課 ☎871・1191

水道事業の業務状況

令和3年度は、収入の合計が前年度比4.1%増の22億1,600万円となり、支出の合計が前年度比1.4%増の20億8,183万円となりました。これにより、令和3年度決算は1億3,417万円の純利益を計上することとなりました。

建設改良事業では、平成30年度から重要拠点配水管路耐震事業に取り組んでおり、令和3年度は1,871戸の更新を行いました。

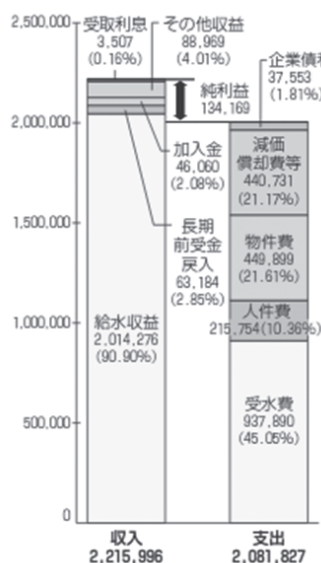
今後も、より一層の効率化と経費節減などを図り、市民の皆さんへの安定給水の推進に努めてまいります。

水道事業業務表(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

	令和3年度	前年度比
給水人口	118,139人	△1,235人
給水戸数	57,550戸	63戸
普及率	99.9%	—
配水量	12,975,669m ³	△272,310m ³

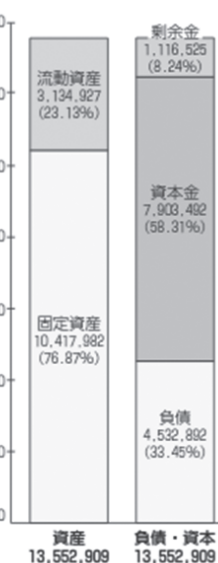
損益計算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)
(単位：千円)



貸借対照表

(令和4年3月31日)
(単位：千円)



収入計 2,215,996千円 - 支出計 2,081,827千円 = 純利益 134,169千円

漏水調査にご協力を

貴重な水資源を無駄にしないため市内全域で漏水調査を7月上旬～11月下旬に実施します。胸に上下水道局発行の証明書を着けている調査員が道路および各家庭の水道メーター付近で作業します。ご迷惑をお掛けしますがご協力をお願いいたします。

悪質業者にご注意を

職員を装い家庭内の水道管洗浄作業および器具などを販売する悪質な業者がいます。上下水道局では住宅内でのこのような作業などは一切行っていませんのでご注意ください。
 関上下水道局水道施設課 ☎871・1195

水道料金の基本料金 7月検針分から6か月間無料に

原油価格や物価の高騰などによる経済的負担を軽減するため、一般家庭および事業者などを対象とした水道料金の基本料金を無料にします。対象期間は、7月検針分から12月検針分までです。

メーター使用料金、下水道使用料は対象外です。詳しくは、ホームページをご覧ください。

関上下水道局お客さまセンター
☎871・1193



市ホームページ

水道事業の統合に向けての 検討、協議の結果

市の水道事業では、府内42市町村に水道用水を供給している大阪広域水道企業団と、令和6年4月からの統合の可能性を検討するため、協議を続けてきました。

結果として、統合に伴う施設の最適配置による定量的な効果については一定の効果が確認できたものの、統合後の業務運営体制に係る定性的な効果が明確ではないことなどから、企業団との統合は慎重に検討していく必要があるとの結論に至り、今回の統合に関する検討、協議を継続しないこととしました。

今後も引き続き、将来にわたり持続可能な水道を維持するため、さまざまな施策を推進していきます。

図 上下水道局総務課 ☎ 871・1191

水道事業の業務状況

令和4年度の上半期は、コロナ禍における物価高騰などに直面している市民や事業者の皆さんの負担を軽減するため、水道料金の基本料金の無料化を実施したことにより、収入の合計が前年度比16.5%減の9億2,754万円となりました。支出の合計は前年度比0.5%減の10億2,375万円となりました。その結果、令和4年度の上半期は9,621万円の純損失となりました。

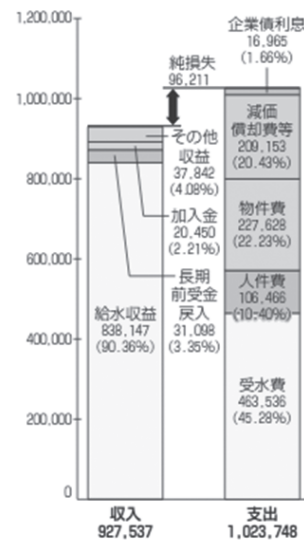
今後もより一層の効率化と経費節減を図り、安定給水の推進に努めてまいります。

水道事業業務表(令和4年4月1日～9月30日)

	令和4年度上半期	前年度比
給水人口	117,791人	△ 1,120人
給水戸数	57,810戸	273戸
普及率	99.9%	—
配水量	6,407,165 m ³	△ 128,814 m ³

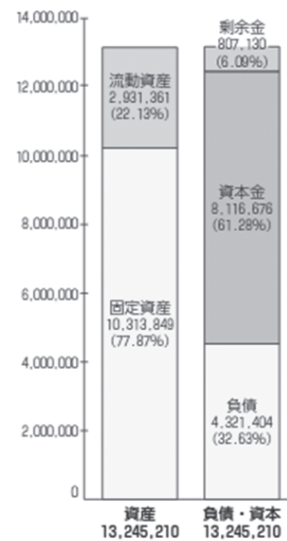
損益計算書

(令和4年4月1日～9月30日)
(単位：千円)



貸借対照表

(令和4年9月30日)
(単位：千円)



収入計 927,537千円 - 支出計 1,023,748千円 = 純損失 △96,211千円

令和4年度版
大東市水道事業概要

(限定120部)

発行 令和5年10月

編集 大東市上下水道局総務課

〒574-0043 大阪府大東市灰塚四丁目1番1号

電話……………072-871-1191

FAX……………072-871-1600

E-mail ………d_suido@city.daito.lg.jp

